

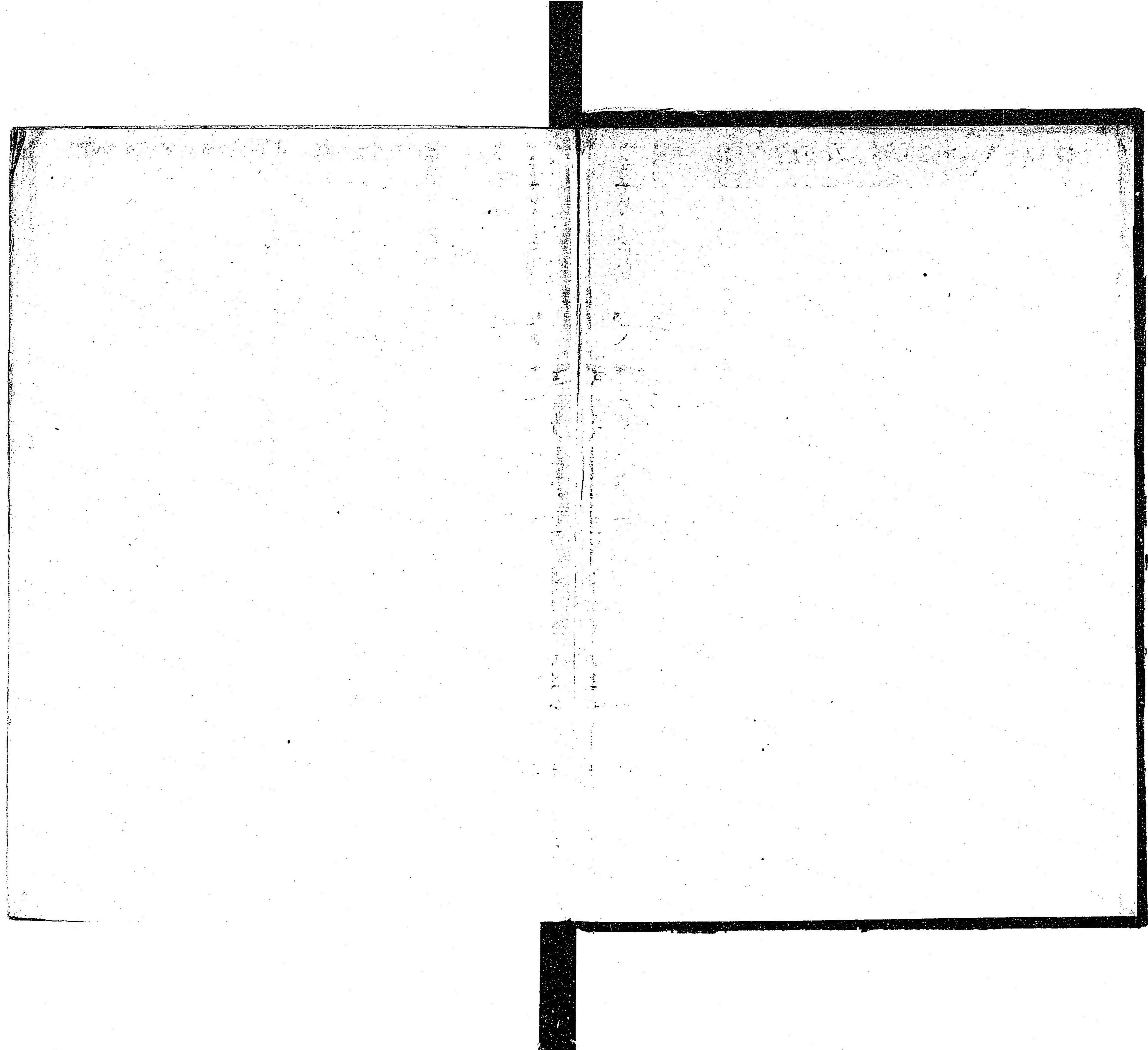
函館情勢一斑



310686-000-0

97-380

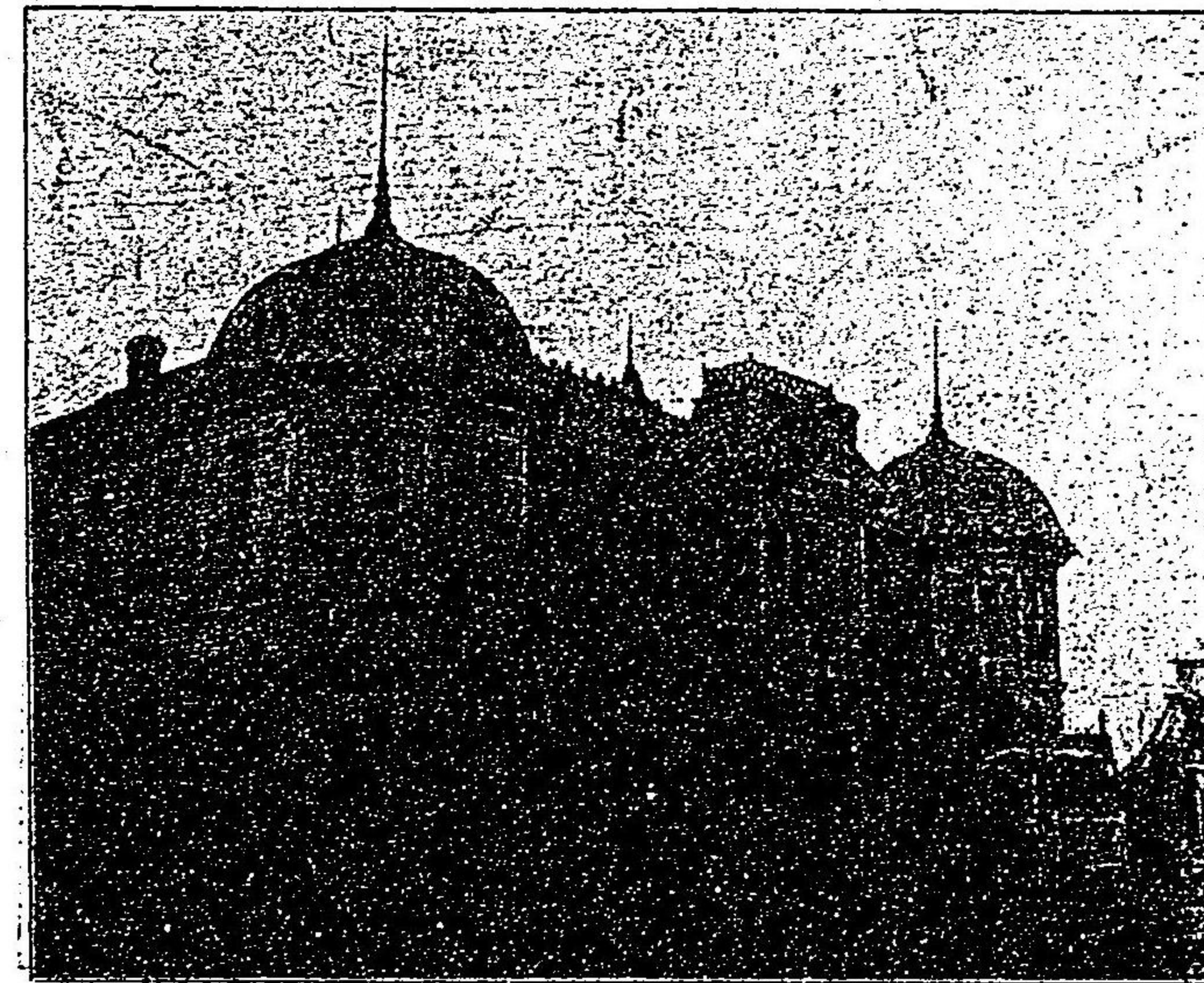
函館情勢一斑



97-380



函館町會所(商會此所內在り)



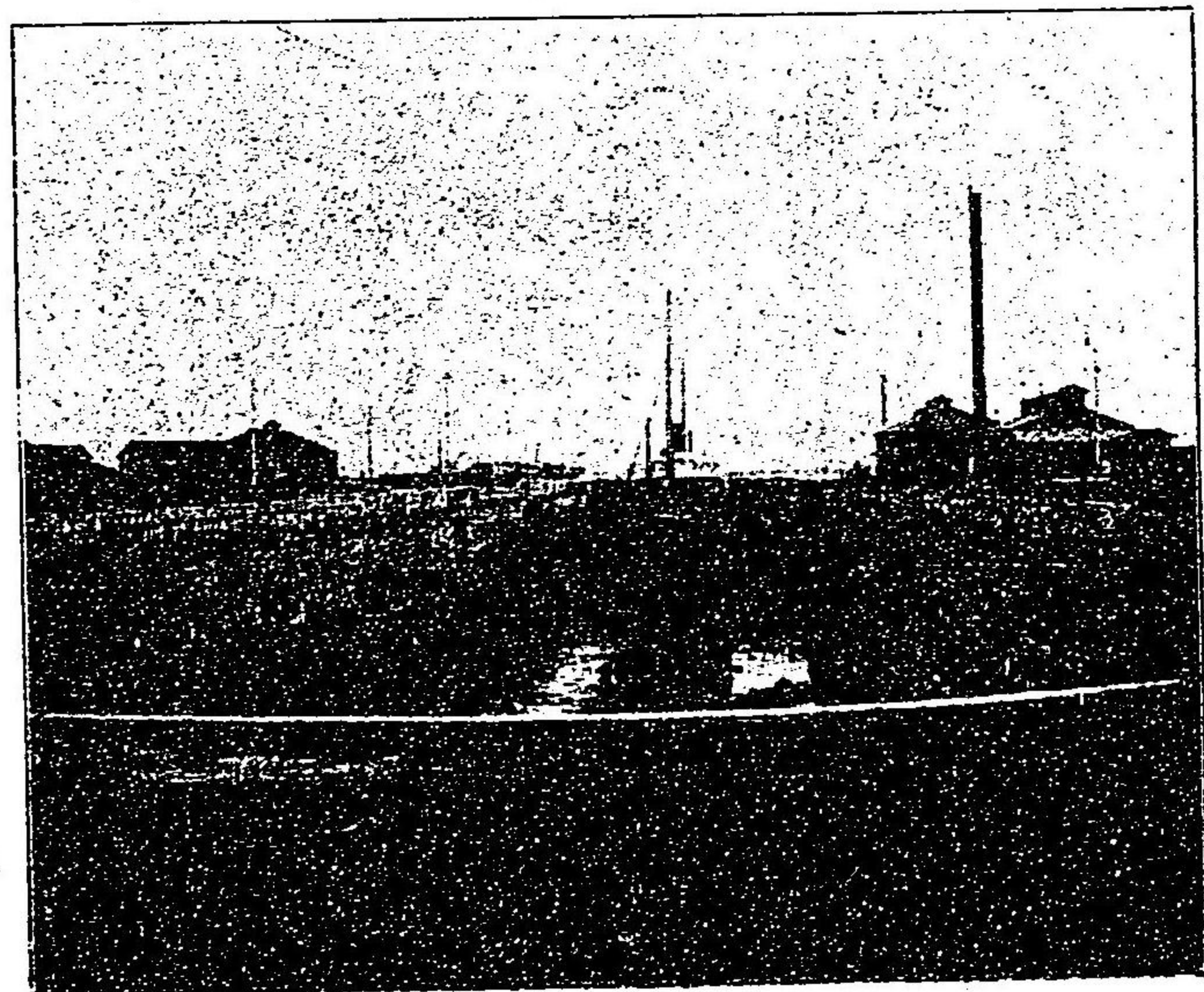
函館區役所



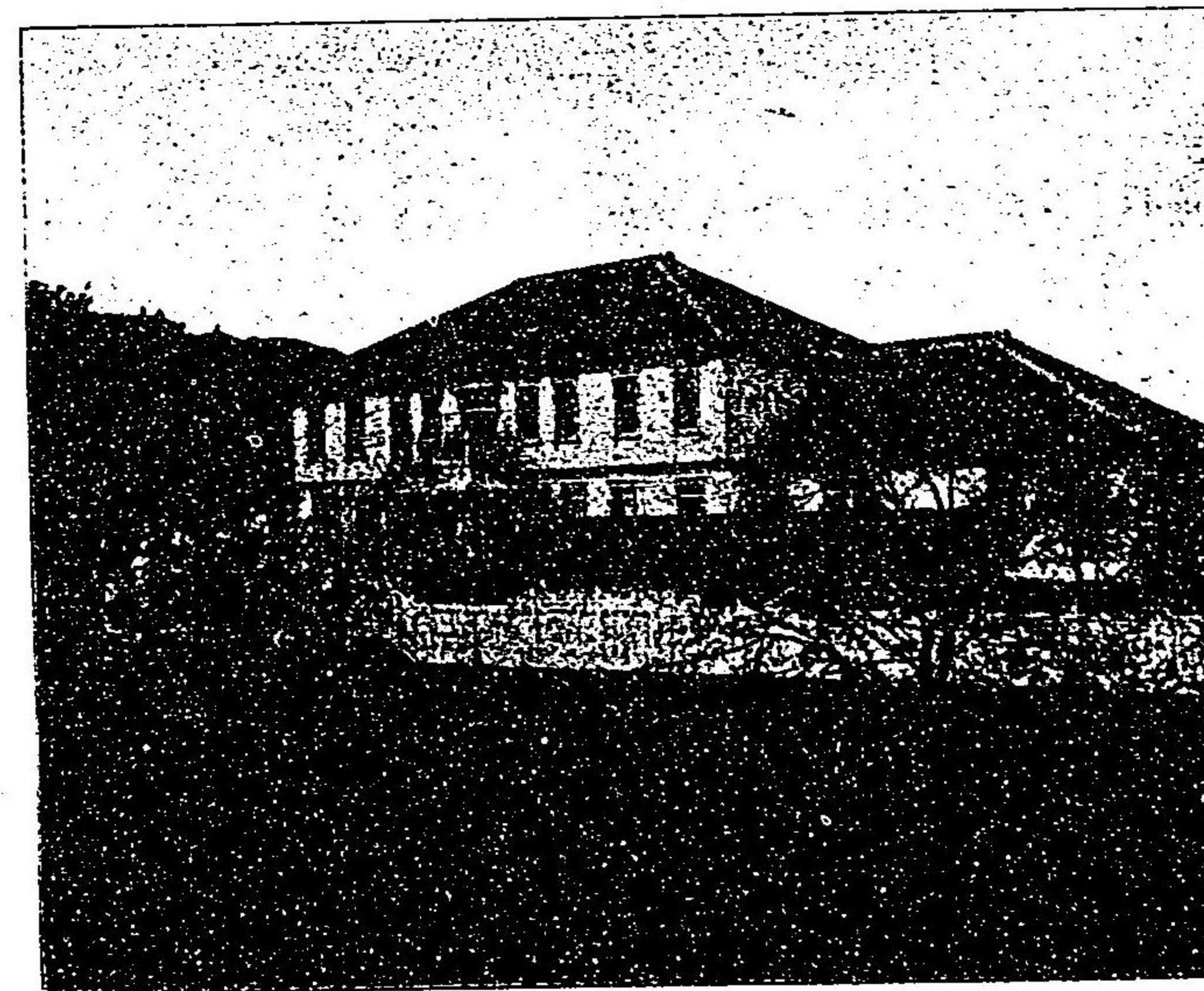
函館末廣町大通



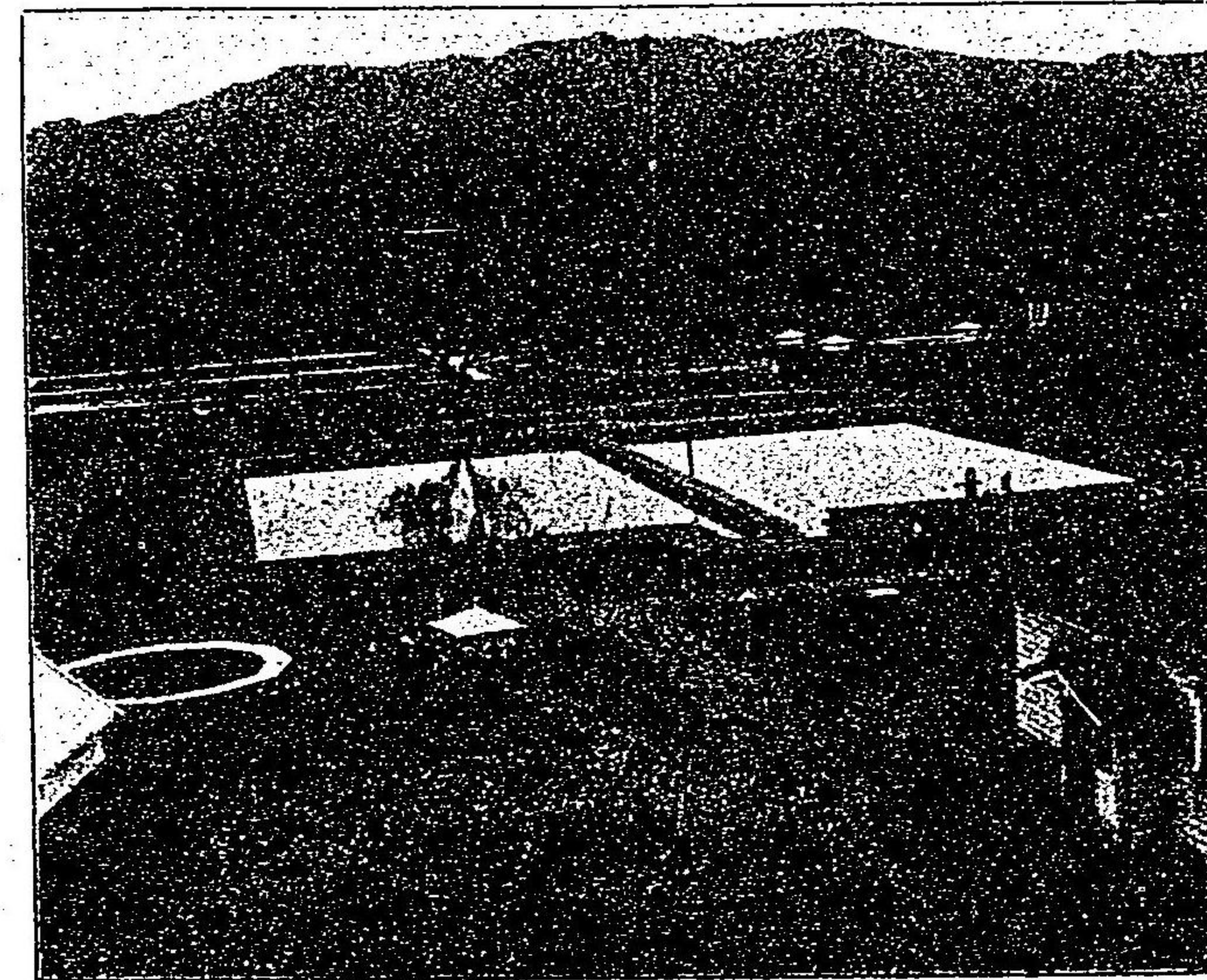
函館税関の景



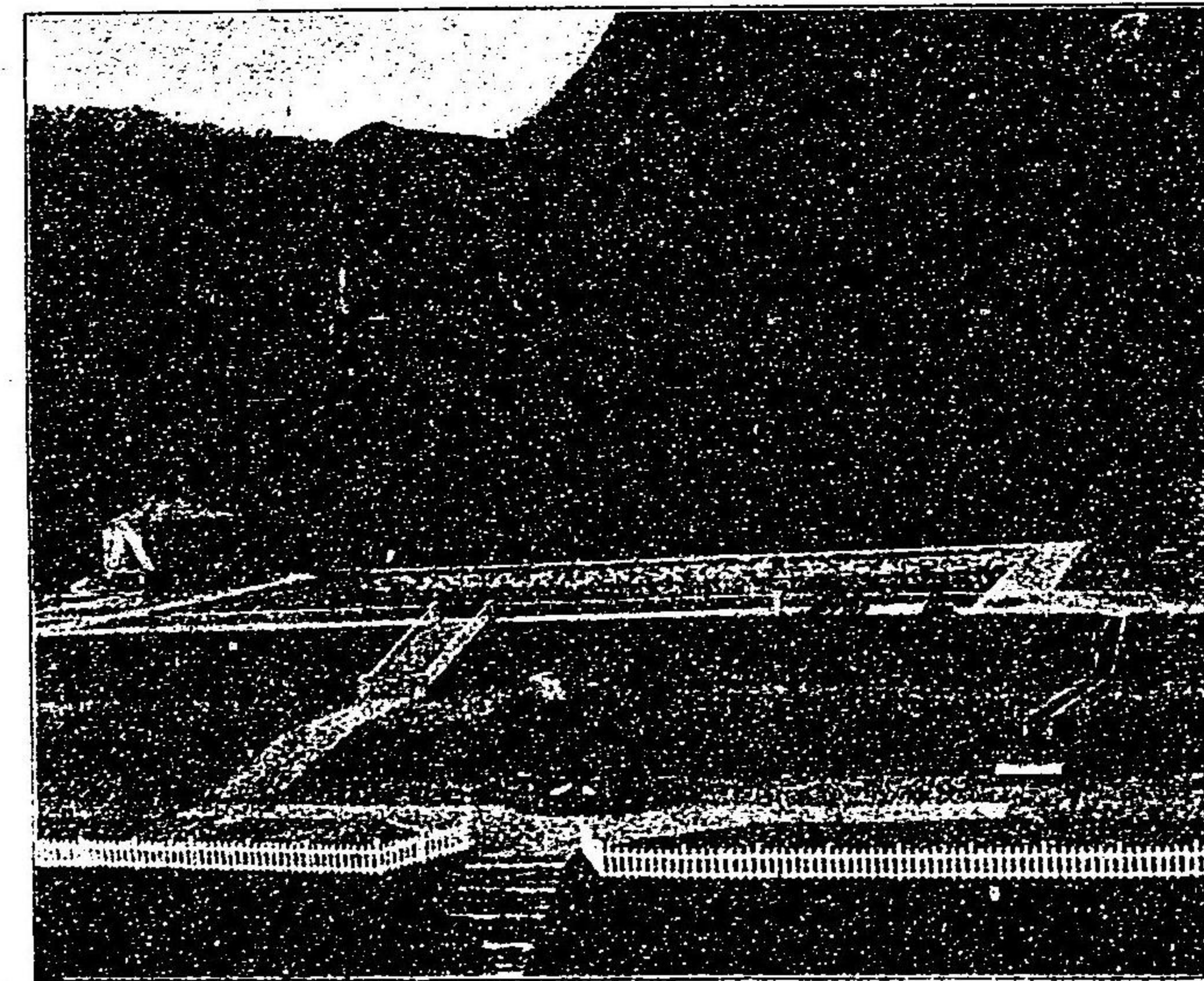
函館船渠



函館立函館病院の景



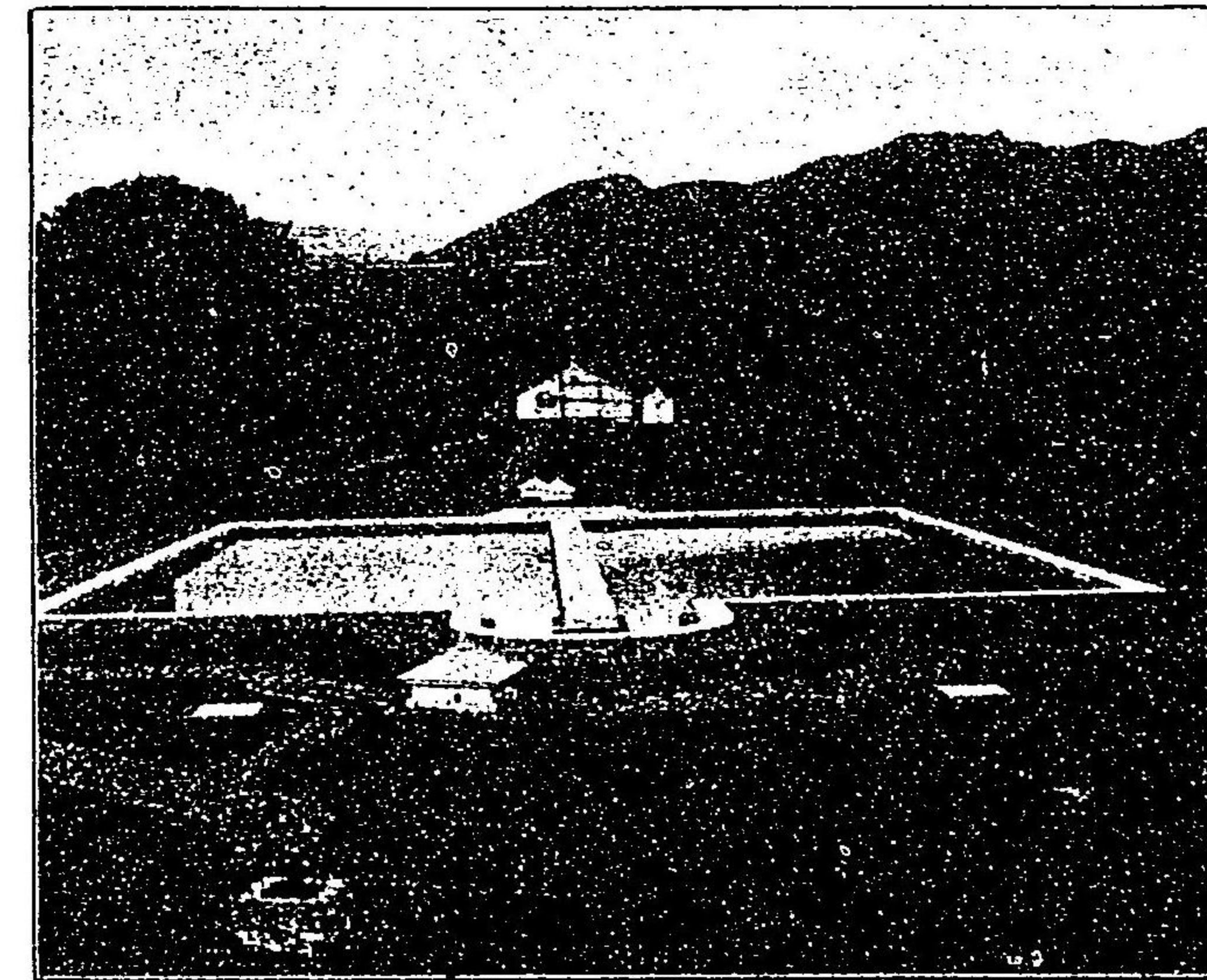
(二其) 池源水川赤



池澱沈水配館函



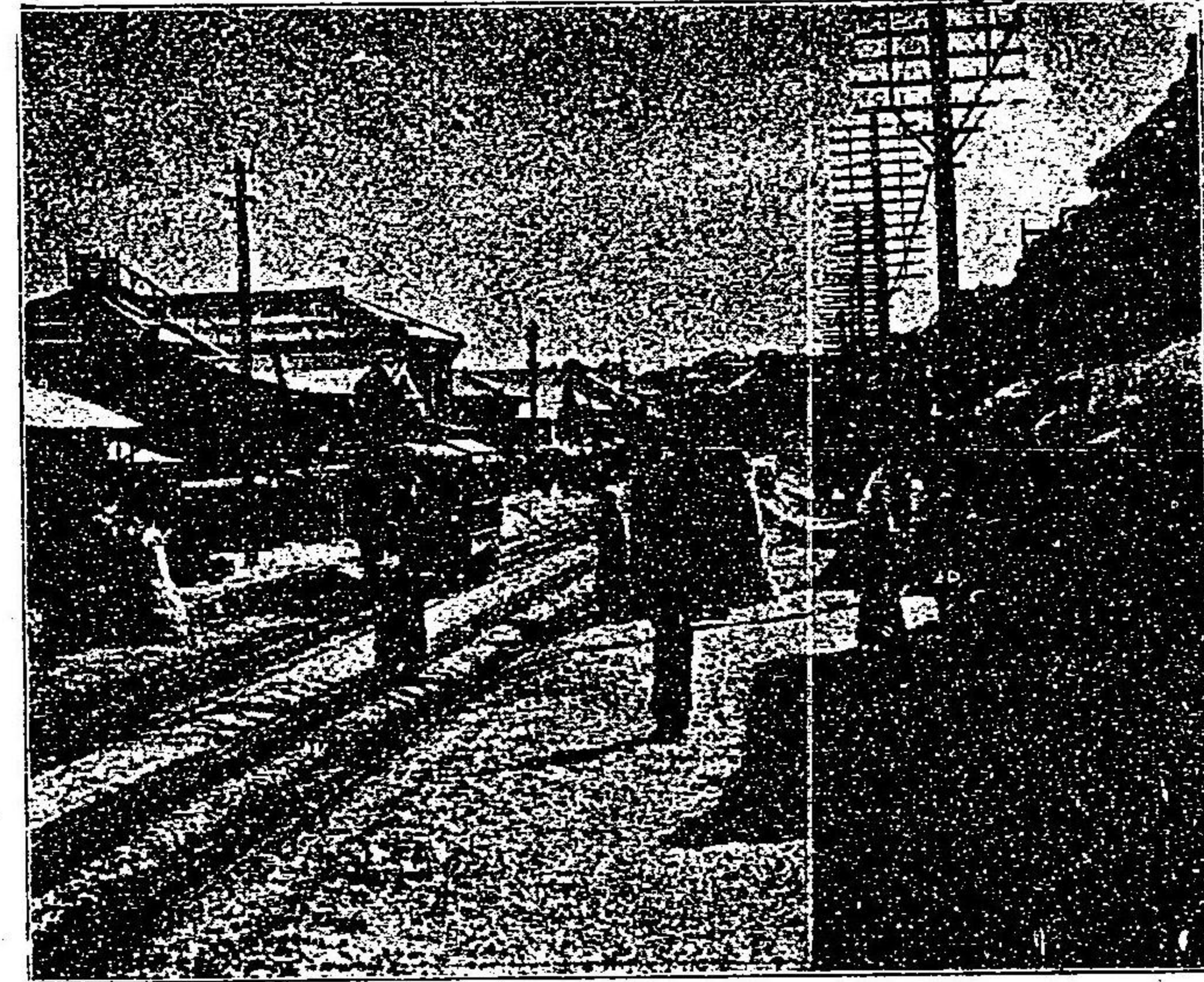
橋 棧



(一其) 池源水川赤



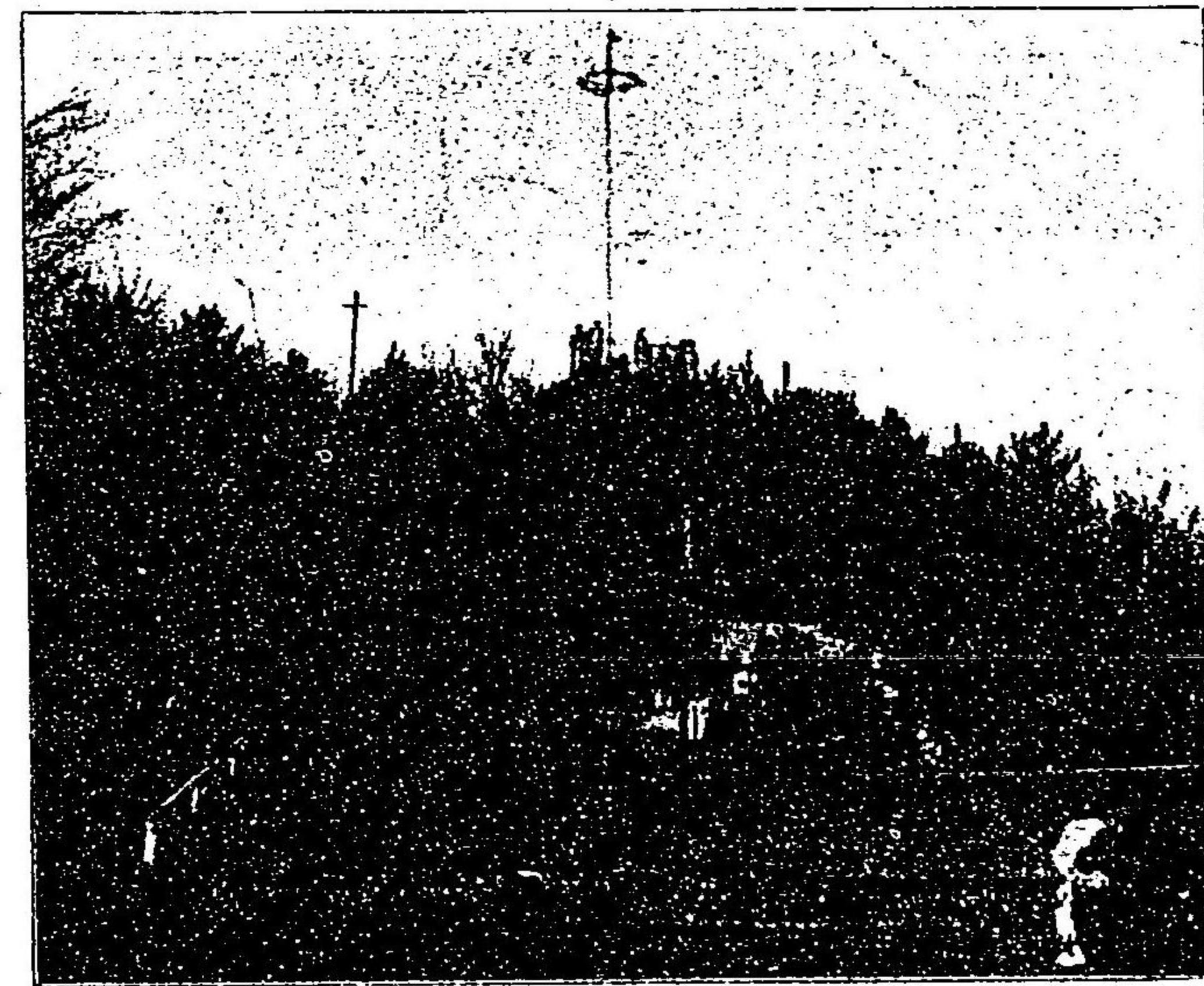
函館公園の水噴



函館大通雪景



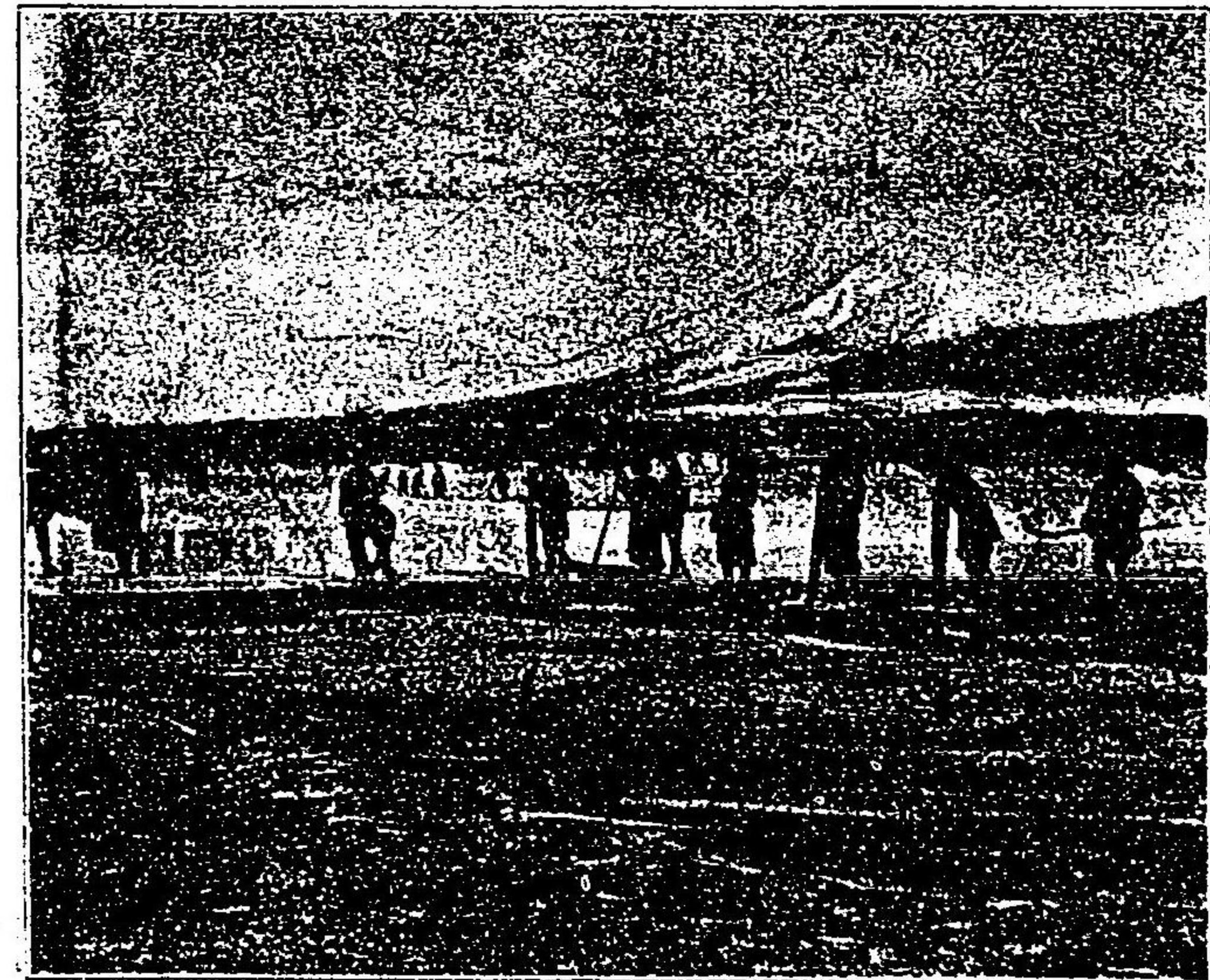
汽車バスツ入(大沼小沼の間)



函館公園摺鉢山景



小沼よ駒ヶ岳を望む



大沼氷切の景

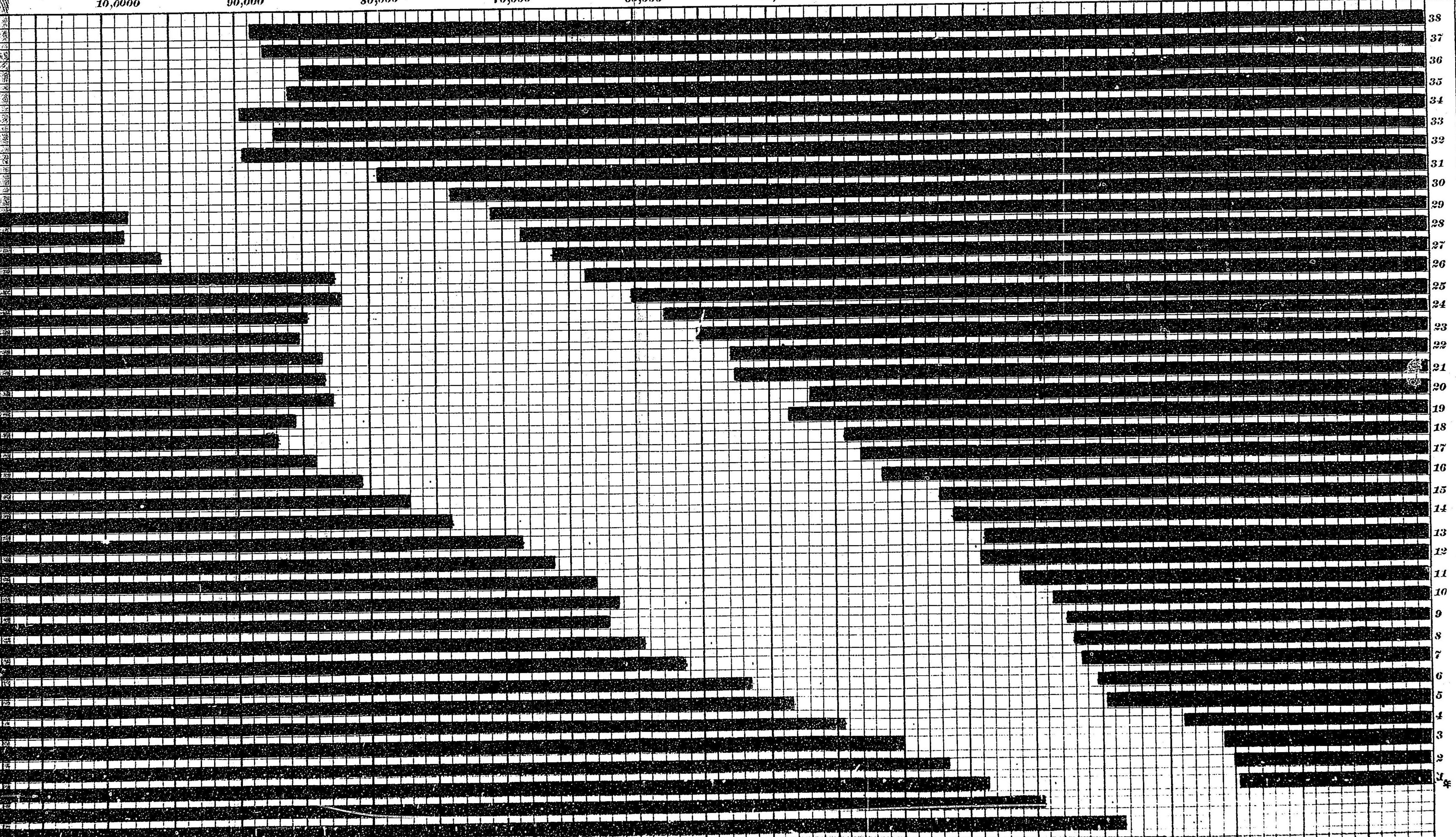
表 較 比 年 累 數 戶 並 口 人 區 館 函

[Redacted]

口 人

戶

10,000 20,000 30,000 40,000 50,000 60,000 70,000 80,000 90,000



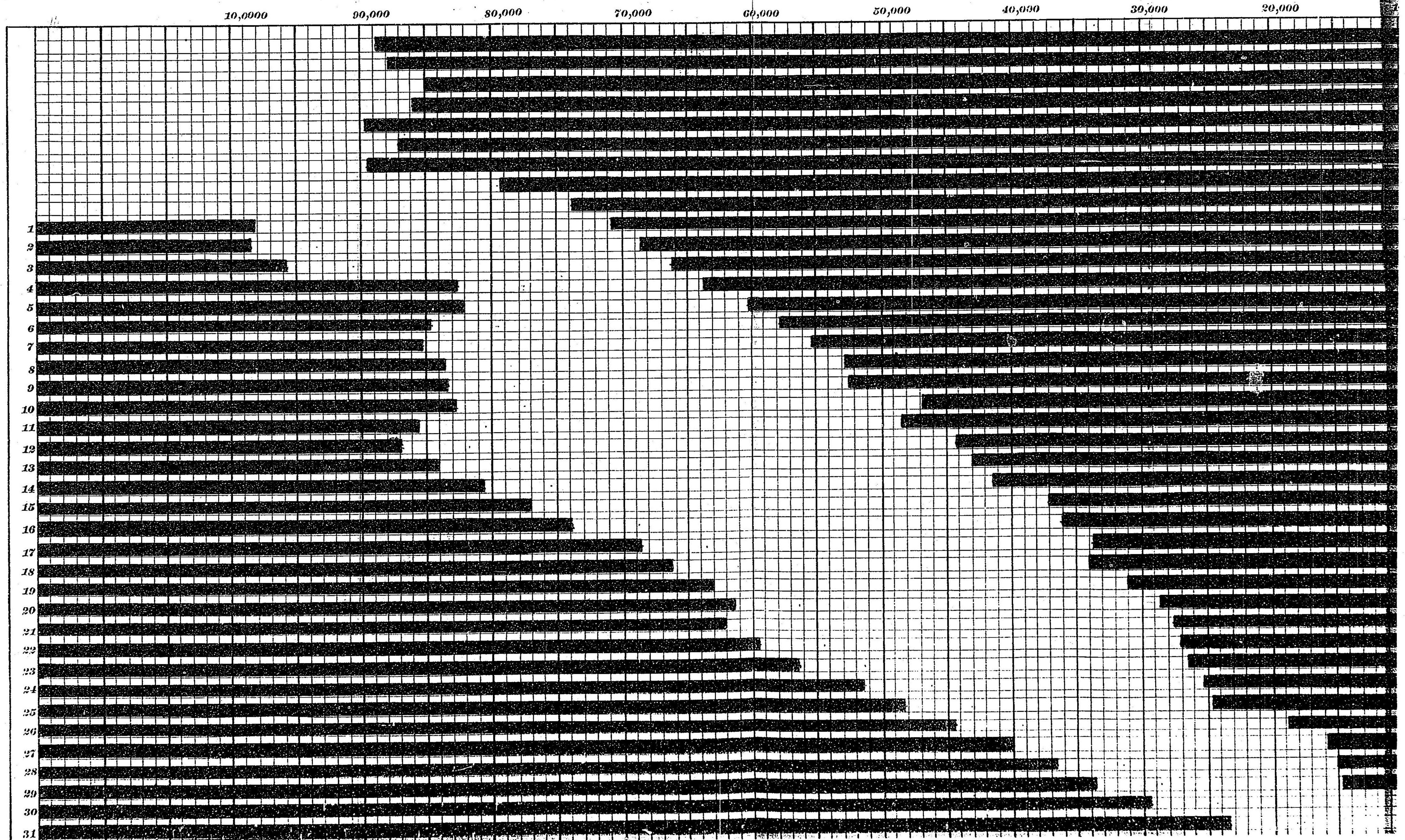
年

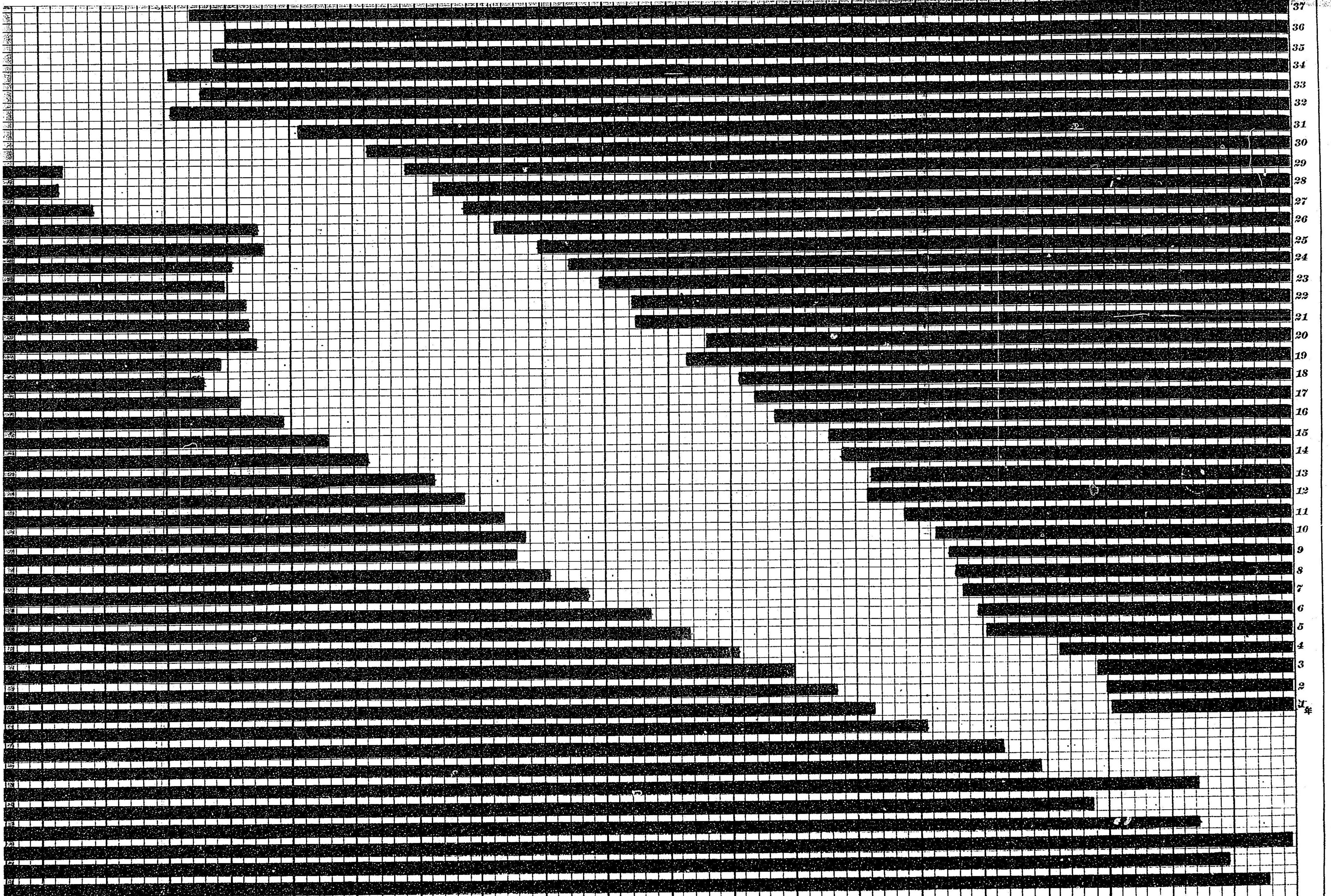


# 表 較 比 年 累 數 戶 並 口 人 區 館 國

數 戶

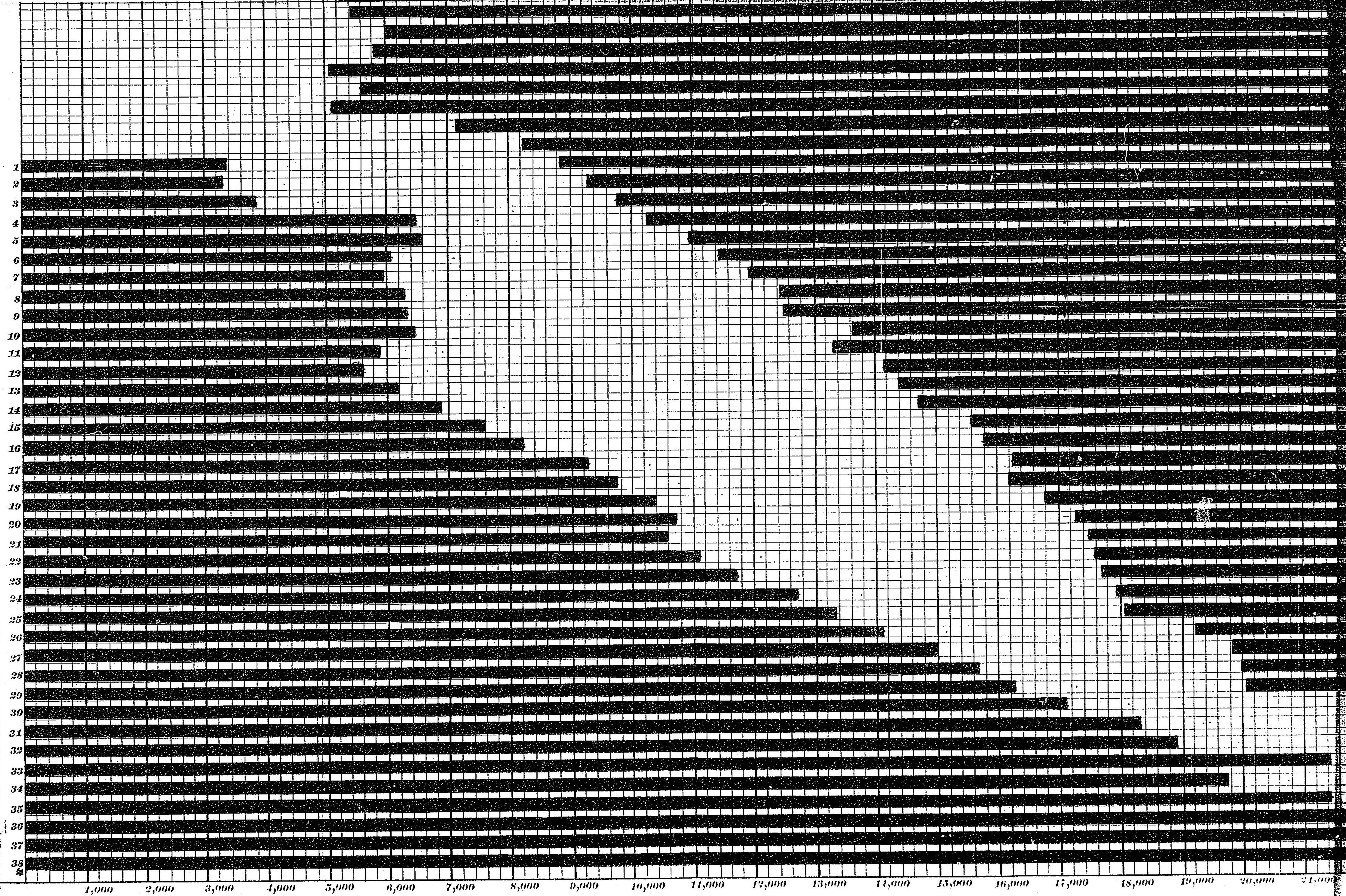
口



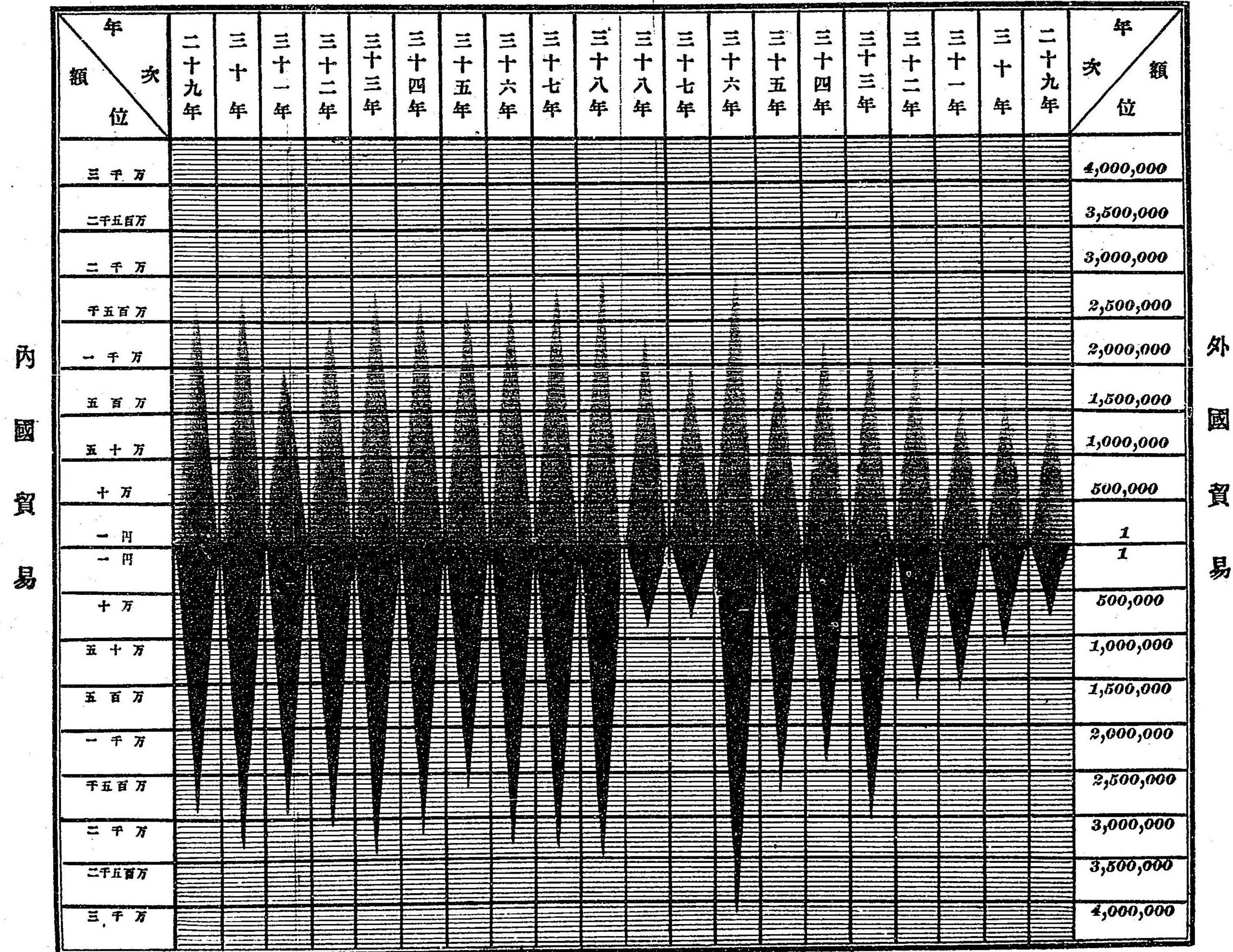


37  
36  
35  
34  
33  
32  
31  
30  
29  
28  
27  
26  
25  
24  
23  
22  
21  
20  
19  
18  
17  
16  
15  
14  
13  
12  
11  
10  
9  
8  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1

0 3,000 4,000 5,000 6,000 7,000 8,000 9,000 10,000 11,000 12,000 13,000 14,000 15,000 16,000 17,000 18,000 19,000 20,000 21,000 22,000 23,000



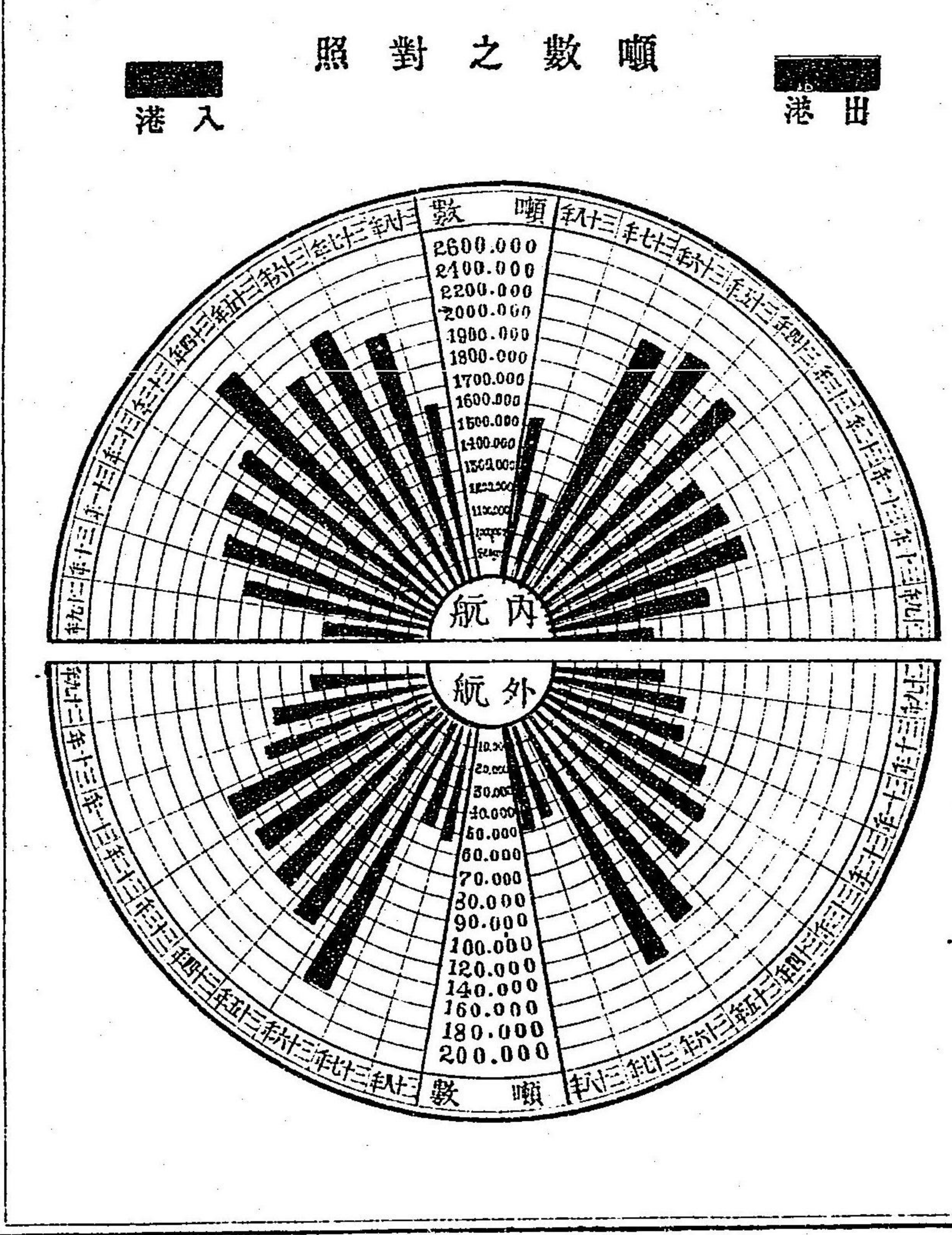
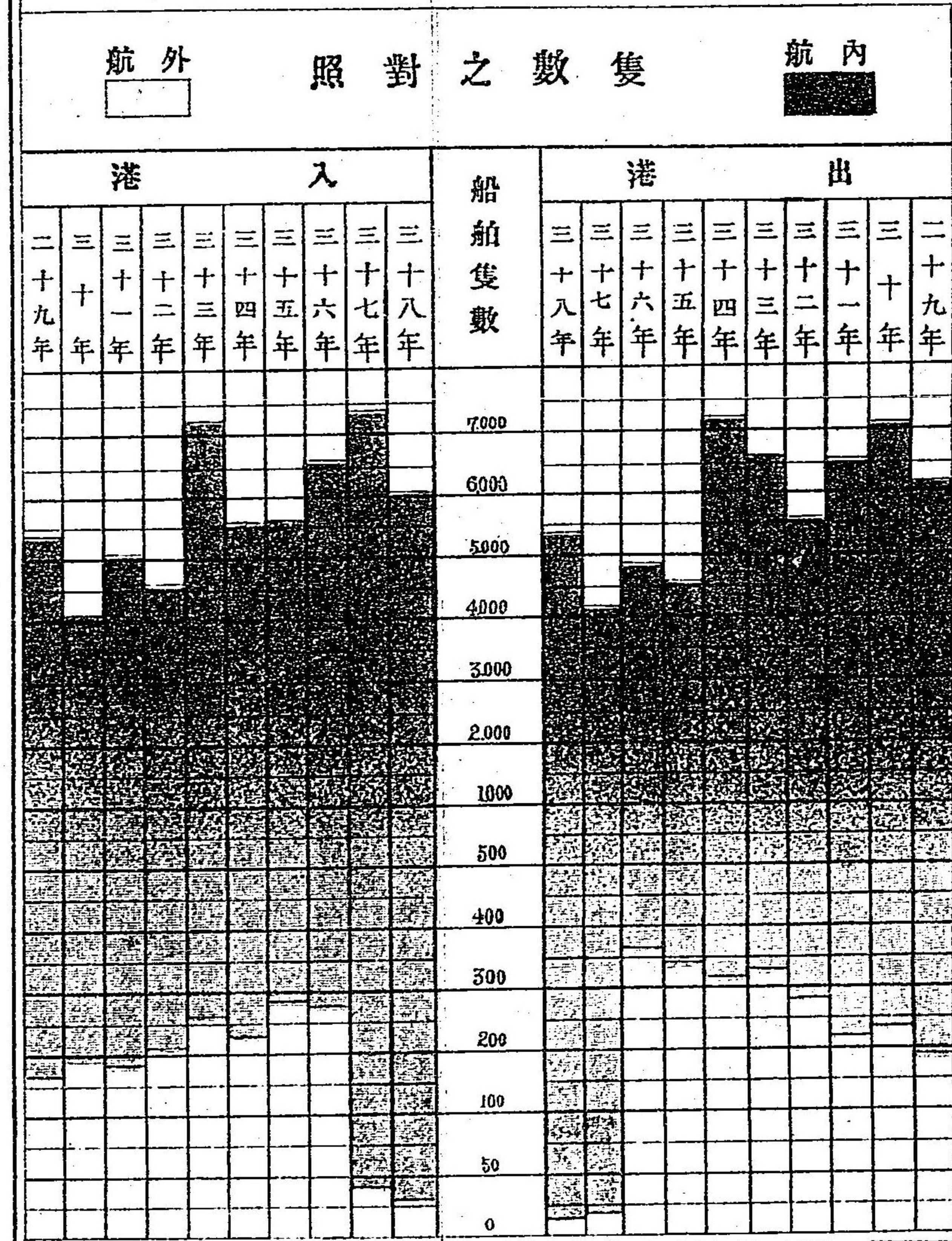
入 輸 表 照 對 間 年 箇 拾 近 最 額 易 貿 國 外 內 港 館 函 出 輸



內 國 貿 易

外 國 貿 易

### 表照對年箇拾近最船船入出國外內港館函



函館港對各縣府各港貿易最近參年對照表

輸 出 之 部

輸 入 之 部

千五百万	千万	五百万	百万	五十万	十万		万十	万十五	万百	万百五	万千	万百五千
						濱 年 六 十 三						
						年 七 十 三						
						年 八 十 三						
						濱 年 六 十 三						
						年 七 十 三						
						年 八 十 三						
						京 年 六 十 三						
						年 七 十 三						
						年 八 十 三						
						市 日 年 六 十 四						
						年 七 十 三						
						年 八 十 三						
						坂 年 六 十 大						
						年 七 十 三						

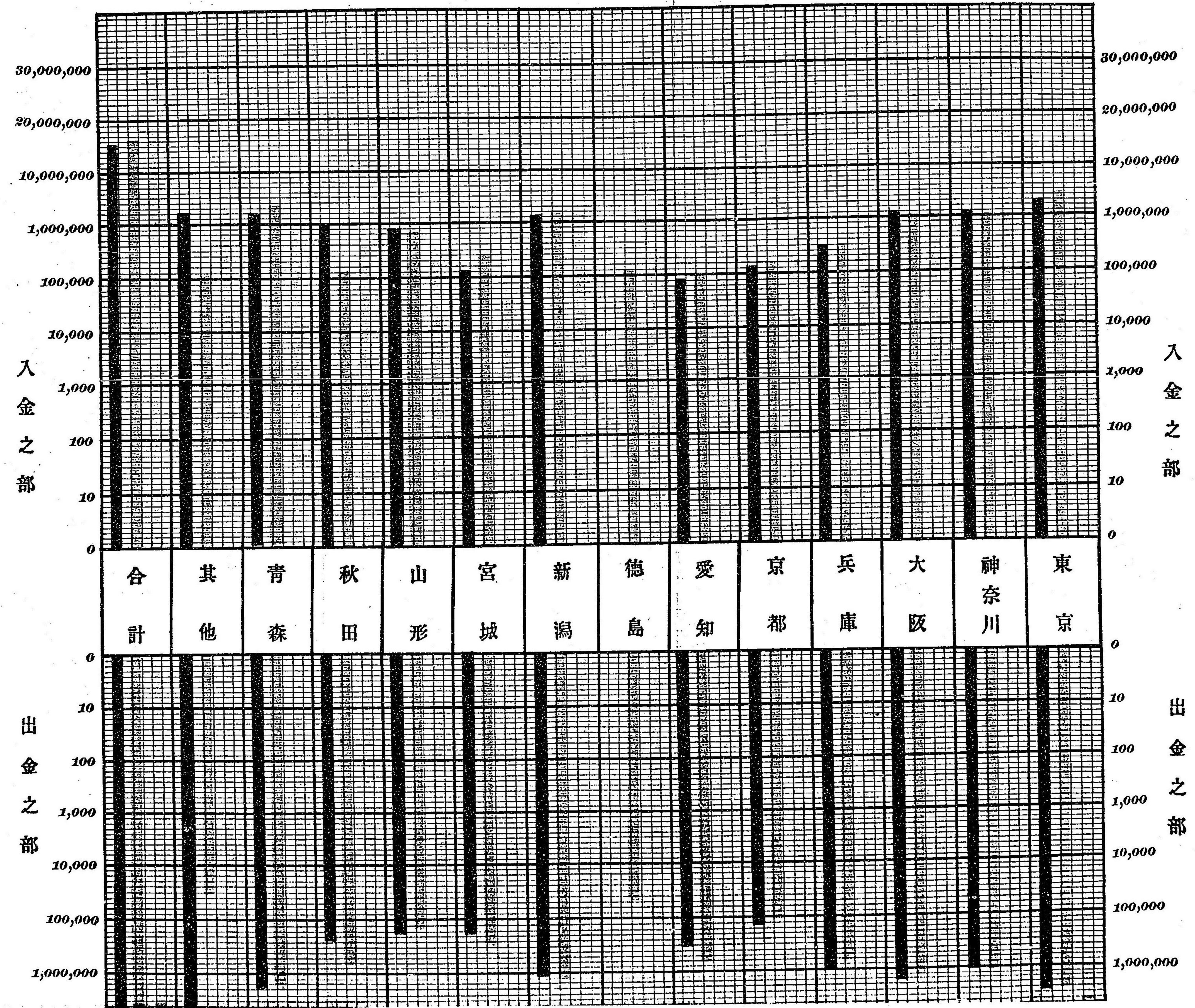
									横						
									三						
									三						
									三						
									東						
									三						
									三						
									四						
									三						
									三						
									大						
									三						
									三						
									神						
									三						
									三						
									阪						
									三						
									三						
									青						
									三						
									三						
									土						
									三						
									三						
									酒						
									三						
									三						
									新						
									三						
									三						
									伏						
									三						
									三						
									佐						
									三						
									三						
									敦						
									三						
									三						
									合						
									三						
									三						
									三						

函館各銀行諸爲替手形出入金地方別最近年對照表

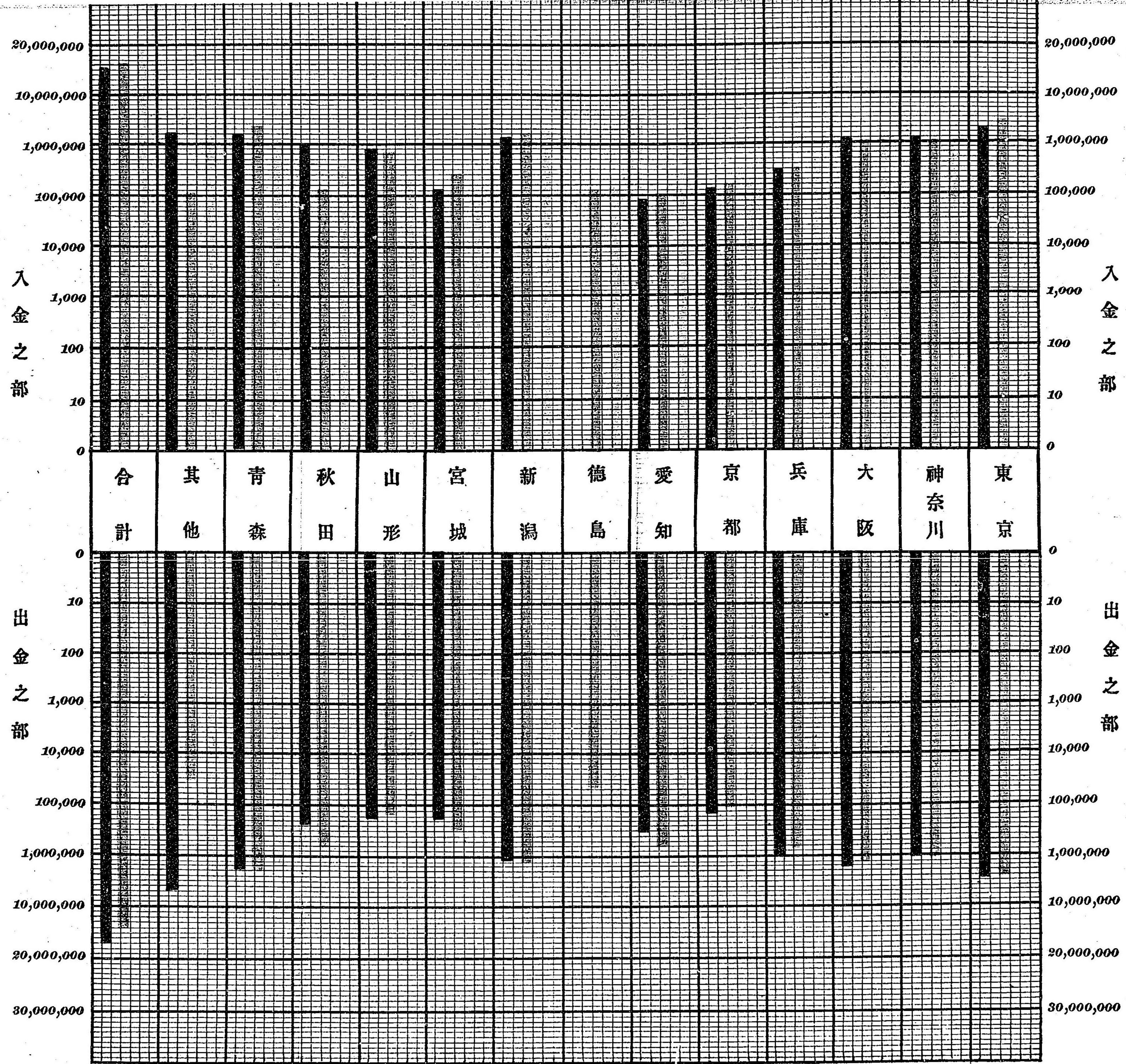
年八拾參

年七拾參

年六拾參







入金之部

入金之部

出金之部

出金之部

合計 其他 青森 秋田 山形 宮城 新潟 徳島 愛知 京都 兵庫 大阪 神奈川 東京

凡例

一、本篇は商業會議所聯合會を機とし本港情況の一斑を知るの便に供せんが爲必要と認めたる事實を蒐集したるものあり  
本篇中の統計表は可成最近五ヶ年を對照するに暁め殊に其内月別に統計數を知るの要あるものは又之を表示するに勉めたり然れども材料の蒐集意の如くあるを爲めに缺如したるもの莫きにあらず  
内國出入船舶表中帆船出入數の調査材料を缺き且又其搭載貨物も詳かならざるを以て全表及内國輸出入貨物表中帆船の分は含有せず  
本港は要塞地帶法の施行地なるを以て水陸の形狀を撮影録取するに全法の制限を受く故に本篇に挿入せんことを欲したる寫眞及地圖等多々ありしも遺憾ある其大部分は之を掲出することを得ず

明治三十九年七月

編者



◎ 函館情勢一斑目次

◎ 寫真版

- ▲ 町會所 ▲ 函館區役所 ▲ 函館税關 ▲ 區立病院
- ▲ 函館末廣町大通 ▲ 函館松船渠 ▲ 旅客昇降棧橋
- ▲ 赤川水源池の一 ▲ 全上の一 ▲ 函館配水池
- ▲ 函館大町通 ▲ 公園摺鉢山の景 ▲ 公園噴水の景
- ▲ 函館モバットに入(大沼小沼の間) 小沼より駒ヶ岳を望む ▲ 大沼の水切

◎ 圖解

- ▼ 函館區人口並戸數累年比較表
- ▼ 函館港内外國貿易額最近十ヶ年對照表
- ▼ 函館港内外國出入船舶最近十ヶ年對照表
- ▼ 函館港對府縣各港貿易額最近三ヶ年對照表
- ▼ 函館各銀行諸爲替手形金出入地方別最近三ヶ年對照表

◎ 港灣の變遷  
◎ 港灣の實況

二 一頁

◎ 市街の變遷

◎ 市街の實況

◎ 交通及商業の變遷

◎ 交通及商業の實況

- ◎ 函館港内國航路出入船舶表 一九
- ◎ 函館港外國航路出入船舶表 一九
- ◎ 函館港重要輸出入貨物表 (其一) 二一
- ◎ 全 (其二) 二五
- ◎ 全 (其三) 二八
- ◎ 全 (其四) 三一
- ◎ 全 (其五) 三五
- ◎ 全 (其六) 三九
- ◎ 函館港内外國出入船客月別表 四一
- ◎ 北海道鐵道株式會社函館驛旅客出入月別表 四三
- ◎ 函館馬車鐵道乘車人員表 四三
- ◎ 北海道鐵道株式會社函館驛發着貨物品別表 四三

◎函館郵便局郵便取扱件數表	四四	◎全 當座預金貸越殘高表	五八
◎全 上電信發着數表	四五	◎全 割引手形金殘高表	五八
<b>●金融の狀況</b>			
◎日本銀行函館支店諸預金高表	四六	◎全 預金利息平均表	五九
◎全 諸貸付金高表	四七	◎全 貸金割引手形利息平均表	六〇
◎全 割引手形金高表	四七	◎全 送金爲替出入表	六一
◎全 諸預金殘高表	四八	◎全 荷爲替出入表	六二
◎全 諸付貸金殘高表	四九	◎全 代金取立手形出入表	六三
◎全 割引手形金殘高表	五〇	◎函館貯蓄銀行貯蓄預金高表	六四
◎各商業銀行定期預金高表	五〇	◎全 當座預金高表	六四
◎全 當座預金高表	五一	◎全 貸付金高表	六五
◎全 其他預金高表	五二	◎全 割引手形金高表	六六
◎全 貸付金高表	五三	◎全 貯蓄預金殘高表	六六
◎全 當座預金貸越金高表	五三	◎全 當座預金殘高表	六七
◎全 割引手形金高表	五四	◎全 貸付金殘高表	六八
◎全 定期預金殘高表	五五	◎全 割引手形金殘高表	六九
◎全 當座預金殘高表	五五	◎函館各銀行諸爲替手形金出入地方別表	六九
◎全 其他預金殘高表	五六	(其一)	七一
◎全 貸付金殘高表	五七	(其二)	七二

◎全 郵便貯金出入表	七二	<b>●參考統計</b>	
<b>●物價</b>		◎函館區營業倉庫表	一〇七
◎函館港重要輸出入品價格平均表	七三	◎全 解船及荷重表	一〇七
<b>●工業の概況</b>			
◎船渠	九八	◎全 銀行及會社表	一〇八
◎セメント製造	九八	◎全 保險會社表	一〇一
◎電燈	九九	◎全 海上保險數表	一〇二
◎製網	九九	◎全 火災保險數表	一〇三
◎製紙	九九	◎全 生命保險數表	一〇三
◎其他	九九	◎全 商工組合表	一〇四
◎函館區職工賃金平均表	一〇一		
<b>●公共的設備の概況</b>			
◎水道	一〇二		
◎電話	一〇三		
◎學校	一〇四		
◎公園	一〇五		
◎病院	一〇五		
◎其他	一〇五		

函館情勢一斑

◎港灣の變遷

函館港は北海道の西南端に在りて恰も其咽喉に當たり津輕海峽を隔て、本洲東北の門戸たる青森港と相對し其間纔かに六十哩誠に一帶緯水の觀あり其天恵の良灣あると鯨鯨の豊富を以て早く漁場を爲し漁民の來住を増し漁獲物積取船の來往繁く元祿の末既に小村落を成したり安政六年幕府本港に於て外國との通商互市を允び及び船舶の出入漸次多きを加へ又本道の拓殖歩武を進むるに従ひ本港は實に物貨の集散地として年と共に殷賑の域に達せり

史に徴するに函館は蝦夷語ウシヨロケシと言へる地にしてウシヨロは入江ケシは未端の意義を有し即ち灣曲したる海岸を形容したる辭ありと云ふ實徳年間河野氏始めて此地に據り館を築きしか其形宛然箱に似たりしより箱館の名あり(明治二年國郡改稱の際箱を函に館を館に作る)後遂に地名とあれり當時土人猖獗戰亂絶へず河野氏久しかつすして其滅ほそ所となり土地復た荒廢に歸せしか今を距ること約三百八十餘年前松前氏の祖武田信廣大に蝦夷を討ち城を福山に築きしより函館は爰に面目を改め福山、江差と共に當時松前三場所の名あり天明以降露人數々邊疆を犯し國事漸く多端あらんとするに際し松前藩の微力之か警備に任ざるに足らざるに於て寛政十一年幕府東蝦夷地を割きて之を其直轄に移し南部津輕の兩藩

命を享けて各其營を箱館に築き邊警の任に當たりしより此地俄かに北門の重鎮として中外の要衝と成れり加ふるに幕府沖の口番所を設け所轄内各漁場の産物を直仕入と爲し此地に於て之を拂下けしかは四方の船舶輻湊して本港の繁榮を増せり安政六年本港に於て外國との互市を允るすや英、米、露の諸國各領事館を設置し函館の名は爰に對外的の意味を加へたり明治元年幕府の脱徒此地に據り兵を擧げ市街は爲めに兵燹に罹り住民は離散して一時衰憊の狀を呈したりと雖も幾許もなくして乱平定するに及び再び舊に復し爾來國政緒に就き本道の開拓亦公私の注意に上ほるに及び函館は常に主要なる政廳の所在地と成りたるのみならず其後海運の發達と共に本港は交通の要衝に立ち海面の埋立、埠頭の築造、船入場の新設、燈台船の設置、水道の敷設等諸般の設備營々として其域を進め諸種の事業亦從て勃興し本港の内容外觀又た寒煙稀ある昔日の漁村を夢想たもざるに由なきに至れり

#### ◎港灣の實況

本港は北緯四十一度四十六分東徑百四十度四十三分に位し其地勢一小半島を爲し先端拳形を爲して西方に迂曲し港口西北に展開せり其狀巴形に似たるを以て又巴港の稱あり南西方は丘嶽連亘し南北は山峯蜿蜒として自然の防風壁を爲し東南は堆沙相連らありて陸上一條の頸地を爲し東北は一体の沙洲連接して正弧形を描き西に走るに従ひて稍斜坡と成り漸次一帶の山脈と結んで港面を擁護し以西葛登支

岬に至るまで絶壁岩礁丘嶽等交錯並列して函館半嶋の尾花岬と相對して灣口を擁せり

港灣の形勢前述の如く西北に開展せるを以て西北風起るときは波浪港内を乱たし潮流土砂を送りて港底を填むるを以て明治二十九年工を起し辨天舊砲臺を崩壊して全地々先に千二百尺五方八千余坪の新地積を埋立て延長三百余尺の石堤を築きて防波の用に供したると今年海岸町より西方沖合に向け延長千五百尺の防砂堤を設けて漂沙の侵入を防きたるのみならず全年以降數年に涉りて巨資を投し港面の最も斗入せる東南隅即ち現に船舶及舢舨の交通地点たる海面十二万九千五百余坪の浚渫を施したるとに依りて著るしく此等の害を除去し今や港内主要の部分は大に安靜にして暴風の日と雖も船舶の碇泊に危害を與へ又は陸上との交通を杜絶するか如きこと殆んど稀れあるに至れり唯防砂堤附近及其以西は津輕海峽高浪の餘波を受けて船舶の碇泊、荷役の安全は保し難し

本港の港底は現に船舶投錨の主要部分は悉く泥土にして錨地に適し只僅かに辨天淺嘴陸地の西北端に突出せる部分のみ礫底あるのみにして暗礁其他障害物の港底に横はるものなければ本港は實に天然の好錨地に富めるものと謂ふべし更に其水深如何と言ふに港内海岸の淺淵を除き大約一尋乃至十三尋の間に在り現に船舶の輻湊せる主要部分は三尋半より五尋半にして尤も適好の水深と云ふを得べし又港

内に於ける潮流の方向を観察するに區々一定せざれども概して差し潮は函館より沿岸に沿ふて辨天角より港内に環流するものと葛登支岬方向より直入して寒川附近より直に右轉南下する上ヶ汐と兩潮混流して退去するものゝ如し而して本港の水面南西の一部分のみ展開して津輕海峡に接續し他は皆陸地を以て圍繞せらるゝか故に上ヶ汐の際西風吹き起るときは退潮路を扼するを以て水位甚たしく嵩まり之に反すれば水位低落するの傾向あり此干満の平均速度は平時一秒一寸乃至三寸五分にして頗る遅緩なり

#### ●市街の變遷

函館は素と一小漁村に其萌芽を上げたること既記の如しと雖も其地勢本洲との交通の要衝に當れるを以て其發達頗る早く夙に政治的地區として都邑の形を爲し天明五年の交既に戸數四百五十余人口二千五百に達せり然れども當時松前は政治の中央府にして力めて富商を誘致し城下の繁榮を講じたるか故に此天然の興地も其繁榮遠く彼に及ばざりしか寛政十一年幕府東蝦夷地を割いて假りに其直轄と爲したるより大に生氣を起し一躍商業繁盛の衢と爲れり後享和元年に至りて茲に政廳を置き又内濶町(今の東濱町)の海面を埋立て造船所を設け倉廩を開き道路溝渠の開設を爲す等意を公共的設備に注ぐに至り寛政の末には鱒濶、辨天、山ノ上、大黒、仲町、内濶、地藏、大町、神明の九ヶ街を成し辨天町は市場の中心にして

山ノ上町、神明町(今の旅籠町附近)には芝居小屋等を見るに至れり文化年間辨天町より大火起り市街の過半は烏有に歸したるのみならず文政四年には此地復た松前藩の管轄に歸したる爲め其繁榮は再び松前の奪ふ所となりしか嘉永年間再び幕府の直轄に復し一般の進運に伴ひ漸次戸口を増し同末頃には戸數千六百余人口八千九百余人となれり安政六年第一築島(今の眞砂町附近)第二築島(今の龍紋氷室附近)及第三築島(今の郵船會社支店所在地)船塲町等の埋立現今の幸町及税關所在地の突堤成り萬延元年には倉庫建設の目的を以て今の仲濱町所在地に二千余坪地藏町地先(現時金森倉庫附近)二萬余坪の築立を成す等市街漸次發展し今年の戸數千九百余人口九千七百余より慶應三年には戸數三千三百余人口一萬四千六百と成り急激ある進歩を示し優に松前江差を凌駕するに至れり當時此地に於ける交通の門戸は沖の口番所(今の水上警察分署附近)にして商賈此附近に聚合し大町埋立地は外人の居留するありて商業の中心点と成り現今の旅籠町附近は歌舞管絃の熱鬧地たりしあり然るに維新に際し不幸にも函館の變起り商賈の店舖は多く兵燹に罹り市民離散して一時市街の發達を阻害したるも幾許もあくして平定に歸し住民再び生業に復し爾來世運の進歩と共に百般の施設を進め益々市街發達の氣運を示せり今四年には税關敷地の埋立あり五年には郵便事務の開始せらるゝあり函館、札幌間及函館青森間に電線の架設せらるゝあり札幌に至る道路の

開鑿せらるゝあり全七年には函館青森間及東京青森函館間各定期航路の開通するありて市況益々活潑となり初め山麓の傾斜地に蟠據せる市街は漸次海濱の低地向ひて蔓延し海陸連絡の要地は西方仲濱町附近より東方東濱町船場町方面に擴かりて函館の繁榮は漸く東漸の勢を示せり當時戸數六千六百餘人口貳萬五千、全六年以後所々に數回の大火災あり前後數年間に市街の大半を烏有に歸せしめたるも此等の不幸は却て市街改良の動機を爲り其都度舊來の陋巷は其幅を擴め曲折せる道路は其線を正し市區の規劃は爲めに整頓に近づき衛生、防火等の施設は改良を促し各般の經營一經驗を經る毎に一進歩を爲したれば市街主要部分の体裁は内地有數の都會に比し毫々遜色なきに至れり今十四年區役所を置き街衢の整理町名の變更を决行せり當時戸數六千九百十四人口三萬六千五百五十人なり是より數年間は世上一般不景氣にして當地亦商業振はそ從て進歩の程度稍遅々たりしも明治二十年前後商業再び生氣を復し銀行會社等勃興し全二十一年には新堀川溝渠を埋没して地區を擴張し翌二十二年には眞砂町地先を埋立て今年又本區積年の宿題たりし水道布設工事成り二十三年には海岸町の埋築あり全年電燈所創設せられて市内の夜景を一變し三十年には市街貫通の馬車鐵道布設せられて交通の便を増し三十二年には港灣改修工事として辨天舊砲台を崩壊して地先一千二百尺五萬八千餘坪の新地積を埋立て三十三年には新埋立地内に大船渠の建設あり今年若松町の海面

二萬八千餘坪の埋立成り三十六年之を北海道鐵道停車場用地に充て今社は茲に海陸連絡の設備を爲したり三十七年函樽間鐵道完成して本港を本道内地に近接せしめ全年船渠會社其敷地尖端に四千餘坪の埋立を起せる等諸般の設備營々として成り今や市街の殷賑は啻に本道に冠たるのみあらそ正に東京以北第一の都會と爲れり

●市街の實況

函館市街は之を海面より展望すれば蛇々たる臥牛山麓松杉鬱蒼たる間白雲閑隱見し斜に西方に亘りて高樓朱屋点在し海岸には煉瓦石造等の倉庫相接し其觀望頗る佳良にして其狀頗る香港に酷似せりと云ふ東部には宏壯なる區役所の高樓瓦として聳へ其他の家屋檐を連ねて連亘たり内の總面積三百二十三萬四千餘坪にして其内山林懸崖市街地に適せざるものを除き現市街地成面積は百二十三萬九千餘坪なり今市街一覽表を示さん

町名	面積	戸數	位置	特殊狀況
山脊泊	八、三六五坪	一九五	市街西端ノ岬	漁民ノ居住地ニシテ墓地、避病院、火葬場アリ
小舟町	六、八九二	九八	西部新埋立地	
惠比須町	一三、三九〇	六六七	中央街	最モ樞要ノ街衢ニシテ巨舖多シ
末廣町	三四、八〇四坪	五一五	全	東遊廓ニ近ク繁華ノ場所ナリ





春日町	相生町	壽町	會所町	富岡町	大黒町	鍛冶町	旅籠町	帆影町	仲町	臺場町
一八二七九	二七、一一二	四、七七〇	一一、二五九	七、九四六	一六、三三四	一一、六七四	一〇、八四四	三、七二〇	一一、二七五	一〇、九七八
四六八	五六三	三三三	三三六	三三六	八七六	四二五	五六三	二八	一一〇	七五
山ノ手	中坡街	全	全	全	全	全	全	西部埋立地	全	全
社寺、別荘等アリ			英國領事館アリ	町會所、商業會議所アリ	西遊廓ニ近ク料理店多シ	全				船渠アリ
音羽町	若松町	海岸町	寶町	鶴岡町	眞砂町	豊川町	汐止町	地藏町	船場町	東濱町
一四七六〇	三四、七二〇	七九、六一五	二〇、一五八	二七、七七〇	二六、四〇一	一七、三三〇	七、〇一三	一〇、二四四	一九、五一一	一一、三七一
六九四	一〇、六九九	八七三	七三〇	九五七	二六、七	三九五	三三〇	三五六	一一三	二〇九
全	全	全	全	中央街	頭地	裏町	全	全	海岸地	全
全	停車場アリ	漁民部落	遊廓附近地ニシテ劇場、寄席多シ	繁華ノ地ナリ	倉庫多シ			東部函館ニ於ケル繁華地ナリ	倉庫地ニシテ郵船會社支店アリ	海陸交通地点ニシテ旅店多シ此橋アリ税關亦此ニアリ



駒止町	鱈淵町	臺町	船見町	天神町	元町	曙町	汐見町	青柳町	谷地頭町	住吉町
四、五四七	四、八三一	一七、三四一	五、五四八	二七、三八五	四、二六七	一一、二二七	二七、六九五	二八、六四一	八、二六四	四、五三〇
三三六	二九一	一四二	六五四	七七六	四三〇	三九五	一七八	八三八	一五九	二九四
中坡街	西部下ノ海	西部濱	山ノ手	全	全	山ノ手	全	全	谷地	市街東ノ坂上
漁民ノ部落	遊廓アリ	遊廓アリ	寺社、邸宅多シ	露、米領事館アリ官邸多シ函館病院在リ	學校、外人住宅等アリ	邸宅多シ	招魂社アリ	官舎邸宅多シ裁判所アリ	閑静ノ地ニシテ別荘料理店等アリ	漁民ノ部落
蓬萊町	大森町	西川町	東川町	榮町	旭町	松風町	東雲町	新川町	高砂町	大繩町
二九、四六三	三九、八七八	二六、六八六	二四、四七〇	一九、八五八	二二、三四六	三六、三六三	三〇、九八二	四四、一〇四	四八、三九九	一〇、三七七
一一、二二	四四三	一、〇五	八八五	一、三三七	一〇、四六	三八五	一〇、〇六	一一三	二八五	一四三
全	沙頭地	全	全	全	全	全	全	全	頭地	全
遊廓アリ料理店亦多シ	細民多シ	古道具屋店ヲ列ス	新市街ニシテ細民多シ	全	全	全	全	全	細民多シ	全

新濱町	六、三六六	二四全	仲濱町	六八一	九四五	全	回漕店多シ清國
辨天町	二九、三九一	三三三	西濱町	六、六四五	一〇二	全	回漕店、物産商多シ
大町	二二、六一三	三〇五	總田町	二、三四七、〇五〇	六五八	頭地	農氏多シ
幸町	三、三六一	九六	海岸地	海産問屋多シ			

次に明治初年以降の人口戸数を左に表示す

年次	戸数	人口	年次	戸数	人口
元年	三、三九五	一四、六三三	二十七年	一五、〇一九	六六、三三三
二年	三、三四六	一五、〇三〇	二十八年	一五、七四七	六八、五九四
三年	三、八八三	一五、八三六	二十九年	一六、二七六	七〇、八二一
四年	六、五〇九	一八、八二五	三十年	一七、一三九	七三、九六八
五年	六、六六一	二四、五八四	三十一年	一八、三四一	七九、四七四
六年	六、一〇五	二五、二四五	三十二年	一八、九〇九	八九、七九五
七年	五、九九五	二六、三五一	三十三年	二一、四三四	八七、一五九
八年	六、三〇六	二七、〇九二	三十四年	一九、七五九	八九、四八四

年次	戸数	人口	年次	戸数	人口
九年	六、三六七	二七、四二四	三十五年	二一、四四一	八五、九三四
十年	六、五〇九	二八、三四四	三十六年	二二、九四六	八五、一〇五
十一年	五、九五八	三一、一八六	三十七年	二一、九一一	八八、〇七一
十二年	五、八三三	三四、一一一	三十八年	二二、五六九	八八、六一〇
十三年	六、一六〇	三三、八六四	二十六年	一四、一五三	六三、六一九

◎交通及商業の變遷

蝦夷猖獗にして内憂を爲し外患亦屢海邊を侵して内外の警戒に究々たる時代に於て商業の發達と夢想をへくもあらず松前藩政の交當地商業の微々として言ふに足らざるは素より其所なり其后蝦夷我治に服し外寇亦其蹟を収むるに及び政府は意を本道の經營に注ぎ明治二年開拓使を置きて之か任に當らしめたるより本道拓殖の事業稍緒に就き本港の商業亦茲に其端を啓けり然れども當時運輸交通の便尙未だ幼稚にして僅かに日本形帆船のみ使用したるに過ぎを爰に於て開拓使は先づ西洋形帆船咸臨、昇平の二隻を造りて官物運搬の用に供し次いで一般商品の運送を容るせり翌三年には外國人某より汽船を購入して之を廣午丸（六四一屯）と名づけ京都府の人木村萬年氏をして本道貨物の運輸を掌らしめたり今氏即ち回漕社を創立して其支社を本港に置き航海を創めたり之を本港に於ける汽船出入の嚆矢

とす后ち開拓使は或は帆船を造り或は汽船を購ひ漸次其數を増し全四年外國船「  
レッサ」号を購入して辛未丸（九七屯）と名つけ全五年には北海丸（一、一〇〇  
屯）弘明丸（三〇九屯）稻川丸（一五屯）及石明丸（六屯）の四隻を増し全六年  
には玄武丸（六四四屯）矯龍丸（三七四屯）及雷電丸（二四〇屯）の三隻を加へ  
り此年弘明丸、稻川丸を以て函館、青森間の定航に充て又北海丸を保任社に玄武  
丸を運輸會社に貸與して運輸を取扱はしめ官營民業併立の方針を以て獎勵保護を  
加へしかは航海の氣運隆起して斯業大に發展し來れり全七年三菱會社の函館東京  
間定航の開始する等ありて大に交通の便を増加し且全八年五百石積以上の日  
本形船の新造を禁止して西洋形帆船の製造を獎勵したるより日本形船は漸次其影  
を減し全十四年には開拓使附屬汽船十四、帆船十五隻の多きに達したるのみあ  
るに至れり全十五年開拓使の廢止と共に其附屬船舶は之を私立會社に委せらるに及  
び運輸業は全く民業に歸したるのみならず本道拓殖の進捗に連れて逐年斯業の發  
達を促し僅に過去三十余年間に於て日本形帆船の時代は去つて西洋形帆船の時代  
に移り幾許もあくして汽船交通の現況に遷れり今や汽船の出入一ヶ年殆んど一萬  
隻の上に出て其屯數四百五十六萬余屯を唱ふるに至り之を明治十四年の汽船出入  
合計九百九拾七隻に對比せは實に十倍以上の増進たるを知るに足るへし豈急激の

進歩あらずとせんや

運輸交通の發達と共に輸出入貨物の從て増進したること素より言を俟たず抑本道  
の物産は主として水産に在ること勿論にして開拓使は本道拓殖の方針を立つる  
の初めに當たり尤も漁業の保護に注意し明治五年本港に貸付會所を設けて漁業資  
本を貸與し全六年には九州地方より漁夫を招きて之を本道各地に配置し或は漁具  
を改良して漁獲製造の術を進め濫獲を戒め粗製を矯め或は産物會所を設け又運  
漕商社に托して販路擴張の途を開く等努めて保護獎勵の道を講せしかは生産の増  
加と共に其輸出を増し鯨、鹽鮭、干鱈、干鮑等は本道特産品として  
夙に聲價を高めたるのみならず殊に昆布は本道の一大生産として海外に知られた  
り爾來本道内地の拓殖に連れて陸産亦發達し石炭硫黃の發掘、木材の伐切、豆類  
の産出等漸次増加し逐年輸出額を増進せり而して本港は内外交通の衝路として此  
等の産物集散地たるを以て本港の貿易は以上の事實と趨勢を共にし今や壹ヶ年の  
國內輸出入額四千五百萬圓以上に出て之を明治十四年の輸出入額千百參拾參萬六  
千余圓に對比するに實に三倍半以上の増進を示すに至れり  
繼て對外交通商業の發達如何を視るに安政六年政府本港に於て通商互市を允らし  
たりと雖も當時の對外交通は毫も特記するに足るものあかりき蓋し樺太島は當時  
我邦の領土にして全嶋との交通は縱令是有りしとせざるも是の一の内國交通に外ならず

す然るに明治八年日露間に樺太千島交換條約成りて今島は露國の有に歸したるより全嶋との交通は一の對外的となり今島漁獲物の輸入は對外商業品として取扱はるゝに至れり明治二十六年に至り露領尼古來斯克に漁業上の交通開け今三十二年には勸察加に於ける漁業開始せられ此等方面の輸出入は本港對外商業の主要部分とあれり然れども是等は總て漁業關係より生したるものにして其輸出と言ふも實は漁場に於ける需用品の搬出あり其輸入と云ふも多くは漁獲物の運致にして之を對外商業と稱するは聊適當あらざるの感あきを得る然るに今三十二年政府は補助金を與へて日本海に面せる諸開港と本港、小樽、コルサコフ、浦次、及韓國元山、釜山間の定期航海を大阪の人大家七平氏に命せしより本港對浦次の貿易は其端を啓き又嘗て在留清國人の手に依りて外國帆船又は外國汽船を以て本港より昆布其他の海産物を上海に輸出し居たるに近來内外汽船を用ひ其航海數を漸次増加するに至り本港對上海貿易は稍發達の機運に會せり是れに加ふるに本道産出の硫黃は凡三十餘年以前より北米地方に其販路を有したりしか近來益其直輸出を見るのみならず今三十二年紐育より米油の直輸入開始せられ北米對本港の對外交通は此二品に依りて年々繼續し來れり今や此等對外商業は一々年輸出入を合せて七百萬圓台に上ほり其内彼純然たる貿易品と見做し得ざる漁業上の關係數額を扣除するも尙約三百萬圓を下りそ之を以て對外商業の隆盛を唱ふるは尙未だ早しと雖も本道

内の拓殖歩武を進め殖産興業日を追ふて隆起するに至るは本港は本道咽喉の位地に在ると近來世界交通の一要路として望を屬せられつゝある津輕海峽に瀕せるを以て對外交通の發展は決して今日の狀態を以て止息するものゝあらざるを思はゞ大に意を強ふるに足るべき也

次に陸上交通の變遷如何と言ふに古昔松前領の頃は陸上交通機關として殆んど見るべきものなく貨物を運搬するに駄馬に依賴するに非らされは人肩を借るの外あかりしか開拓使の時代に入り明治六年函館札幌間に新道を開設し又今年函館森間の運輸を開き今三十二年には函館江差間の道路開通し馬車を通せり今三十年には馬車鐵道會社の設立ありて函館市街の樞要部分を一貫して湯の川に通し全村地方との交通の利便を増せり又明治二十七年以來有志の計劃したる函樽間鐵道は其成立幾多の頓挫を生し一時世人をして其成功を危ましめたりしが基礎漸く成りて三十五年には遂に其一部の開通を見三十七年十月に至り竟に全線の開通式を擧げ本道の二大要港は玆に陸上交通の完なきを得たるのみならず此鐵道は結局本港を本道内地に近接せしむるの効果を奏せり本港陸上交通の變遷は大要以上の如しと雖も本港陸上交通機關は未だ以て完備せりと云ふへからず

#### ●交通及商業の實況

本港海上交通は之を種々の点より之を區分することを得へし即ち本港を起点とし

て航海を成さるもの他港を起点とし本港に寄港するもの、命令に依り定期の航海を爲すもの、自由に定期的航海を爲すもの、全く不定期ある隨意の航海を爲すもの、對外航路、海内航路等は是れあり今其現況を左に分説をへし

甲、本港を起点とし命令に依り定期の航海を爲すもの

一、函館、根室線、本線は北海道廳の命令の下に補助金を得て日本郵船株式會社の經營する所にして本港を起点とし釧路、厚岸、霧多布に寄港し根室に至る、毎月六回の發船にして根室沙那線及根室網走線に聯絡せり

二、函館、大津線、本線も亦前線同様命令航路にして本港渡邊熊四郎氏の經營する所にして十勝國廣尾に寄港して大津に往復す其航海度數は一ヶ月五回とぞ

三、函館、小樽線、本線も亦全上命令航路にして日本郵船株式會社の經營する所其航海は四月より十月まで毎月五回十一月より三月まで毎月三回にして江差、壽都、岩内、奥尻に寄港して小樽に至り小樽、コルサコフ線及小樽、稚内網走線に接続せり

四、函館、單冠線、本線は千嶋冬期航路にして全しく北海道廳の命令の下に日本郵船株式會社の經營する所あり本港より根室を経て單冠灣に達す其間瀬石、乳呑路、斜古丹に寄港し航海度數は十二月十五日以後一回一月十五日以

後一回都合一ヶ年二回なり

五、函館、青森線、本線も亦日本郵船株式會社の經營する所にして其航海は午後本港を發し翌午前青森に至るものと午後青森を發して翌午前本港に着するものとの二に成る

右の外命令航路にあつざるも概して定期的に一定の航路を往復し郵便物の搭載を托されつゝあるもの左の如し

- (イ)、函館、釧路、厚岸線 (ロ)、函館、福山、江差線 (ハ)、函館、壽都、岩内線
- (ニ)、函館、江差、瀬棚線 (ホ)、函館、新潟線 (ヘ)、函館、浦河、幌泉線
- (ト)、函館、森、八雲線 (チ)、函館、室蘭、虻田線 (リ)、函館、樫法華、鹿部線

乙、命令に依る定期航海にして本港を寄港地の一とあそもの

一、神戸、小樽線、本線は遞信省命令航路にして日本郵船株式會社の經營する所東廻り西廻りの二線あり東廻りは横濱、萩の濱を経て常港に寄港し西廻りは尾の道、馬關、濱田、敦賀其他の日本海に面せる諸港を経て本港に寄港するものにして東廻りは毎月十回、西廻りは毎週一回本港に寄港の割合あり

二、青森、室蘭線、本線も亦全省命令航路にして毎日各一回發航し本港は其寄港地たり

三、日本海線本線は外國航路に屬し本省の命令の下に一線は門司、一線は小樽を起点とし日本海に面せる諸開港及韓國諸港に寄港して浦汶に至る本港は即ち寄港地の一なり

丙、全く自由の航海を爲さるもの

其筋の命令に依らざる又自由の定期航海にもあらず全然不定期の航海を爲すものは内國航路は擧げて之を數へ難しと雖も海外航路は稍説明に價ひざるものなきにあらず即左の如し

一、本港上海間、海産物輸送期に於て在留清國人の經營する所にして多く外國漁船を用う其航海度數は産物の豊凶に依り多少差あれども大凡一々年十回の往復なり

二、本港北米間、紐育より本港へ米油の輸入本港より北米西海岸に硫黄の輸出の行はるゝ航海にして外入の經營する所にして外國帆船を用う其度數は一々年數回に止まる

三、本港薩哈連及勘察加間、鯨及鮭鱒漁業季節に行はるゝ所にして漁船及帆船を用う其航海は全季節中瀕繁を極む

以上本航海上交通の一斑を概説したるを以て左に最近五々年間内國航路出入船及外國航路出入船數を表示し以て参照に資せ

函館港内國航路出入船舶表

出入及種別	年次			出入及種別	年次		
	三十八年	三十七年	三十六年		三十五年	三十四年	
入	瀛船 一、六三、五四〇	一、一八、四、二〇六	二、二一、三、七五八	二、〇七、四、五二九	二、四、五、五、六		
西洋形帆船	?	?	?	?	七、八、七、二		
日本形帆船	?	?	?	?	七、八、九、六		
計	一、六三、五四〇	一、一八、四、二〇六	二、二一、三、七五八	二、〇七、四、五二九	二、四、五、五、六		
出	瀛船 一、五七、七、五三〇	一、二四、四、二八九	二、一七、九、八八八	二、二〇、四、五八三	二、一、七、六、〇		
西洋形帆船	?	?	?	?	七、六、三		
日本形帆船	?	?	?	?	八、三、七、四、八		
計	一、五七、七、五三〇	一、二四、四、二八九	二、一七、九、八八八	二、二〇、四、五八三	二、一、七、六、〇		
出入全計	三、二〇、九、〇七二	二、四二、七、四九五	四、三九、三、〇三三	四、二七、九、一一三	四、七、七、九、〇六六		

函館港外國航路出入船舶表

出入及種別	年次
三十八年	三十七年
三十六年	三十五年
三十四年	



品目	年次	單位												
		石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	
鮫	三十八年	一、五二七、九二八	一、五二七、九二八											
鮫	三十七年	二、一三九、五五四	二、一三九、五五四											
鮫	三十六年	二、八五〇、六四七	二、八五〇、六四七											
鮫	三十五年	二、七三三、三三四	二、七三三、三三四											
鮫	三十四年	二、〇六六、四三三	二、〇六六、四三三											

廿一

函館港主要輸出入貨物表

其一 (各府縣へ輸出)



出入全計	出					入				
	和形帆船	全帆船	日本汽船	全帆船	外國汽船	計	和形帆船	全帆船	日本汽船	外國汽船
九九、九六六	五、三三〇	四九三	一、三五三	二、三二八	四七、一四四	四八、六四六	一、三一	九四九〇	二、三二八	四、五三三
九三、五一〇	四七、二九四	一、一五一		九、〇六一	三八、一九四	四六、二四三		一、〇二九	九、〇六一	三六、一四四
三三、六四二	一七、二四四	二、〇二四	八七、三九三	一、四八八	五三、三〇三	一五、二七七	九七三	二、六四〇	七、三三三	五三、三〇三
二、七〇六	一、五三三	二、〇一七	五五、八〇六	七、四一九	四〇、六九〇	一一、二六四	一七三	一、三二四	五〇、三九六	四〇、六九〇
二〇三、五五二	一、三三〇	一、八六四	一七、一五九	五八、九〇一	三、一五三	九〇、〇三六	三三六	一、〇八〇	四三、〇八九	三〇、一九七

右船舶に依る貨物出入の状況を表示せば左の如し

二十



馬	牛	毛皮類	粉類	亞麻及麻類	玉藍及葉藍	果實	蔬菜種	雜穀	小豆	大豆	冰豆	海藻類	刻昆布	雜昆布	折昆布
ク	頭	枚	ク	ク	俵	個	ク	ク	ク	石	噸	斤	ク	ク	ク
一、五五一	七、八〇三	三、九五八	三、九五八	一、七五三	一、五三六	六、二四三	九、〇八九	九、七九六	四、八〇八	八、三二六	五、六九〇	二、六九〇	五、七三〇	一、五五三	一、三三三
七、九八一	七、〇〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、〇〇〇	四、七三〇	一、〇〇〇	四、九〇〇	一、〇〇〇	八、四七〇	二、二四〇	一、四一〇	七、二六〇	一、七五〇	一、五二〇	一、七五〇
一、〇三五	四、〇〇〇	八、三三〇	八、三三〇	一、五七〇	六、六六五	三、三三〇	三、三三〇	三、三三〇	二、二二〇	四、〇七〇	五、〇七〇	四、〇七〇	一、〇七〇	一、〇七〇	一、〇七〇
八、三三〇	二、〇〇〇	三、三三〇	三、三三〇	四、八五〇	一、七三〇	一、七三〇	一、七三〇	一、七三〇	一、七三〇	一、七三〇	一、七三〇	一、七三〇	一、七三〇	一、七三〇	一、七三〇
一、四八三	一、九三三	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇



元揃昆布	長切昆布	魚油	罐詰類	生魚類	其他乾貝	帆立貝柱	乾牡蠣	其他乾魚類	鱈鱈	乾鮑	煎海參	干鮑	干鰻	干鱈	身欠鱈
ク	ク	石	打	石	ク	ク	斤	斤	石	ク	ク	斤	ク	ク	ク
一、〇三三	一、八七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇	一、五七〇
三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三





品名	年次	單位	各年																	
			三十四年	三十五年	三十六年	三十七年	三十八年	大豆	小麦	大麦	粟	雜穀	蔬菜	果實	麵類	砂糖	茶子	煙草	食鹽	
米	石	噸	1,026,474	1,095,499	1,099,995	1,044,944	1,066,634	1,026,474	1,095,499	1,099,995	1,044,944	1,066,634	1,026,474	1,095,499	1,099,995	1,044,944	1,066,634	1,026,474	1,095,499	1,099,995
麥	石	噸	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958	2,163,958
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

廿五



品名	年次	單位	各年																	
			三十四年	三十五年	三十六年	三十七年	三十八年	大豆	小麦	大麦	粟	雜穀	蔬菜	果實	麵類	砂糖	茶子	煙草	食鹽	
石炭	噸	噸	91,373	464	677	1,179	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754
硫磺	噸	噸	9,330	464	677	1,179	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754	1,754
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

廿四

函館港重要貨物輸出入表 其二(各府縣ヨリ輸入品也)



外 國 米 類	麥 子 類	確 子 類	叭 類	海 產 物 類	藥 種	馬 頭	牛 頭	鷄 卵	鷄 節	罐 詰 類	乾 物 類	蓮 類	繩 類	麻 類	漁 網 及 網 糸 類
石	袋	個	束	石	個	ク	頭	羽	個	貫	打	貫	束	丸	貫
一四四、二七五	一五五、五五八	四六、四〇七	六二、七一九	五八、四三〇	二七、七六五	一、八一〇	一〇、〇一七	四六、八四〇	二二、八三二	三、三九〇	四六、〇九二	二〇、九三二	二七、四二一	二〇、四二一	七三、〇六六
一四四、二七五	一五五、五五八	四六、四〇七	六二、七一九	五八、四三〇	二七、七六五	一、八一〇	一〇、〇一七	四六、八四〇	二二、八三二	三、三九〇	四六、〇九二	二〇、九三二	二七、四二一	二〇、四二一	七三、〇六六
一〇五、二二二	二二一、八九七	四一、九四〇	六二、五二一	二九、三三〇	二四、四六〇	五、七〇	二、六五五	二四、二〇〇	三、四八七	二、〇二六	二八、五二九	二、七六五	二二、七九〇	二、七六五	七三、〇六六
一〇五、二二二	二二一、八九七	四一、九四〇	六二、五二一	二九、三三〇	二四、四六〇	五、七〇	二、六五五	二四、二〇〇	三、四八七	二、〇二六	二八、五二九	二、七六五	二二、七九〇	二、七六五	七三、〇六六
一八六、三五九	一四二、二五五	五、九五八	三九、八四一	五五、三三四	六二、四五一	二、四四五	一、〇一七	三三、四五六	一、七六五	二、六五五	二六、五二九	二、七六五	二二、七九〇	二、七六五	一八五、一六四
一八六、三五九	一四二、二五五	五、九五八	三九、八四一	五五、三三四	六二、四五一	二、四四五	一、〇一七	三三、四五六	一、七六五	二、六五五	二六、五二九	二、七六五	二二、七九〇	二、七六五	一八五、一六四
三九、五五〇	一〇、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	三九、五五〇
三九、五五〇	一〇、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	三九、五五〇
三九、五五〇	一〇、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	一、〇一七	三九、五五〇

廿七



地 金 物 類	木 材 類	白 種 油 類	石 油 類	和 洋 蠟 燭 類	疊 紙 類	漆 器 類	陶 磁 器 類	洋 和 小 間 物 類	綿 帛 類	吳 服 大 物 類	洋 酒 類	和 酒 類	醬 油 類	味 噌 類
ク	貫	ク	石	兩	貫	枚	ク	ク	個	貫	個	打	ク	石
二五〇、三六八	一九七、八一八	二四、二四二	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四
二五〇、三六八	一九七、八一八	二四、二四二	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四
二五〇、三六八	一九七、八一八	二四、二四二	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四
二五〇、三六八	一九七、八一八	二四、二四二	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四
二五〇、三六八	一九七、八一八	二四、二四二	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四
二五〇、三六八	一九七、八一八	二四、二四二	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四
二五〇、三六八	一九七、八一八	二四、二四二	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四
二五〇、三六八	一九七、八一八	二四、二四二	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四	二〇、四二四

廿六



品目	年次	單位	三十八年					三十七年					三十六年					三十五年					三十四年						
			石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石
雜魚粉		石	一七二、三〇六																										
錫		石	三二〇、七二五																										
錫白		石	二〇、七二五																										
錫子		石	一七、六〇〇																										
錫目		石	一、二六〇																										
錫鍊		石	三、〇三三																										
錫鍊		石	四、〇三三																										
錫鍊		石	一、〇三三																										
錫鍊		石	一、〇三三																										
錫鍊		石	一、〇三三																										

函館港重要貨物輸出入表

其四（本道各港ヨリ輸入）

品目	年次	單位	三十八年					三十七年					三十六年					三十五年					三十四年						
			石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石
雜貨		石	七、七九九																										
燕麥粉		石	一、二三四																										
外國米		石	一、〇三四																										
麥粉		石	一、〇三四																										
麥粉		石	一、〇三四																										
麥粉		石	一、〇三四																										
麥粉		石	一、〇三四																										

品目	年次	單位	三十八年					三十七年					三十六年					三十五年					三十四年						
			石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石
木材類		石	二、四四七																										
金物類		石	一、〇三三																										
地金類		石	一、〇三三																										
網及網糸類		石	一、〇三三																										
繩類		石	一、〇三三																										
乾物類		石	一、〇三三																										
罐詰類		石	一、〇三三																										
雞卵類		石	一、〇三三																										
牛頭類		石	一、〇三三																										
馬種		石	一、〇三三																										
藥種		石	一、〇三三																										
海產物類		石	一、〇三三																										
吹類		石	一、〇三三																										



乾	帆	其	生	罐	魚	長	元	折	雜	刻	海	大	小	雜	菜	蔬
立	他	魚	詰	油	切	切	切	昆	昆	昆	藻	豆	豆	穀	種	菜
柱	乾	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
七五〇〇	三六〇〇	一六〇〇	一七〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇
一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇
一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇
一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇



其	干	煎	干	干	干	鍊	身	其	鮭	鹽	鹽	鹽	鹽	鹽	鹽
他	干	海	干	干	干	魚	欠	他	筋	鯨	鮪	鮪	鮪	鮪	鮪
干	魚	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七

品名	單位	三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年
果實	斤	一〇,三〇〇	一三,五三三	二,七九一	八,三〇〇	一,九五六
玉藍及莨藍	斤	一三,八八三	五,四七四	四,三三〇	一〇,一六二	一,一七四
亞麻及麻類	斤	一七,五七五	七,九一三	一〇,六五六	九,六五七	一,〇〇〇
粉類	斤	八,三三四	六,三六一	七,六六六	一,九六八	二,〇〇〇
毛皮類	斤	四,八〇八	六,八八八	一,五〇三	五,〇九〇	八,〇三〇
馬	頭	一五	六八	二四	一五	二五
豚	頭	一	一	一	一	一
石炭	噸	七,九三六	五,六七八	六,〇二九	二,八三二	三,四四六
硫磺	噸	六,三〇〇	三,九四八	二,四四一	二,八五一	三,九三〇
滿條	噸	六,六八八	七,三九四	八,二九一	二,九三〇	四,〇三二
木類	噸	九三	一,一七八	五,七三〇	二,二四〇	一,〇九八
燐寸軸木	個	一,七九四	三,〇四七	四,六三九	八,〇五九	四,九三〇
洋酒	個	一,一七九	三,五二四	七,四三九	四,五五九	九,六三〇
大麥	噸	一五,八八二	二,七三六	二,五二四	一,七六一	一,一八九
小麥	噸	四,九二九	二,八〇三	二,五二四	一,七六一	一,一八九
麥粉	噸	一,七三三	一,六八二	九,〇三三	一,三二二	一,三五一
合計	個	二,二七九,二九九	九,五七二,三六九	八,八六五,九三二	五,八八三,九三二	八,〇八二,〇八五

品名	單位	三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年
海參	斤	一〇,七四七	一〇,四三〇	一五,九五六	八,四一三	一三,九一六
乾鱈	斤	一〇,六〇七	五,五二一	七,六五〇	四,〇三三	六,八九三
乾鱈	斤	四,〇三三	八,八〇〇	一,二〇七	一〇,四一三	一五,六四七
昆布	斤	九,九〇二	一,二三四	二,〇八〇	六,一八七	一五,四六三
刻昆	斤	一六,一九九	二,二七二	三,七九五	八,五八〇	一五,四六三
貝柱	斤	三,四六四	三,七〇九	三,二九二	四,三二二	八,一六四
淡菜	斤	一〇,二六〇	八,一五二	六,六七〇	四,三二二	一,一八四
其他乾魚	斤	四,一八四	二,七三三	三,九六八	一,九一五	三,八二四
其他魚	斤	四,六八八	二,七三三	三,九六八	一,九一五	三,八二四
其他魚	斤	四,二七五	九,三〇七	二,六四五	一,三三九	七,五六一
其他魚	斤	四,八三六	三,二二六	八,五六七	一,三三九	七,五六一
合計	斤	二,二七九,二九九	九,五七二,三六九	八,八六五,九三二	五,八八三,九三二	八,〇八二,〇八五

函館港重要輸出入貨物表 其五(外國へ輸出)



其他貨品	米	製茶	豆類	糖類	落花生	酒類	味增	醬油	糖類	其他	諸飲食	食鹽	鐵及鋼製品	苧麻繩索	繩索及繩	小
易品	茶	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類	類
担	斤	斤	斤	担	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	担
10,833	2,430	8,200	2,800	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	4,700
2,937	2,430	8,200	2,800	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	4,700
8,433	2,430	8,200	2,800	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	4,700
1,353	2,430	8,200	2,800	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	4,700
1,868	2,430	8,200	2,800	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	4,700
1,677	2,430	8,200	2,800	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	4,700
5,090	2,430	8,200	2,800	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	4,700

冊七



其他海產	燕窩	林檎	玉蔥	蕃薯	麥粉	麥菜	玉酒	麥酒	セメント	木炭	硫磺	滿炭	石炭	焦炭	鐵道枕木	其他木材	木材及板	毛皮	
品	品	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
担	担	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
8,524	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099
1,680	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099
1,354	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099
1,434	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099
2,715	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099
1,897	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099
5,090	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099

冊六



品目	年次	
	年	次
精米	担	斤
麥粉	斤	斤
鹹肉	斤	斤
軌條	斤	斤
全附屬品	斤	斤
鐵道機關車	斤	斤
鐵道貨車	斤	斤
鐵道及製鋼	斤	斤
並製鋼	斤	斤
色油	斤	斤
亞麻子油	斤	斤
石油(鑛入)	斤	斤
機械用油	斤	斤
三十八年	二〇二五、八九三	一、二八、一四四
三十七年	九、二五、六	三、七、九
三十六年	五、五、七、九、五七	三〇、九、七、八
三十五年	四、〇、〇、二〇	一、〇、〇、二〇
三十四年	三、八、四、七、七〇	一、七、三、六、九

卅九

函館港重要輸出入貨物表 其六(外國ヨリ輸入)

合計	二、三、一、六、五、三、四	二、〇、三、四、一、五、八	三、〇、〇、八、九、〇、六	二、〇、〇、五、五、二、四	二、三、三、六、六、三、六
----	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------



品目	年次	
	年	次
木製品	斤	斤
漁網	斤	斤
諸衣服及	斤	斤
附屬品	斤	斤
藥材及製藥	斤	斤
金製及	斤	斤
全製及	斤	斤
諸布帛材	斤	斤
及全製	斤	斤
油蠟類	斤	斤
紙卷煙草	斤	斤
刻煙草	斤	斤
燐寸(安全製)	斤	斤
磁器及陶器	斤	斤
磚瓦	斤	斤
農工匠具	斤	斤
其他	斤	斤
漁業用品	斤	斤
雜貨	斤	斤
小計	斤	斤
再輸出品	斤	斤
三十八年	二、八、六、六、三	二、七、
三十七年	二、一、二、〇、〇	九、五、
三十六年	一、一、五、七、二	九、三、八、八、五
三十五年	二、〇、七、九、六	九、八、三、
三十四年	七、四、四、〇、三	一、一、〇、三、〇

卅八





月	十一月	十二月	合計
出	一六、三三二	一〇、七五四	二七、〇八六
到	一九、七五二	九、二〇七	二八、九五九
合計	三六、〇八四	一九、九六一	五五、〇四五

次に陸上交通の現況を叙せんに函館間鐵道——は北海道鐵道株式會社の經營する所にして小樽に於て炭鑛鐵道線に聯絡を其間森、八雲、長萬部、黒松内、小澤、俱知安等本港商域内に屬する有数の村落は實に其沿道に當れり函館驛發着度數は客車は毎日各三回貨車は毎日各四回なりを其設備未だ不完全あるを以て充分の速力を用うることを能はざる殊に冬期は積雪の故障の爲めに往々遲着を免かれざることをあれども兎に角本港を其商域内主要地に聯絡したる点に於て大なる價値を認めざるを得ず又函館市街馬車鐵道——は函館馬車鐵道株式會社の經營する所にして區内樞要街衢及湯の川街道に敷設し區内を十一區湯の川線を十區に別てり其總延長十三哩余車輛三十六臺を使用し一日平均回數二百五十回より三百回に及ぶ其他交通機關としては只上磯郡有川に毎日一回の往復馬車あるのみ今左に北海道鐵道及馬車鐵道に依る出入旅客數及鐵道貨物噸量を表示して參照に資す

北海道鐵道會社函館驛旅客出入月別表 (三十八年)

區分	月別					
	一月	二月	三月	四月	五月	六月
出	八、三三六	四、二一五	八、四〇五	七、二七二	七、一〇三	六、二九三
到	五、六四四	三、〇六〇	三、九六七	五、五三〇	一三、六八九	四、五三〇
合計	一三、九七〇	七、二七五	一二、三七二	一二、八〇二	二〇、七九二	一〇、八二三
出	七、三八六	一〇、四七四	八、四三六	九、二五〇	七、二七二	九、八七一
到	八、一八一	八、九三三	八、四九二	九、五四五	一〇、三五九	七、一六八
合計	一五、五六八	一九、四〇七	一六、九二八	一八、七九五	一七、六三一	一七、〇三九
出發合計	九四、三〇三	到者合計	八九、〇九九	總計	一八三、四〇二	

函館馬車鐵道乘車人員表

年別	三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年
乘車人員	三、六四三、一四五	三、三〇二、一四〇	三、三二六、三八八	二、七五五、二二二	二、七五一、九八五

北海道鐵道會社函館驛發着貨物品別表

品目	發	到	着	品目	發	到	着
米	五、五七二、四八五	六七、五〇六	菜	三九〇、五五二	三四七、〇五五		
物							



種目	三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年
大麥	二九、二三四	五八、一九五九	四九、三七八三	三三、二	一、四九〇、六五八
小豆	一七〇	四九、一八九	四、五七、五七八	六六六、四三〇	三、四五〇
雜穀	七九、二九〇	一一九、八〇四	一七、一八〇六	一九一、七六〇〇	六〇
和洋酒	八二〇、三三〇	一、一八四	二、八二〇	一三九、五六二	四七、三六七
味噌	二七、三七四七	一、八四	六〇、二〇〇	二二六、〇六一	三、四六〇
野味	三七、八、三三八	一、八四	二、八二〇	四九六、〇〇八	一、五八七、〇八〇
食鹽	二五、四、二四三	一、八四	二、八二〇	一六五、一五九	六、四四〇
紙類	七、七、二、一七〇	一、四六、九、七、四、一、三	四、〇、八、二、四、八、三	七、八、八、四、三	一、七、一、九、八、四、五、九
枕木	二、四、三、六、七	三、〇〇	三、〇〇	七、五、〇、七、九	一、六、一、五、三、一、〇、三
石炭	七、三、八、三、二、〇	四、〇、八、二、四、八、三	一、〇、八、二、九、二	七、五、〇、七、九	三、〇、五、七、〇
魚類	六、九、六、〇、九、〇	一、〇、八、二、九、二	一、〇、八、二、九、二	九、〇、一、七、二、八、六	一、八、五、四、七、二、〇
畜産	八、二、三、三、〇	一、六、七、七、四、二	一、六、七、七、四、二	九、〇、一、七、二、八、六	七、八、八、〇、九、七、〇

以上海陸交通の状況を叙述したる序を以て當地通信取扱件数を左に表示せし

函館郵便局便郵物取扱件数表

種目	三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年
通常郵便物	六、七、七、二、三、五、六	五、二、五、六、六、二、七	四、七、〇、四、七、三、七	四、四、〇、三、一、二、五	四、一、七、五、五、九、三
小包郵便物	八、五、三、八、四、八	七、九、三、四、五、八	六、四、一、六、二	五、三、五、一、九	四、七、三、九、五

全上電信發着數表

種目	三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年
和文	四〇、五、三、〇、七	三三、三、七、五、九	三六、二、五、五、二	三、四、五、二、一、〇	三、三、七、四、三、九
歐文	三、九、九、一、四、七	三、四、九、七、五、二	三、二、五、五、六、三	三、〇、六、三、六、三	三、五、五、八、五、六
合計	四四、四、二、一、四	三六、八、一、三、一	三九、四、一、一、五	三、七、一、一、一、三	三、九、三、三、九、五

金融の状況

當地に於ける金融の繁閑は中央金融界一般の趨勢と本道海産の豊凶とに依りて其情勢年々一定せざれども特殊の事情起こらざる限りは其盛衰繁閑に一定の季節あるを知る即ち例年一、二月の交は市場在荷乏しく商業一般沈靜の状態に在り従て金融概して緩漫あるを常とぞ三、四月に至りては鯨漁季に入るを以て漁場仕込資金の需用起り金融界稍繁忙の季節とあり五、六月は露前沿岸及樺太鮭鱒漁業の準備鯨新物の入荷又は夏物仕込の爲金融界は更に一段の活氣を呈し七八月は内外漁収海産の市場に顯はるゝと近海柔魚の漁業季節として一般に景氣立ち九、十月は前季に引續き海産の輸入農産の出入盛期として貸出、回收、荷爲替、割引等最も繁劇を極む十一月以後は産物大概ね出拂々ひ且冬期の沈靜期を扣へて商業引立た



を只年季末のみ各地同様一時繁忙を極むるに過ぎを是を當地金融界の常態と爲す  
 今左に金融に關する該表を掲げて參照に資す

日本銀行函館支社諸預金高表

月次	年												
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
三十八年	二,八三三,九二一	二,七四三,〇三〇	二,六七二,三四一	二,四五二,八三一	二,三四九,七八〇	三,一三〇,三三一	三,四六一,五一〇	三,八六三,六三八	三,二七二,二〇九	三,三七七,二二六	三,五二一,八六三	三,九二二,九〇八	三,七五九,二三八七
三十七年	三,一八五,四五八	三,一六三,三四〇	六,四三〇,二六八	二,八九二,七六三	三,一八一,四九一	二,八六八,五一七	二,九四八,七九〇	二,四四六,七八〇	二,八六八,八七九	三,四三八,七三〇	二,九三二,〇八五	三,一八一,五八八	三,九四六,六八九
三十六年	二,〇七六,八〇六	一,七〇五,〇七〇	一,七二二,七六三	一,八九九,六〇九	二,三六二,一四五	二,八九三,三〇〇	三,四九五,八五〇	四,一六九,八三四	三,六三三,四〇一	四,五二二,五八一	三,四七七,七三三	三,九四二,〇五六	三,五,八八〇,一三八
三十五年	一,五二八,〇七三	一,〇九六,九七二	一,一六九,四九五	一,一五四,一三一	一,六六〇,四五三	一,七四五,〇九九	一,五九九,〇五〇	二,二二〇,三九七	二,三二八,三三〇	二,八二五,一三五	二,四四二,七一	二,四〇二,五六〇	三,一五二,四〇六
三十四年	一,七九二,七〇六	一,一四一,九七二	三,一六七,八〇五	二,四六四,三二一	四,四八二,二四八	三,七七八,〇八二	一,三六一,〇三六	一,八八八,二〇九	二,九四〇,七六三	三,九一四,〇〇四	四,五三六,〇五五	五,五九四,三八一	三,七〇六一,五五二

全 諸貸付金高表

月次	年												
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
三十八年	二四九,五九四	一九〇,〇九三	二〇〇,八〇三	二八〇,五三三	二三八,一四七	二七一,三〇二	三二七,二六九	二八四,八九五	二二〇,〇五一	二〇八,四四〇	二二二,二二三	二二二,八四三	二,九二四,一八二
三十七年	六七,七六三	一八七,四九〇	一六三,八二七	二〇〇,四一〇	三三九,四七三	一九六,四四七	七九,三一九	二四〇,二〇八	二四八,六〇八	四六一,五〇〇	四三八,六六一	三八四,一四八	七〇四七,八五三
三十六年	二六,三八二	四〇二,三三五	三七四,五六七	三九二,五七九	四三五,七一九	三二八,九〇八	一九八,四七一	一七〇,六六六	五四,五七一	二八七,八一	三三六,〇八四	二六一,〇八一	三,三三四,七三〇
三十五年	四一五,〇七四	五〇五,五三三	二七九,一七一	四二五,六八四	四九八,一七九	三七二,〇〇九	四八三,九〇四	三,五八一六	四七三,五三七	二四六,二〇一	三六三,三六七	六九〇,九〇四	五,〇六九,三七九
三十四年	四〇〇,九三〇	三六二,一三八	六五七,四五二	七三五,〇六三	一,〇九四,二二五	一,〇三〇,〇九八	四八〇,八二八	四一三,二〇〇	八一八,七四八	七八八,九九一	一,二六六,二四三	一,四九〇,一九二	九,五三八,〇二八

全 割引手形金高表

月次	年												
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
三十八年	四一五,八五〇	三五四,七一〇	三一七,七二〇										
三十七年	一一三,四五〇	一八九,八〇〇	一九九,七二〇										
三十六年	三二五,五五二	一九二,八七九	二四〇,一七〇										
三十五年	一〇一,二二九	三〇九,八九二	八七,六三一										
三十四年	四四〇,九六八	四三三,三九八	六八九,一〇二										



年	次	月	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十	平	
年	次	月	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	
三十八年			五〇、八四〇	三九、四九二	三八、七七九	四九、九一四	六二、八五二	八三、八〇六	五五、九八四	五六、五五三	五八、七七二	四四、八一八	三六、〇九四	二六、三四〇	五〇、〇二五
三十七年			一一、九一八	二五、三二二	六五、三七一	六一、〇六六	—	五三、八一二	六、六七〇	三三、二〇四	六二、一三六	七八、八四三	五〇、五九八	四一、九九一	—
三十六年			一一、五一一	一〇、七、一四八	六一、四三八	八八、三三七	一一、八四六	九〇、七四六	四七、六五五	九、一一五	五五、四八一	四四、四〇〇	一八、六五一	六四、一一一	—
三十五年			一六、一〇一	九四、二三四	一〇、一八〇	二四、七〇二	一八、四三三	一〇、三、五九二	一一、〇六五	四五、三四二	七一、五一六	八五、七九四	一四、二七〇	一三六、三五三	一二、八九八
三十四年			一二、四五六	四四、七二二	八〇、一三七	五九、六六〇	六三、三七四	一三四、四六五	五七、三六六	六四、二八七	九三、二八七	一〇〇、二二五	一八、九七〇	一一、三二二	一〇、一三六

全 諸貸付金殘高表

年	次	月	一	二	平
年	次	月	均	均	均
三十八年			八六、一二六	三三、五八一	四二、三三六
三十七年			三三、三三四	八、七八	六一、三〇七
三十六年			五二、一六六	七三、七八〇	五五、五八七
三十五年			四八、五三八	二二、一七二	三三、九三九
三十四年			一九、九七二	一一、三三七	三六、四六三



年	次	月	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十	平
年	次	月	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均
三十八年			二九、八四〇	九九、五三一	一一、五五五	二二、三四五	四四、八六一	四〇、〇二〇	三、九〇一	二七、三九九	二一、三〇五	二八、六七一	—	—
三十七年			一〇、一、四〇〇	一八、三、五三三	六三、九〇一	四一、二八〇	三〇、四五二	一〇、一、七六四	七、五八九	一四、二二二	五四、四六五	二八、〇一一	—	—
三十六年			一六、四六八	七二、八九四	八、四三〇	八、五一一	二、五五〇	七、四〇五	九、四六七	一一、〇三三	一七、九二五	二四、二二二	—	—
三十五年			一八、一五四	四〇、二七二	二一、八七八	一一、〇一八	一一、六八〇	一七、四一七	六、〇〇七	二九、四二八	三八、七〇七	一八、九一〇	—	—
三十四年			一四、六六〇	三四、〇一四	五二、一八六	四六、五一八	二八、一五〇	一九、六二六	九七、九八三	五、一、二八三	四、四三〇	五七、四〇一	—	—

全 諸預金殘高表

年	次	月	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十	總
年	次	月	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
三十八年			三七、八二五	五七、四一〇	七二、九一四	七三〇、四五三	四一六、八九七	二〇、四三三	一一、五七〇	三七、七〇七	三七、八三七	四、六七八	九〇七	—
三十七年			三〇、四七五	四〇、六八一	三〇、八九五	一九、四九五	一五、六九五	一六、八五〇	三七、二、五五〇	五七、三、六〇〇	四六、五、八二五	三、四六一	八九五	—
三十六年			二八、一、四四五	三七、五、七二三	三二、七、三三八	二二、一、三六〇	二〇、二、六五二	一七、〇、七四〇	一〇、四、四〇〇	七九、一、八〇〇	七三、八、八〇〇	二、五七五	〇〇九	—
三十五年			一三五、四九〇	二一八、七七三	二七二、五六九	一八七、二一八	四四、六四八	一一〇、八九七	四一、〇七二	七二、八〇五	二五、三、一〇四	一、八三五	二三八	—
三十四年			七二、二、九三三	九三、四、一一九	七二、一、六五二	三三六、一五四	二八七、八八六	三六八、五七九	三一八、九四四	四二、五、九七七	五五、二、〇四六	六、二七二	一一八	—





月次		年		月次		年															
四	三	二	一	三	十	八	年	總	計	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
三十八年				三十七年				三十六年				三十五年				三十四年					
四〇八三四五	四一四三三二	三三三三〇〇	三三三三〇〇	四一九七三三	四七一五八二	四九九六三九	四八四九四九	三一四九二四	六三七五三九	四八三九二九	二四一九八一	一〇七三七〇	一三八〇三四	八五二四一	一七八〇四八	三三四〇七三	一四八九二四	八九五四三	二〇九一三九		
四八五七〇九	四七五七七九	四三九四五七	四一〇六七二	三九九二四八	四四二二八四	四七一九九九	五一三六九五	四四三二四四	四四九二一一	五二五三〇九	五〇七四一四	五三六二二〇	四八五三四〇	四五七八四九	五五〇九八五	六一八六二九	五八一八八〇	五三七五六四	六九五八五一		

五十三



月次		年		月次		年													
總	計	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一							
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月							
三十八年				三十七年				三十六年				三十五年				三十四年			
三七五一四五	二〇〇八三〇	四三三二一五	二四四一五六	三四六六五四	一四〇八三七	一九八一六〇	一九三六七四	一二五七一七	一一三四五八	二二〇〇八五	一六五六六五	二六八五四九	二二四二九一	二三四四〇〇	二七九七〇七	一四二八二八	九八二八〇	一四三七七一	一八八〇三四
四二五二九四七	四四八二五七	三七九一九九	二七八六二五	三三六六六二	二七五八一五	三五四四三四	二七五八一五	三三五四〇五八	九六九三〇	三三〇二二六	三三三九六九	三〇八五七五六	三三三七一三	二五五二六五	二五五二六五	二一〇二〇七	二一六四三九	二一〇二〇七	二一〇二〇七

五十二

全 其他預金高表

月次		年																	
總	計	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一							
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月							
三十八年				三十七年				三十六年				三十五年				三十四年			
四二二五〇三〇	三一九四七四四	三九三五九七三	四〇〇四六八〇	五〇八五〇九三	四六六〇一四九	四七九〇一五三	四七五三三五一	五七一九二二〇	五〇六四四七七	五一五三七七八	五一〇七二二二七	四四七七七八五	三、七五一、九八一	三、七九一、九四六	三八、六四八、三七八	三、六九九、九四五	六、二三八、九二二	三、〇六六、〇七二	三六、四二六、四七六



月次		全												月次		
年	次	平	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	年	次	
		均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月			
三十八年	二	一,七三〇,三八〇	一,七五七,七四五	一,七四一,八二〇	一,六八五,五七一	一,七二九,三七五	一,六〇〇,四〇四	一,六四三,七三五	一,四〇八,二三三	一,四九四,六九六	一,四八一,一三八	一,五四三,一五一	一,五一四,一四七	一,六一〇,八六六	三十八年	二
三十七年	二	一,六〇一,三九九	一,五三八,五六二	一,五八五,五七〇	一,五五三,一三〇	一,五六七,七七四	一,五七八,五五八	一,五六八,七八三	一,六〇〇,八六八	一,六一七,〇六四	一,六八九,七三五	一,七一八,三三四	一,七一〇,八六〇	一,六一〇,八八五	三十七年	二
三十六年	二	一,二七〇,八〇〇	一,二七八,一七一	一,二七九,〇二七	一,二二五,八三七	一,一六九,七三二	一,二七七,四六七	一,三二四,七四五	一,五〇四,一七七	一,五一四,五四六	一,五八二,九〇二	一,六四四,三九八	一,六一〇,三八六	一,三九〇,一八二	三十六年	二
三十五年	一	一,〇〇一,八九九	九四八,四八四	九五二,六二六	九六六,二二二	九九四,九七九	九九二,八九九	一〇一〇,六七九	一〇三二,九六五	一〇四六,六五三	一〇九九,一四五	一一四九,二五一	一二二一,九八五	一〇三〇,五六九	三十五年	一
三十四年	一	一,〇三〇,九六七	一,〇〇一,一八三	九五四,九五三	一〇二二,一六九	一〇三三,一七九	一〇三二,五八〇	一〇一七,〇七一	一〇一一,二九八	九六九,二九四	九七八,一六五	九八五,四八五	九五二,二九五	九九五,四六三	三十四年	一
總計	十二月	八三六,三三四	一,〇五〇,九六一	一,一〇五,一三四	八五九,六五〇	九八八,七二〇	九,五五四,〇二五	一,一〇二,一九一	八四四,四三三	八四四,四三三	八四四,四三三	八四四,四三三	八四四,四三三	八四四,四三三	總計	十二月

五十五



月次		全												月次		
年	次	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	年	次		
三十八年	一	七三七,九八一	七三五,一七二	九三二,八四七	八六六,三七六	八八二,五一六	九三三,六〇九	一,〇三九,一五七	九五二,六九九	九七四,七三五	八六四,九四二	七六五,二四三	三十八年	一		
三十七年	一	五五六,一〇三	六一九,一〇一	一,〇一六,七九三	七四三,一四四	一,二五一,三九四	七五二,八〇五	七六四,五二二	七九五,八一七	七三三,四九七	一,〇一三,七五四	九七三,三三五	三十七年	一		
三十六年	一	五三三,一三八	七〇七,二五七	四四九,七六九	七二一,〇五九	一,〇八四,七五九	九〇八,二九五	九五二,一三三	一二六,五六七	七三三,六二〇	四一九,一〇〇	三五六,一八	三十六年	一		
三十五年	一	六四五,四二八	六二〇,二六三	六六四,五四四	六八四,一五二	一,〇一五,七三九	六九五,七八三	七〇七,二五九	一〇九,一〇三	八七九,四三七	八二五,〇七六	七三六,一三一	七三六,一三一	三十五年	一	
三十四年	一	五二六,九〇二	六一二,七八五	五八五,九八〇	五七〇,八八八	九三九,九五二	七八三,六七二	六九〇,一四五	三九九,九七二	七八七,五七四	七七六,一三一	六四九,一九二	三十四年	一		
總計	十二月	八三六,三三四	一,〇五〇,九六一	一,一〇五,一三四	八五九,六五〇	九八八,七二〇	九,五五四,〇二五	一,一〇二,一九一	八四四,四三三	八四四,四三三	八四四,四三三	八四四,四三三	八四四,四三三	八四四,四三三	總計	十二月

五十四

全割引手形金高表

月次		全											
年	次	總	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
三十八年	一	五八四,八二三	五四七,七六九	六五四,二六五	五五八,二五六	四八三,四〇六	四七一,四六九	三九八,一〇四	五三〇,三三五	六〇三,九四四	三十八年	一	
三十七年	一	五二六,六三〇	四五〇,七二五	三九〇,四七七	五〇七,〇二一	五一九,七一一	六四五,二八一	五二五,七〇五	七五八,五七五	六,一五一,三五三	三十七年	一	
三十六年	一	五八四,三八三	六九五,六一八	六七八,七六四	六四二,九二一	五三〇,〇六四	五六九,八六七	五六二,〇〇八	六六九,八〇四	六,八一三,二八七	三十六年	一	
三十五年	一	七〇八,四〇八	六六七,〇〇五	八二二,九七一	七四三,七二三	六七二,三三〇	七二九,三三四	七〇八,九六四	九六一,六五二	八,〇三四,六六一	三十五年	一	
三十四年	一	六八五,八〇〇	七二五,八〇三	八〇七,〇一三	七七四,八八七	六六九,六四二	六二九,六五二	七三六,〇〇七	八六五,七九五	八,三三八,五三三	三十四年	一	





年次	月次	平	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
三十八年	均	一、七九〇、八六四	一、三九〇、七二〇	一、三九〇、八〇二	一、一八七、一五七	一、二四一、〇七二	一、二五七、九九一	一、一八八、五九二	一、〇二九、二四五	一、三六六、九五二	九八六、七六三	一、〇二六、八二七	一、二〇一、三三八	一、二二二、一〇八
	一	一、一四〇、一七九	一、一五七、二二〇	一、二五八、〇一六	一、三六六、七四四	一、三五一、五三九	一、三四一、〇五八	一、二七一、七八二	一、一九二、八八四	一、三〇四、一〇八	一、五二九、八二八	一、六二七、二六四	一、九一〇、二七九	一、三二二、五七六
	二	一、一六六、九八七	一、二四三、一五一	一、二二二、一〇一	一、〇三二、三〇五	一、〇二二、七三七	八九九、〇四八	九〇九、一〇九	九六一、一〇九	一、〇四〇、七八三	一、〇二七、七九八	一、二二六、四九三	一、〇七八、八二五	
	三	七六五、六〇〇	七一八、五九二	六九二、四〇六	五五〇、九八五	八八一、六〇六	九五二、一八〇	九九〇、六八三	一、〇二九、一三九	一、〇六一、二四八	一、三八二、五八六	一、二七四、四一五	九五〇、七〇四	
	四	九八六、四〇八	八八二、九四九	七七八、八九三	七九二、三九一	六四〇、〇〇二	六五八、七〇〇	七四五、三五七	七一一、二三四	七五七、一五〇	八五七、七六二	九二二、三四三	九四〇、七二七	八〇八、四九四

全貸付金殘高表

年次	月次	平	十	十	九	一
三十八年	均	四三八、四七七	四四六、三四九	四九五、一九一	四六六、〇七三	四三六、七二三
	一	三一六、四六五	三二八、一八二	三五六、七〇一	三一〇、五三一	三〇八、六九六
	二	二七三、七四五	三五〇、七七三	三三三、一六六	二六七、六二六	二六六、三七〇
	三	二五六、〇八八	二六三、〇九二	二五三、〇九九	三二七、〇四五	二六五、八二五
	四	一九八、四三六	一七八、八三七	一七四、六七〇	一七七、四九九	一八二、〇八五



年次	月次	平	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
三十八年	均	六三五、三三九	三七一、〇三三	四五八、六九二	三八八、九三三	三六八、一九四	四〇九、三〇九	三六三、四二三	四四三、四七六				
	一	三四三、三三七	二九八、三二八	二五八、六五八	二五五、八四四	三〇八、四八三	三一九、四四三	二九八、七八〇	三〇九、八〇四				
	二	二二一、八六七	二二六、七八九	二二二、一五一	一八八、〇四六	三〇九、二三八	二七八、五六四	二八九、二六九	二二六、二二七				
	三	二二五、二七八	二二五、九七〇	二九五、六八九	二七四、三五六	二八三、七一八	二六四、五〇三	二七二、九一〇	二七二、九一〇				
	四	二一六、一一二	一七一、九二六	一九一、六九五	一六三、〇四七	一九四、八五九	一七二、九五三	一七七、三九六					

其他預金殘高表

年次	月次	平	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
三十八年	均	二、三〇三、九八三	二、三二七、三三〇	二、〇八二、九九四	一、九三六、九〇六	一、九四九、六四一	二、〇三三、五三九	一、八七四、〇〇九	一、九八五、五八四	二、〇二九、九〇〇	一、九〇〇、〇六九	一、七八〇、五八三	二、〇三〇、九五三
	一	二、六一一、六六一	二、七三三、三三三	二、五六二、五四五	二、三七六、二七八	二、六三〇、六三〇	二、五八〇、七四五	二、七三四、三六四	二、八四二、一〇三	二、六四二、二七〇	二、四四九、四六〇	二、八〇五、一九二	二、六〇二、九〇五
	二	一、九八六、八二二	一、八九二、〇四三	一、六四五、五九二	一、七一九、四六三	一、八五九、四六三	一、五三三、二八四	二、九〇〇、八五六	三、〇一四、二四九	二、八五六、六〇七	三、二二〇、六六四	二、九七四、七五四	二、三三二、八〇四
	三	一、八四〇、五八八	一、六五五、五九一	一、五二〇、六八一	一、五六八、三五三	一、六九九、六六六	一、六三〇、三三九	一、九三九、一六〇	一、九六九、七三三	二、〇四七、〇三三	一、九七九、三〇七	一、八四〇、〇一七	一、七九六、七九四
	四	一、七四七、八六四	一、七三三、三七〇	一、四二二、二七七	一、三〇二、七六三	一、四三三、三三〇	一、五三九、四二一	一、七四九、六五三	一、九四八、四七三	一、八八八、五二四	一、七〇七、六三四	一、七八八、八三六	一、六六七、七二三



月次		三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年
一	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
二	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
三	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
四	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
五	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
六	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
七	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
八	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
九	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
十	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
十一	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
十二	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
一	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
二	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
三	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
四	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
五	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
六	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
七	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
八	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
九	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
十	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
十一	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五
十二	定期	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五

全 預金利息平均表  
(表中當座預金八百圓ニ對スル日歩)

月次	三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年
一	一、五四四、三二一	一、三五六、六七二	一、三六七、五五三	一、二二六、五八五	一、二二〇、五四七
二	一、五六八、三八八	一、五七五、二六七	一、四八五、七三二	一、三九六、八七〇	一、三〇八、六四八
三	一、五八九、九〇八	一、三九一、〇一四	一、四四四、六一五	一、三三三、七七二	一、二七六、八八四
四	一、五六九、〇四五	一、三一九、四四六	一、三二九、四三九	一、二七〇、五五六	一、二二六、七〇七
五	一、五八六、三二四	一、三三〇、六三七	一、二七二、四三九	一、四〇四、五九一	一、三三六、七〇七
六	九三三、三七〇	一、三三五、一三〇	一、二七二、四三九	一、三〇八、四七三	一、二七四、三四四
七	一、三三三、二一六	一、四五七、四三二	一、一八〇、一八九	一、二〇八、四七三	一、二七〇、三六六
八	一、二三八、三三九	一、四一四、三三三	一、二五八、五八七	一、一九八、一八九	一、〇九四、四八六
九	一、二〇五、四三二	一、四四三、三八五	一、一九六、四七五	一、二六六、八四五	一、一〇三、七三九
十	一、四〇七、二七二	一、四六二、三二四	一、三三五、二二八	一、二四八、〇五一	一、一〇三、七三九
十一		一、三五八、六三六	一、二八五、七八五	一、二三五、一一八	一、一七八、三三〇
十二					一、一七八、三三〇

全 當座預金貸越殘高表

月次	三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年
一	七〇八、二九八	七二二、七九八	七二二、七九八	八六四、九一六	八六七、二〇三
二	七二二、三七五	七四二、五七七	七四二、五七七	八六四、七五〇	八八五、三八二
三	七六〇、八八一	七四四、九一二	八二七、三〇六	八五五、六六四	八七一、九〇六
四	七六六、六九九	七三九、九七七	八五〇、一五九	九一六、四六二	七二一、二五三
五	八一六、八九九	七二八、七五六	七九〇、一九五	八八七、五六五	九七一、二五三
六	七七七、六八〇	七二〇、六八三	七八一、六二九	八四九、八一三	九六三、九〇九
七	七三三、四一一	七〇六、九八七	七三九、〇四九	八一二、二五九	九八六、一八九
八	六〇五、四一六	七三三、〇四九	七三三、〇四九	八三三、〇七九	九一一、三九一
九	六一五、〇一一	七二四、五六三	六八四、九三六	八一八、二五九	八八五、三七五
十	五六四、四三三	七二四、五六三	七二五、七八九	八三三、〇七九	八五一、七七六
十一	五九一、八三六	七一〇、八一六	七一四、一八	九二二、八〇一	八七二、六六二
十二	五五一、〇五六	七〇七、八一六	七六七、一八六	九二二、八〇一	八八六、二一六
一	六八二、八三三	七二七、六〇三		八六五、五七一	八八四、九二八



月次	年											
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	總計	
三十一年	受出	一、九四六、三〇三	一、一六七、四三八	七、五七、九一九	一、九八八、九八五	一、二七六、九八五	九、八二、五五三	一、〇五五、〇七二	一、〇七九、一〇八	一、四〇六、九五四	一、三三〇、四三三	一、四三〇、六〇三
三十二年	受出	一、三二六、三三二	一、四八三、四六七	九、四三、七五八	一、〇三三、〇八四	一、〇〇六、九六二	一、〇八四、一七二	一、四八三、五七二	一、九八〇、五〇三	九、五三、八九六	一、二二六、二二五	一、六七二、二五七
三十三年	受出	一、八七七、九一六	九、四三、七五八	九、四三、七五八	九、四三、七五八	九、四三、七五八	九、四三、七五八	九、四三、七五八	九、四三、七五八	九、四三、七五八	九、四三、七五八	九、四三、七五八
三十四年	受出	一、〇三三、〇八四	一、〇〇六、九六二	一、〇八四、一七二	一、四八三、五七二	一、九八〇、五〇三	九、五三、八九六	一、二二六、二二五	一、六七二、二五七	一、三三〇、四三三	一、四三〇、六〇三	一、四三〇、六〇三
三十五年	受出	一、〇三三、〇八四	一、〇〇六、九六二	一、〇八四、一七二	一、四八三、五七二	一、九八〇、五〇三	九、五三、八九六	一、二二六、二二五	一、六七二、二五七	一、三三〇、四三三	一、四三〇、六〇三	一、四三〇、六〇三
三十六年	受出	一、〇三三、〇八四	一、〇〇六、九六二	一、〇八四、一七二	一、四八三、五七二	一、九八〇、五〇三	九、五三、八九六	一、二二六、二二五	一、六七二、二五七	一、三三〇、四三三	一、四三〇、六〇三	一、四三〇、六〇三
三十七年	受出	一、〇三三、〇八四	一、〇〇六、九六二	一、〇八四、一七二	一、四八三、五七二	一、九八〇、五〇三	九、五三、八九六	一、二二六、二二五	一、六七二、二五七	一、三三〇、四三三	一、四三〇、六〇三	一、四三〇、六〇三
三十八年	受出	一、〇三三、〇八四	一、〇〇六、九六二	一、〇八四、一七二	一、四八三、五七二	一、九八〇、五〇三	九、五三、八九六	一、二二六、二二五	一、六七二、二五七	一、三三〇、四三三	一、四三〇、六〇三	一、四三〇、六〇三

全送金爲替出入表



月次	年											
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	平均	
三十一年	貸付	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇
三十二年	貸付	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇
三十三年	貸付	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇
三十四年	貸付	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇
三十五年	貸付	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇
三十六年	貸付	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇
三十七年	貸付	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇
三十八年	貸付	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇	二、七〇、二七〇

全貸金割引手形平均表

(百圓ニ對スル日歩)

月次	年		
	一	二	平均
三十一年	六〇	五八	五九
三十二年	六〇	五八	五九
三十三年	六〇	五八	五九
三十四年	六〇	五八	五九
三十五年	六〇	五八	五九
三十六年	六〇	五八	五九
三十七年	六〇	五八	五九
三十八年	六〇	五八	五九

全荷爲替出入表

月次	年												
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
三十八年	六四六、四七六	六九八、一三三	一八〇、六二二	四二四、六七三	三二九、三九三	五九六、九一一	四〇九、五七〇	五〇四、八四二	四三三、三八七	四九七、八一六	二九一、六二六	五八七、八二四	七二〇、〇五五
三十七年	三九九、五七七	五五八、九六七	二一七、三三三	四一四、六三六	一五九、三五六	三五八、五七五	六〇一、九六一	六〇九、〇三二	六八九、八九二	六九一、〇五二	一四〇、三三三	二四九、一九八	四三三、〇四八
三十六年	二六八、九七一	五二九、二七九	四八一、二二一	四七二、二五四	五〇三、〇三三	五二〇、〇三三	三〇九、二六二	三〇九、二六二	三七九、七二七	七五二、〇五〇	七五九、〇三三	七五九、〇三三	八七九、二九二
三十五年	二七、六一一	五四七、九二〇	三三八、一九九	三三八、一九九	二八八、四八〇	三〇四、四八三	三七九、六八三	三〇四、四八三	四六九、七二一	四六九、七二一	五五三、五七五	四四一、八五一	四〇九、五二七
三十四年	四二、三九六	五六八、三〇四	二五九、四〇七	二五九、四〇七	一四一、二二五	二二六、四四九	二二六、四四九	二二六、四四九	二二六、四四九	二二六、四四九	二二六、四四九	二二六、四四九	二二六、四四九

全代金取立手形出入表

月次	年												
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
三十八年	一一一、四三六	三三三、六三〇	一一一、四三六	一一一、四三六	一一一、四三六	一一一、四三六	一一一、四三六	一一一、四三六	一一一、四三六	一一一、四三六	一一一、四三六	一一一、四三六	一一一、四三六
三十七年	二九四、六六〇	三九四、七九五	四〇四、三三三	三九四、七九五	三九四、七九五	三九四、七九五	三九四、七九五	三九四、七九五	三九四、七九五	三九四、七九五	三九四、七九五	三九四、七九五	三九四、七九五
三十六年	七一、九六九	七九、一九七	三、四九三	七九、一九七	七九、一九七	七九、一九七	七九、一九七	七九、一九七	七九、一九七	七九、一九七	七九、一九七	七九、一九七	七九、一九七
三十五年	七一、三三一	二四、六五九	一〇、〇一八	一〇、〇一八	一〇、〇一八	一〇、〇一八	一〇、〇一八	一〇、〇一八	一〇、〇一八	一〇、〇一八	一〇、〇一八	一〇、〇一八	一〇、〇一八
三十四年	一一七、四七五	九四、四九八	一七、三三二	一七、三三二	一七、三三二	一七、三三二	一七、三三二	一七、三三二	一七、三三二	一七、三三二	一七、三三二	一七、三三二	一七、三三二

函館貯蓄銀行貯蓄預金高表

月次		年次	
月	次	年	次
三十八年			
一	二八、七四四	二	二四、一九八
二	九七、二〇六	三	九〇、八五〇
三	八五、三八八	四	二八、六〇六
四	一〇七、七九二	五	二五、七六九
五	一五一、九五三	六	一〇六、〇六三
六	一三六、〇九六	七	一〇六、〇六三
七	一五五、五七六	八	一〇三、一四一
八	一六二、五〇七	九	一〇三、一四一
九	一六二、五〇七	十	一三七、一七〇
計	一、四四四、六八五	計	一、三六六、二七八
三十七年			
一	一〇九、一〇四	二	一一五、八五二
二	一五〇、三六四	三	一〇八、一七一
三	九六、五九〇	四	一二二、五八三
四	八六、七四五	五	一一四、四七五
五	一〇六、〇六三	六	八二、八七四
六	一〇六、〇六三	七	九八、二七六
七	一〇三、一四一	八	九八、二七六
八	一〇三、一四一	九	九〇、七七二
九	一〇三、一四一	十	一〇九、七七二
計	一、〇九四、五八五	計	一、〇九四、五八五
三十六年			
一	七六、九九八	二	六三、七三三
二	七〇、七九八	三	七九、〇三三
三	七九、〇三三	四	七九、〇三三
四	八二、八七四	五	九八、二七六
五	九四、八八四	六	九四、八八四
六	一二〇、九六〇	七	九〇、七七二
七	九〇、七七二	八	一〇三、一四一
八	一〇三、一四一	九	一〇三、一四一
九	一〇三、一四一	十	一〇三、一四一
計	一、〇九四、五八五	計	一、〇九四、五八五
三十五年			
一	七二、一三三	二	六四、五一九
二	七四、二八九	三	六七、五九一
三	三三、七五五	四	九九、八〇四
四	八七、二九四	五	七三、二五〇
五	九五、一一〇	六	八二、九一六
六	八二、九一六	七	七〇、九四九
七	一〇五、六九四	八	一〇五、六九四
八	一〇五、六九四	九	一〇五、六九四
九	一〇五、六九四	十	一〇五、六九四
計	九三三、三〇三	計	九三三、三〇三
三十四年			
一	七四、三〇五	二	五七、四六六
二	五七、四六六	三	五七、四六六
三	五八、三三七	四	四八、七三六
四	七〇、三六九	五	六五、二七五
五	五五、二二一	六	六四、五六三
六	六八、一五九	七	五七、五五二
七	八九、三九九	八	八九、三九九
八	八九、三九九	九	八九、三九九
九	八九、三九九	十	八九、三九九
計	七六六、七八九	計	七六六、七八九
三十八年		三十七年	
一	七九、一〇七	一	七五、一四六
二	四三、〇〇七	二	四九、九一八
三	四一、七六二	三	六一、三六九
四	三五、七八八	四	五八、七七〇
三十八年		三十七年	
一	三二、四八〇	一	四九、四八〇
二	三五、六二一	二	四七、二六七
三	三八、二九九	三	三九、一九五
四	四四、八六二	四	五三、七五二
五	六七、七九七	五	七九、二四八
六	七〇、〇七七	六	八八、〇九三
七	五七、六五一	七	八六、〇九三
八	八五、四七七	八	一一〇、〇六八
九	六三、〇九二	九	七九、八三九
計	六三〇、九二八	計	六三〇、九二八
三十八年		三十七年	
一	三六、四八三	一	四九、四八〇
二	四九、四七二	二	四七、二六七
三	三九、七六九	三	三九、一九五
四	五五、〇二四	四	五三、七五二
五	五二、四一〇	五	七九、二四八
六	六五、五七七	六	八八、〇九三
七	六六、九九八	七	八六、〇九三
八	六五、三九四	八	一一〇、〇六八
九	五八、一五四	九	七九、八三九
計	五八一、五四三	計	五八一、五四三
三十八年		三十七年	
一	二八、六五三	一	二八、六五三
二	二六、〇〇五	二	二六、〇〇五
三	二〇、一九四	三	二〇、一九四
四	三三、一二八	四	三三、一二八
三十八年		三十七年	
一	二二、〇〇四	一	二二、〇〇四
二	八、四三三	二	八、四三三
三	一一、三三五	三	一一、三三五
四	一一、二七一	四	一一、二七一
三十八年		三十七年	
一	一一、〇〇四	一	一一、〇〇四
二	八、四三三	二	八、四三三
三	一一、三三五	三	一一、三三五
四	一一、二七一	四	一一、二七一
三十八年		三十七年	
一	一一、〇〇四	一	一一、〇〇四
二	八、四三三	二	八、四三三
三	一一、三三五	三	一一、三三五
四	一一、二七一	四	一一、二七一

全 貸付金高表

月次		年次	
月	次	年	次
三十八年			
一	三三、三五四	二	七六、七五
二	四六、〇二〇	三	五一、二二五
三	一一、七六〇	四	四七、五
四	九、九〇五	五	二八、一〇〇
五	一三、〇五八	六	一三、〇五八
六	五、八一〇	七	一四、二〇〇
七	一四、二〇〇	八	一四、二〇〇
八	一四、二〇〇	九	一四、二〇〇
九	一四、二〇〇	十	一四、二〇〇
計	一、四二〇、〇〇〇	計	一、四二〇、〇〇〇
三十七年			
一	一七、五〇〇	二	二、一五〇
二	二、一五〇	三	六、〇四五
三	八、四〇〇	四	四、四五一
四	九、五五	五	八、三五
五	三、八七五	六	四、八九三
六	四、八九三	七	一五、二二三
七	一五、二二三	八	三二、六二五
八	三二、六二五	九	三二、六二五
九	三二、六二五	十	三二、六二五
計	一、七五〇、〇〇〇	計	一、七五〇、〇〇〇
三十六年			
一	一〇、九三三	二	九、五三五
二	九、五三五	三	三〇、一一五
三	一、七二四	四	六、〇二〇
四	四、二六〇	五	三、八三〇
五	三、八三〇	六	九、二二〇
六	九、二二〇	七	一六、〇二〇
七	一六、〇二〇	八	一六、〇二〇
八	一六、〇二〇	九	一六、〇二〇
九	一六、〇二〇	十	一六、〇二〇
計	一、〇九三、三〇〇	計	一、〇九三、三〇〇
三十五年			
一	一〇、五六〇	二	八、一一〇
二	八、一一〇	三	一三、一五五
三	九、六五〇	四	五、三四五
四	六、九二五	五	一七、三三五
五	一七、三三五	六	八、八五〇
六	八、八五〇	七	一七、五二〇
七	一七、五二〇	八	九、六九〇
八	九、六九〇	九	七、三五五
九	七、三五五	十	七、三五五
計	一、〇五六、〇〇〇	計	一、〇五六、〇〇〇
三十四年			
一	三〇、〇〇〇	二	四、六五〇
二	四、六五〇	三	三、二二〇
三	三、二二〇	四	五、三四〇
四	三、二二〇	五	一、四九〇
五	一、四九〇	六	一八、七一〇
六	一八、七一〇	七	五、四九〇
七	五、四九〇	八	四、〇三〇
八	四、〇三〇	九	一、三〇〇
九	一、三〇〇	十	一、三〇〇
計	三〇、〇〇〇	計	三〇、〇〇〇

總計	十二月
二九,三七〇	九,五六四
一七八,九六三	一〇五,五〇六
	一四,一五〇
	一一七,八四七
	三,四四〇
	一五三,六一〇

全割引手形金高表

月次	年	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
三十八年	一月	一五,四三〇	一七,一五〇	一八,四七四	二一,一〇〇	二四,六四九	二八,一八〇	三二,七一一	三七,二六〇	四一,八〇〇	四六,三四〇	五一,八七〇	五七,〇〇〇
三十七年	一月	三一,七〇〇	三三,七六〇	三五,八二〇	三八,八八〇	四一,九四〇	四五,〇〇〇	四八,〇六〇	五一,一二〇	五四,一八〇	五七,二四〇	六〇,三〇〇	六三,三六〇
三十六年	一月	一三,八七〇	一五,一五〇	一六,四三〇	一七,七一〇	一八,九五〇	二〇,一三〇	二一,七一〇	二二,八五〇	二四,五三〇	二六,二一〇	二七,八九〇	二九,五七〇
三十五年	一月	一一,五〇五	一二,一五〇	一二,八〇〇	一三,四五〇	一四,一〇〇	一四,七五〇	一五,四〇〇	一六,〇五〇	一六,七〇〇	一七,三五〇	一八,〇〇〇	一八,六五〇
三十四年	一月	二,〇九〇	六,五九〇	一〇,〇九〇	一四,五九〇	一九,〇九〇	二三,五九〇	二八,〇九〇	三二,五九〇	三七,〇九〇	四一,五九〇	四六,〇九〇	五〇,五九〇
三十四年	全年	三五六,七七一											
三十五年	全年	四四〇,九五九											
三十六年	全年	五〇〇,二七〇											
三十七年	全年	六六八,三〇六											
三十八年	全年	七六七,五六四											

全貯蓄預金殘高表

月次	年	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
三十八年	一月	七九一,九三三	七五〇,二三四	七〇〇,六〇七	六二七,六九二	六五八,六一六	六七七,八九一	七〇九,〇三三	七四九,八二二	七五一,二一〇	七四一,三三七	七五三,二六九	七三三,二六六
三十七年	一月	五四三,九三〇	六一六,三五三	六一七,八三三	六二八,〇三二	六五九,〇三三	六六六,一七六	七〇〇,九三九	七〇一,〇二六	七三三,二二八	七三三,〇三三	七二五,一六一	六六二,七四五
三十六年	一月	四八六,九五〇	四八一,二九二	四七三,五三三	四七一,三四九	四九六,四一八	五一六,二二四	五三七,三四三	五六五,二二五	六一二,四八三	六一一,〇四六	六二三,八九九	五三一,三三六
三十五年	一月	四四七,八二〇	四四九,八〇七	四三三,五九〇	四三七,一〇八	四五八,〇三三	四六九,二九二	四七七,五五〇	五〇四,八一六	五〇九,三九四	四九一,九二二	四八〇,四五〇	四九四,一九一
三十四年	一月	三六三,二四六	三六四,〇二八	三五〇,五二六	三四四,一七〇	三五六,三九五	三五九,七六八	三六五,八二六	三八〇,〇六〇	三八六,一〇四	三八三,三四九	三八二,三二一	三五六,〇三四

全當座預金殘高表

月次	年	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
三十八年	一月	三九,三八四	三〇,〇一四	二八,九三九	二二,六一一	三二,四四四	二四,一〇七	二五,五四六	二五,一九七				
三十七年	一月	四四,三〇五	二六,九一三	三七,四九九	三七,五九七	三四,〇六六	三〇,七三四	三〇,二九二	三三,七七四				
三十六年	一月	一七,二二一	一八,一六二	一九,二四四	二三,四〇四	一五,八八二	一六,四〇九	一八,七七九	二二,八五三				
三十五年	一月	一五,三四三	一七,七七二	一四,七六四	一九,二九六	二〇,〇五八	一八,〇二七	二二,九六三	二四,四二二				
三十四年	一月	九五,二九	八〇,一四	七七,三二	七〇,三三	六八,八六五	七九,一四	六八,八一	一〇,三六七				

六十七

六十六

平	十	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一			
均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月			
三〇,五九九	三五,八六四	三三,九五五	三三,五八五	三〇,六〇三	三三,四一六	三〇,六八三	三五,六一〇	三八,二二八	三四,八三六	二四,五〇五	二七,九九六	二九,九八六	二四,三三三	二二,九〇四	一〇,八五〇

六十八

全 貸付金殘高表

平	十	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一			
均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月			
二五,二九九	二八,四四四	二六,二八九	二六,四二八	二四,七二〇	二四,七三三	二四,八二四	二四,九二九	二二,九七三	二二,五〇五	二二,三八五	二二,五八〇	二二,〇四五	一九,〇三三	一九,四六八	一六,四七〇
一九,五八〇	一八,八五四	一八,三〇一	一八,七三五	一八,六五八	一七,九四一	一七,八六六	一八,一五六	一八,四〇八	一八,九七五	二二,三九八	二二,五八四	一九,〇三三	一九,〇三三	一九,四六八	一六,四七〇
一九,〇三三	一九,四六八	二〇,一七五	一八,六二〇	一九,〇四七	一八,八五七	一八,五〇六	一八,二五四	一八,四九三	一九,〇七四	一九,四九四	一八,七二九	一八,九七二	一六,二四七	一六,六六八	一三,四七五
一六,二四七	一六,六六八	一七,六九五	一八,一七五	一八,四三〇	一八,六五五	一九,〇二五	一九,二八五	一九,三九五	一九,〇三五	一九,四一六	一八,五六五	一八,三九五	一六,二四七	一六,六六八	一三,四七五
一三,四七五	一三,〇一五	一三,〇五五	一二,八二〇	一二,四八二	一二,三三〇	一二,五五六	一二,五三六	一二,九二六	一六,三三〇	一六,四七六	一八,二二三	一八,二二三	一四,一四七	一四,一四七	一〇,八五〇

全 割引手形金殘高表

平	十	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一			
均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月			
七四,三五五	六八,七八〇	七五,〇三四	一〇四,九一四	一〇〇,六五九	一〇五,九三九	一〇〇,四一〇	九七,三八五	九四,八五〇	一〇八,九一〇	六七,六七五	七一,六八〇	八九,二一六	七三,九八〇	七七,六二〇	七三,八二〇
七三,九八〇	七七,六二〇	七六,三五〇	八七,一五〇	七四,九七〇	七〇,〇九〇	七〇,五三〇	七四,七七〇	七四,一九〇	七七,六二五	七三,一〇五	七八,二八五	七五,七九〇	七三,九八〇	七七,六二〇	七三,八二〇
七五,五九〇	七三,八二〇	八一,七四〇	九〇,六六〇	九二,五〇〇	九〇,七五〇	七七,三五〇	八〇,九〇〇	九二,五五八	八七,七三〇	八〇,六一〇	七二,六二〇	八三,〇六九	七五,五九〇	七三,八二〇	七三,八二〇
五四,二五五	五三,五八五	五六,八八五	五七,一四〇	五三,二九〇	四七,八五〇	六〇,八九〇	五九,九八〇	五八,一三〇	七〇,四〇〇	六五,六一〇	七六,一七〇	五九,五一八	五四,二五五	五三,五八五	五三,五八五
二六,三五五	一五,六五五	一四,八一五	一三,六六〇	一三,七一〇	二八,八九〇	二二,七〇〇	二四,一五〇	三三,一五〇	二九,〇七〇	三六,五七〇	五七,〇二〇	二七,一四五	二六,三五五	一五,六五五	一四,八一五

函館各銀行諸爲替手形金出入地方別表 其一

送金爲替取組  
爲替被取組  
代爲立手形取組

地	名	三十八年	三十七年	三十六年	三十五年	三十四年
東	京	四三九七,六八二	四,九四五,〇七〇	五,九二七,六三三	六,〇五四,九六二	一〇,八七六,一五一
神	川	一,〇八,九八五	一,五四〇,〇四七	一,三九三,七三五	一,八七六,一五一	一,八七六,一五一
大	阪	一,七二六,二九二	一,七七八,五四四	一,九三五,六七八	二,五五一,七七六	二,五五一,七七六

六十九



合 計	小江壽岩福根厚釧室其 札幌樽差內都山宮新德愛京兵																						
	北海道計 他蘭路岸室山內都差樽札幌 他森田形城瀉鳴知都庫																						
二二、六二五、八七七	五二四、四八九	一八四三、四〇五	二二八、〇七四	二四〇、六〇九	二九五、〇九五	二〇三、三七〇	一一〇、四一九	八九、二四三	三五〇、八九二	一七五、七九七	六二一、六四三	五、七六八、〇八五	五九五、七四二	一九〇、六〇三	九三、七七二	一、五九六、八四四	一四三、五〇六	九二八、一六三	一、〇〇七、二四九	二二二、〇七〇	二三四四、〇三三	一五八、五七、七九二	
二二、一四四、四三六	三九六、二九二	一、〇〇五、一六二	三三〇、八四七	二四一、四三一	二四七、二六四	二二七、七四六	六二八、二〇六	三〇三、二八一	六七〇、九一九	一三一、九五五	二九、四九八	四、二六七、八九九	五六七、〇八二	二七七、七八八	一四三、一一一	一八六、一九七	二、三三一、二四八	四四七、三二〇	八五八、四二六	五二五、一六八	三七〇、四五八	一四八、〇七〇	一六八、七六、五三七
三三、九四九、〇六九	四一〇、〇〇一	一、四四七、七四二	二五七、四一八	三五九、九四六	三〇九、九一一	一三三、三一一	九六〇、八〇四	一五五、八四二	三八二、〇三〇	一〇四、一六二	一、一八〇、四六〇	四、九三六、五〇五	七六七、一八六	二七一、〇九五	一〇九、八五二	一六九、一八七	二、三八四、九八八	九三、一六五	三七一、〇六四	五九〇、九七八	一、八二二、七八七	三、六一六、五五九	一九、〇二二、五六四
二三、八四一、五〇七	四八七、六二五	一、五七六、八三三	二六三、八〇〇	一六三、〇三三	一六〇、二四三	一八五、一〇六	一、六五二、七〇九	五一、七七四	二五一、六〇五	一八〇、八四七	一、一八九、九九〇	五、〇九二、五五三	一、一六二、一八二	三三五、三一〇	一〇九五、九九三	九四、五四〇	一、五六三、四八五	四七六、七三三	二三四、〇八〇	四三〇、六八二	一、九五九、二四六	九三九、八一五	一八、七四八、九五四
一九、六三六、四七三	三、四三三、四七七																						



地 名	東大兵京愛新德宮山秋青其 奈 川阪庫都知島瀉城形田森他 計																		
	小江壽岩福 札幌樽差內都山 計																		
三十八年	四、四〇四、三〇三	一、三三二、四七四	二、二五六、四三三	一〇一、四、〇三二	一五三、三六三	五〇六、一六三	一、四二八、〇〇三	二、四三三、五六〇	二、二二二、三六三	三、六六、二六六	二、六五八、四二四	二、七〇七、四六四	一、七二七、五八〇	六二六、九六八	一、五四八、〇六五	三、五二、五〇二	四、一四、一一一	二、八四〇、六九九	四、六一、六二五
三十七年	四、三三三、五五九	一、四三三、八三一	一、八九二、五七九	八五一、四八八	一五二、三二四	八〇三、一六八	一、〇六、六七三	四、九七、六六四	二、四八、六〇六	八二、九一六	二、六四八、四四五	五、三、四六二	一、五〇、四五、八四七	四〇一、四三三	一、六四二、九一八	五、一一、八七一	五、三八、八九九	二、八二二、三三三	
三十六年	六、九七四、八八五	一、四一五、三五六	一、八〇二、七〇三	八八六、五〇四	一六四、八四六	六五七、〇八八	一〇三、五七九	六、六四三、三八三	一、五〇、六四〇	二、〇三、八六四	五、〇二、一一四	四、六八二、四九八	二、〇、二六二、〇三三	四四一、一九八	一、五一九、六九二	六〇一、〇四九	四、六二、五六四	三、五〇、三九八	
三十五年	二、八七二、六七五	八、九三、四六三	一、〇七九、七三三	六〇七、九四五	一一三、五〇六	二〇一、五七六	七、七、七四七	二、三三二、七四九	二、五九、六二〇	五、四二、八六一	一、六七、一九七	二、七二五、六〇八	一、一四六、三三四	三、五五、六八六	一、三二二、六二九	五、一六、六三七	四〇二、一四〇	二、九八、四六七	
三十四年													一、五三〇、九七〇						

全

其二

送金爲替被取組  
爲替取組  
代金取立手形被取組



月次	年次											
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
三十四年	1,400	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330
三十五年	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330
三十六年	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330
三十七年	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330
三十八年	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330

函館港重要輸出入品價格平均表  
鯨粕 (上等) 百石建

●物價

三十四年	1,100	1,375	370	3,340	3,340	2,770	430
三十五年	1,100	1,375	370	3,340	3,340	2,770	430

年種別	預		入		拂		渡	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
三十四年	1,240	37,265	493	13,326	493	13,326	948	26,433
三十五年	382	11,265	60	17,564	60	17,564	1,092	31,754
三十六年	382	11,265	60	17,564	60	17,564	1,092	31,754
三十七年	397	11,769	73	20,339	73	20,339	1,231	35,844
三十八年	451	13,193	93	25,855	93	25,855	1,376	40,500
三十七年	397	11,769	73	20,339	73	20,339	1,231	35,844
三十八年	451	13,193	93	25,855	93	25,855	1,376	40,500
三十九年	361	10,260	70	19,338	70	19,338	1,092	31,754
三十八年	451	13,193	93	25,855	93	25,855	1,376	40,500
三十九年	361	10,260	70	19,338	70	19,338	1,092	31,754

全上郵便貯金出入表

函館郵便局郵便電信為替出入表

年種別	振		出		拂		渡	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
三十四年	2,461	89,614	26	7,078	19	5,151	19	5,151
三十五年	848	28,580	5	1,444	5	1,444	4	1,139
三十六年	848	28,580	5	1,444	5	1,444	4	1,139
三十七年	334	11,727	27	7,182	27	7,182	26	7,853
三十八年	1,377	47,626	70	22,999	70	22,999	65	20,849
三十九年	1,377	47,626	70	22,999	70	22,999	65	20,849
合計	7,336	246,189	113	40,177	113	40,177	108	34,173



月次	年次
一	三十四年
二	三十四年
三	三十四年
四	三十四年
五	三十四年
六	三十四年
七	三十四年
八	三十四年
九	三十四年
十	三十四年
一	三十五年
二	三十五年
三	三十五年
四	三十五年
五	三十五年
六	三十五年
七	三十五年
八	三十五年
九	三十五年
十	三十五年
一	三十六年
二	三十六年
三	三十六年
四	三十六年
五	三十六年
六	三十六年
七	三十六年
八	三十六年
九	三十六年
十	三十六年
一	三十七年
二	三十七年
三	三十七年
四	三十七年
五	三十七年
六	三十七年
七	三十七年
八	三十七年
九	三十七年
十	三十七年
一	三十八年
二	三十八年
三	三十八年
四	三十八年
五	三十八年
六	三十八年
七	三十八年
八	三十八年
九	三十八年
十	三十八年

鹽鱈

(擇捉産) 圓ニ付



月次	年次
一	三十四年
二	三十四年
三	三十四年
四	三十四年
五	三十四年
六	三十四年
七	三十四年
八	三十四年
九	三十四年
十	三十四年
一	三十五年
二	三十五年
三	三十五年
四	三十五年
五	三十五年
六	三十五年
七	三十五年
八	三十五年
九	三十五年
十	三十五年
一	三十六年
二	三十六年
三	三十六年
四	三十六年
五	三十六年
六	三十六年
七	三十六年
八	三十六年
九	三十六年
十	三十六年
一	三十七年
二	三十七年
三	三十七年
四	三十七年
五	三十七年
六	三十七年
七	三十七年
八	三十七年
九	三十七年
十	三十七年
一	三十八年
二	三十八年
三	三十八年
四	三十八年
五	三十八年
六	三十八年
七	三十八年
八	三十八年
九	三十八年
十	三十八年

鹽鱈

(タムラオ産) 圓ニ付



乾 鱒 (函館上) 百斤建			
月次	年次	月次	年次
四	三	二	一
月	月	月	月
均	均	均	均
三十八年	三十七年	三十六年	三十五年
三十四年			

七十七



昆 布 (濱中長切上) 百石建			
月次	年次	月次	年次
平	十	十	一
均	均	均	均
三十八年	三十七年	三十六年	三十五年
三十四年			

全 (サカレン産) 圓ニ付

平	十	十	一
均	均	均	均
三十八年	三十七年	三十六年	三十五年
三十四年			

七十六



月次	年次	平十十九八七六五四三二一											月次	年次	平十 二 均月	
		均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月				月
五八〇〇	三十八年	八五四九九					八七、三三	八五、〇〇	八五、〇〇	八五、〇〇	八五、〇〇	八五、〇〇	八四、三三	八三、三三	三十八年	六〇、八三 六〇、四一八
三八〇〇	三十七年	七六、二八三					九六、七〇	一〇、七〇	一〇、七〇	一〇、七〇	一〇、七〇	一〇、七〇	一〇、七〇	一〇、七〇	三十七年	五〇、三〇 五二、一三六
一三三、五〇	三十六年	六八、六六一					六八、六六一	六八、六六一	六八、六六一	六八、六六一	六八、六六一	六八、六六一	六八、六六一	六八、六六一	三十六年	五〇、五五六
四二〇〇	三十五年	五二、九〇〇					四六、五〇	四八、三〇	四八、三〇	四八、三〇	四八、三〇	四八、三〇	四八、三〇	四八、三〇	三十五年	五七、三七〇
九〇〇〇	三十四年	六三、八八三					六一、六七	六五、〇〇	六五、〇〇	六五、〇〇	六五、〇〇	六五、〇〇	六五、〇〇	六五、〇〇	三十四年	六一、六七 七二、四五五

貝柱

(北見産大粒) 百斤建

煎海參(大) 百斤建

七十九



月次	年次	平十十九八七六五											月次	年次	平十 二 均月	
		均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月				
六一、〇〇	三十八年	一八、五七〇					二〇、〇〇	一九、七五	一九、七五	一九、七五	一九、七五	一九、七五	一九、七五	一九、七五	三十八年	五二、三三三 五二、〇〇〇
六一、五〇	三十七年	一八、七二九					一九、六三〇	一九、六三〇	一九、六三〇	一九、六三〇	一九、六三〇	一九、六三〇	一九、六三〇	一九、六三〇	三十七年	四八、五〇〇 四八、五〇〇
六一、〇〇	三十六年	一九、三二〇					一九、四〇〇	一九、四〇〇	一九、四〇〇	一九、四〇〇	一九、四〇〇	一九、四〇〇	一九、四〇〇	一九、四〇〇	三十六年	四八、五〇〇 四八、五〇〇
六一、五〇	三十五年	一五、一五五					一四、五〇	一五、〇〇	一五、〇〇	一五、〇〇	一五、〇〇	一五、〇〇	一五、〇〇	一五、〇〇	三十五年	五八、三〇〇 五八、三〇〇
六一、〇〇	三十四年	二〇、八二七					二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	三十四年	八三、〇〇〇 八三、〇〇〇

乾鮑

百斤建

七十八



平	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	月
二一											次	
均月月月月月月月月月月月											次	
											三十八年	
四、九	五、五〇	五、四〇	五、五〇	五、三〇	五、三〇	五、〇七	四、七七	四、五〇	四、四〇	四、五〇	四、五七	正十廿四日
											三十七年	
四、五〇	四、五〇	五、一〇	五、四〇	五、〇三	四、八〇	四、二〇	四、〇〇	三、四二	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	正十廿四日
											三十六年	
四、三三	四、三〇	四、五〇	四、〇〇	三、八〇	三、三五	四、八〇	二、八六	四、七五	七、四五	三、二〇	三、二〇	十四日以上
											三十五年	
五、二四	四、七〇	四、九〇	四、九〇	四、五五	四、九二	五、六〇	五、三五	五、八五	六、四〇	四、〇〇	四、〇〇	夕
											三十四年	
四、六八	四、〇〇	四、〇〇	四、一七	五、〇〇	四、二〇	四、二〇	五、四〇	五、二七	六、二〇	四、〇〇	四、〇〇	夕

身欠鯨

平	十	十	九	二	一
均月月月月					
一、八九四	二、四三〇	二、五七〇	二、五七〇	二、五七〇	二、五七〇
二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、一七〇	二、一七〇	二、一七〇	二、一七〇
???	???	???	???	???	???
???	???	???	???	???	???
???	???	???	???	???	???



八	七	六	五	四	三	二	一	月
均月月月月月月月								次
二一								次
								三十八年
二、四〇〇	一、六五〇	一、六五〇	一、五二〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	一、四三〇	正十廿四日
								三十七年
一、四八〇	一、五五〇	一、九三〇	二、一〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、二五〇	正十廿四日
								三十六年
???	???	???	???	???	???	???	???	十四日以上
								三十五年
???	???	???	???	???	???	???	???	夕
								三十四年
???	???	???	???	???	???	???	???	夕

乾鱈

(開) 圓二付

平	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	月
二一											次	
均月月月月月月月月月月											次	
											三十八年	
六、四六六	六、五六七	六、五〇〇	七、〇〇〇	七、一八三	六、〇〇〇	六、四〇〇	六、四三三	六、一六七	六、一六七	六、一六七	六、一六七	正十廿四日
											三十七年	
四、七二六	五、八〇〇	六、一三三	五、六八三	四、六五〇	四、三三〇	四、三三〇	四、三三〇	四、三三〇	四、三三〇	四、三三〇	四、三三〇	正十廿四日
											三十六年	
三、一三六	三、〇〇〇	三、三三〇	三、六五〇	三、七五〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	十四日以上
											三十五年	
三、四九二	二、八〇〇	二、八三〇	三、七三〇	三、三三〇	三、三三〇	三、三三〇	三、三三〇	三、三三〇	三、三三〇	三、三三〇	三、三三〇	夕
											三十四年	
七、三〇九	五、五〇〇	六、〇三三	六、五〇〇	七、一六七	六、五〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	八、〇三三	八、〇三三	八、〇三三	九、〇〇〇	夕



月次	年次	月次	年次
四	三十八年	四	三十八年
三	三十七年	三	三十七年
二	三十六年	二	三十六年
一	三十五年	一	三十五年
月	三十四年	月	三十四年

月次	年次	月次	年次
平	三十八年	平	三十八年
十	三十七年	十	三十七年
十	三十六年	十	三十六年
九	三十五年	九	三十五年
八	三十四年	八	三十四年
七		七	
六		六	
五		五	
四		四	
三		三	
二		二	
一		一	
均		均	

澱粉

七五斤

燕麥

一石三付

八十五

月次	年次	月次	年次
平	三十八年	平	三十八年
十	三十七年	十	三十七年
十	三十六年	十	三十六年
九	三十五年	九	三十五年
八	三十四年	八	三十四年
七		七	
六		六	
五		五	
四		四	
三		三	
二		二	
一		一	
均		均	

小豆

一石三付

月次	年次	月次	年次
平	三十八年	平	三十八年
十	三十七年	十	三十七年
均	三十六年	均	三十六年
均	三十五年	均	三十五年
均	三十四年	均	三十四年

八十四

月次	年次	平 十 十 九 八 七 六 五 四 三 二 一										月次	年次	平 十 二 均 月
		均	月	月	月	月	月	月	月	月	月			
三三〇	三十八年	一、七八	二、二五	二、二三	二、二七	二、二五	二、二〇	四等品 二、一九	一、〇三	一、二三	一、二三	一、一〇	三十八年	一五五〇
三三〇	三十七年	九〇	一、一六	一、二三	九六	七八	七二	七一	八六	一、〇六	一、〇〇	八八	三十七年	一四〇五
三三〇	三十六年	八九	九四	九一	八八	八八	九〇	八七	八七	一一	一一	九二	三十六年	一三一六
三三〇	三十五年	六七	七八	七一	七五	八〇	七七	七五	六四	六二	五四	五九	三十五年	一四九二
三三〇	三十四年	六四	六七	七一	七一	六九	六七	六七	五四	五七	六四	六三	三十四年	一二七八

醬油

(分印) 一樽

食鹽

(三田尻) 一俵

八十七

月次	年次	平 十 九 八 七 六 五 四 三 二 一										月次	年次
		均	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
一六二〇	三十八年	一、六二〇	一、五四一	一、五〇〇	一、四三五	一、二九八	一、二七〇	一、二六〇	一、二九〇	一、三〇〇	一、三〇〇	三十八年	一三〇七
一三八二	三十七年	一、三八二	一、四〇〇	一、四九二	一、四五二	一、四三三	一、四四八	一、四三三	一、四一〇	一、四〇〇	一、四〇〇	三十七年	一三〇七
一三二〇	三十六年	一、三二〇	一、三五六	一、四八〇	一、五一三	一、七二四	一、六八七	一、六八九	一、六二六	一、六九二	一、六八五	三十六年	一六一〇
一五二〇	三十五年	一、五二〇	一、六三〇	一、五三七	一、五〇五	一、四二六	一、二九二	一、二四七	一、一七〇	一、一七四	一、一七四	三十五年	一三〇三
一三二七	三十四年	一、三二七	一、三九三	一、四五〇	一、四二七	一、三三三	一、二五三	一、二六八	一、一八八	一、一八九	一、一八九	三十四年	一三〇〇

米

(越後白米中) 一石二付

月次	年次	平 十 十 九 八 七 六 五				
		均	月	月	月	月
五二四〇	三十八年	五、二四〇	四、九三	四、九〇	四、八五	四、七七
六四〇〇	三十七年	六、四〇〇	五、七三	五、九七	六、一五	六、五〇
七五〇〇	三十六年	七、五〇〇	七、五〇	七、五〇	七、五〇	七、五〇
六二〇〇	三十五年	六、二〇〇	六、六〇	六、八五	六、四五	六、六五
三九六〇	三十四年	三、九六〇	三、九三	四、〇〇	四、二〇	四、六六

八十六





月次	年	月次	年
一	三十四年	一	三十四年
二	三十四年	二	三十四年
三	三十四年	三	三十四年
四	三十四年	四	三十四年
五	三十四年	五	三十四年
六	三十四年	六	三十四年
七	三十四年	七	三十四年
八	三十四年	八	三十四年
九	三十四年	九	三十四年
十	三十四年	十	三十四年
十一	三十四年	十一	三十四年
十二	三十四年	十二	三十四年
均	三十四年	均	三十四年

砂糖

(四温引) 四斤 (六莖)

月次	年	月次	年
一	三十四年	一	三十四年
二	三十四年	二	三十四年
三	三十四年	三	三十四年
四	三十四年	四	三十四年
五	三十四年	五	三十四年
六	三十四年	六	三十四年
七	三十四年	七	三十四年
八	三十四年	八	三十四年
九	三十四年	九	三十四年
十	三十四年	十	三十四年
十一	三十四年	十一	三十四年
十二	三十四年	十二	三十四年
均	三十四年	均	三十四年



月次	年	月次	年
一	三十四年	一	三十四年
二	三十四年	二	三十四年
三	三十四年	三	三十四年
四	三十四年	四	三十四年
五	三十四年	五	三十四年
六	三十四年	六	三十四年
七	三十四年	七	三十四年
八	三十四年	八	三十四年
九	三十四年	九	三十四年
十	三十四年	十	三十四年
十一	三十四年	十一	三十四年
十二	三十四年	十二	三十四年
均	三十四年	均	三十四年

味噌

(津輕) 一樽

月次	年	月次	年
一	三十四年	一	三十四年
二	三十四年	二	三十四年
三	三十四年	三	三十四年
四	三十四年	四	三十四年
五	三十四年	五	三十四年
六	三十四年	六	三十四年
七	三十四年	七	三十四年
八	三十四年	八	三十四年
九	三十四年	九	三十四年
十	三十四年	十	三十四年
十一	三十四年	十一	三十四年
十二	三十四年	十二	三十四年
均	三十四年	均	三十四年

九八七六五四三二一										月	次	年
月月月月月月月月										次	次	年
二二五〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三十八年	三十八年	三十八年
二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	三十七年	三十七年	三十七年
二〇五〇	二〇五〇	一九五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	三十六年	三十六年	三十六年
一九五〇	一九五〇	一九五〇	一九五〇	一九五〇	一九五〇	一九五〇	一九五〇	一九五〇	一九五〇	三十五年	三十五年	三十五年
一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇	三十四年	三十四年	三十四年

清酒 (菊止宗) 四斗樽

平十十九八七六五四三										月	次	年
均月月月月月月月月										次	次	年
二七四六	二七〇〇	二七八〇	二七五〇	二七五〇	二七八〇	二七五〇	二七五〇	二七五〇	二七五〇	三十八年	三十八年	三十八年
二五五〇	二五五〇	二七〇〇	二六三〇	二五七〇	二五三〇	二五三〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	三十七年	三十七年	三十七年
二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	二二七〇	三十六年	三十六年	三十六年
二二四六	二二四六	二二四六	二二四六	二二四六	二二四六	二二四六	二二四六	二二四六	二二四六	三十五年	三十五年	三十五年
二一八九	二一八九	二一八九	二一八九	二一八九	二一八九	二一八九	二一八九	二一八九	二一八九	三十四年	三十四年	三十四年

平十十九八七六五四三二一										月	次	年
均月月月月月月月月										次	次	年
三二四八	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三十八年	三十八年	三十八年
二八八〇	三〇〇〇	二八九五	二八五〇	二八〇〇	二九三〇	二九三〇	二八九〇	二八五〇	二七五〇	三十七年	三十七年	三十七年
二六四〇	二四〇〇	二四〇〇	二四〇〇	二四〇〇	二四〇〇	二四〇〇	二四〇〇	二四〇〇	二四〇〇	三十六年	三十六年	三十六年
二四二九	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	三十五年	三十五年	三十五年
二四九九	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	三十四年	三十四年	三十四年

全 (内國産上)

二一										月	次	年
月月月月月月月月										次	次	年
二七〇〇	二七〇〇	二七〇〇	二七〇〇	二七〇〇	二七〇〇	二七〇〇	二七〇〇	二七〇〇	二七〇〇	三十八年	三十八年	三十八年
二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇	三十七年	三十七年	三十七年
二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	二〇五〇	三十六年	三十六年	三十六年
二二五〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇	二二五〇	三十五年	三十五年	三十五年
二二二五	二二二五	二二二五	二二二五	二二二五	二二二五	二二二五	二二二五	二二二五	二二二五	三十四年	三十四年	三十四年

麥粉 (米利堅粉上) 五十斤



月次				年次													
四	三	二	一	平	十	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	月
均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均
				三十八年													
三、九二	三、九二	三、九二	三、九二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二	三、三二
				三十七年													
三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六	三、一六
				三十六年													
二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五
				三十五年													
二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五	二、三五
				三十四年													
二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六

九十三



月次				年次													
平	十	十	一	平	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	月	
均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	
				三十八年													
二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四	二、六四
				三十七年													
二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三	二、七三
				三十六年													
二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五	二、五五
				三十五年													
二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八	二、四八
				三十四年													
二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三	二、四三

九十二

石油

(チャスター) 一函

紙

(土佐半紙上) 六ノ入一個



平	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	月
二一												
均月月月月月月月月月月												
											次	
											三十八年	
七三八	七〇	七五	七〇	六八	六八	七〇	六八	六八	八〇	八二	七五	九二
											三十七年	
八二〇								七八	八〇	八〇	八五	八八
											三十六年	
六五〇	六八	六〇	六八	五八			七五	六七			六〇	七〇
											三十五年	
六七五	六五	六三	六五	六六	六六	七二	六七	六七	六七	七〇	七一	六九
											三十四年	
八九〇	九五	九五	八〇	八〇	八五	八八	八八	七五	七五	八〇	九七	一〇八
												一〇一

干 蕙 (津輕上) 一束

平	十	十	月
二一			次
均月月			次
			三十八年
七八七	八五	七四	
			三十七年
八二〇	八三	七〇	
			三十六年
九六〇	一〇〇	八〇	
			三十五年
八〇八	八〇	七七	
			三十四年
八二五	一〇〇	九五	

九十五



十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	月
二一										
均月月月月月月月月										
									次	
									三十八年	
七七五	七五	七〇	七六	八〇	七〇	七七	八七	八二	九三	
									三十七年	
六七	六三	五八	六七	七三	八八	一一三	一一五	九三	九三	
									三十六年	
七三	七一	七八	九〇	一三三	一七三	一一一	八六	八〇	七六	
									三十五年	
七〇	七三	九二	九二	一二七	七七	六五	七三	七四	八二	
									三十四年	
八五	八〇	八一	七七	六六	六一	七二	八一	九五	九八	

建 蕙 (八幡上) 一束

平	十	十	九	八	七	六	五
二一							
均月月月月月月							
							三十八年
三〇九〇	三二七	三三三	三三九	三〇〇	三〇三	二九三	二九八
							三十七年
三一七〇	三二五	三二四	三三二	三二四	三一四	二九五	二九二
							三十六年
二八一〇	三〇三	二九七	二八四	二七五	二八三	二七九	二七五
							三十五年
二二九五	二六八	二五六	二四五	二〇〇	二〇六	二二五	二二七
							三十四年
二七一四	二五三	二六六	二六八	二六五	二六二	二六三	二七〇
							二七五

九十四



十九	七月	七、四八	八、四三	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇
十八	六月	七、四八	八、五七	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇
十七	五月	七、四八	八、六〇	七、〇六	七、〇〇	七、〇〇
十六	四月	七、四八	九、〇〇	七、二〇	七、〇〇	七、〇〇
十五	三月	七、四八	八、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇
平均	均	七、六四	八、〇三	七、〇三	七、〇〇	七、二六

九十八

◎工業ノ概況

一船渠、船渠は此地十數年來の計劃ありしか明治二十九年船渠會社設立の認可を受け百貳拾萬圓の株式資金を以て全三十年工を起し三十六年七月其工を竣はり當區辨天町に我邦有數の大船渠成れり今其規模の一斑を叙せんに全會社に屬する敷地は總計貳萬壹千坪にして全長五百十八尺幅八十二尺深さ三十八尺排水量參萬八千九百四十屯の大乾燥船渠を有し優に壹萬屯内外の艦船を入るに足り又其曳揚修繕台は英國「リード・ヘンリー」會社の製造に係る最新式の水壓器を設け凡一千五百屯迄の船舶を自由に揚卸しするに適そ其他尙製罐場、仕上工場、鑄物工場、鐵工場、鍛冶工場、原動機室、修繕船架、機關室、船渠工場、唧筒場、製圖場、木型場、事務室、倉庫等三十一棟二千三百九坪の建物有し八十馬力の蒸氣力、二十五馬力の電氣力を使用せる等其規模廣大あり

一セメント製造、本港を距る海上僅かに四湮半の對岸上磯村に北海道セメント株式會社在り明治二十三年の創立に係り資本金は三十六萬圓にして主としてセメ

ントを製造し煉瓦製造を副業とすセメント工場には獨逸 Hoffman 式輪窯三臺を備へ其他粘土乾燥室、粉碎室、燒焙室、風化室、機關室等諸建物三十五棟建坪六千三百三十餘坪又煉瓦工場には瀛鑪室、機械室、生地乾燥室、燒焙室、撰別室等の諸建物十四棟建坪二千百坪を有せり

一電燈、電燈所は當區東川町に在り園田實徳氏の獨力經營する所にして明治二十九年の創立に係りホブキンソン式千燈用單相交流發電機二臺ワレン形千七百燈用單相交流發電機一臺シーメンス式千燈用三相交流發電機一臺を設備せり

一製網、北海道機械網株式會社は當區大町に本社を置き出張所を小樽に工場を當區龜田に分工場を仙臺市に有す明治二十八年岡田莞爾氏製網機を發明して其專賣特許を受けしか三十四年資本金拾五萬圓を以て現會社を組織したるものなり

一製紙、當區東川町に函館製紙合資會社あり資本金壹萬圓にして現今三馬力の瀛鑪壹個製紙器四臺を設備し専ら和洋紙の屑を原料として漉返紙の製造に従事せり

其他個人經營に屬する主要なるものを舉ぐれば左の如し

名	稱	位置	名	稱	位置
國永	造船所	若松町	九善	清酒釀造場	音羽町

九十九



職業別	三十八年		三十七年		三十六年		三十五年		三十四年	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
米	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
蚕糸	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇
塗師	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
染物	四一七	四一七	四一七	四一七	四一七	四一七	四一七	四一七	四一七	四一七
和服	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇
洋服	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇
木工	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
大工	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
左官	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
家根	六八三	六八三	六八三	六八三	六八三	六八三	六八三	六八三	六八三	六八三
煉瓦	三二七	三二七	三二七	三二七	三二七	三二七	三二七	三二七	三二七	三二七
煉瓦積	八六七	八六七	八六七	八六七	八六七	八六七	八六七	八六七	八六七	八六七
指物	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三
經師	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三
疊工	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三	七三三
建具	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三	六三三
石製	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
菓子	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
下駄	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
靴	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
馬具	五一一	五一一	五一一	五一一	五一一	五一一	五一一	五一一	五一一	五一一

百

函館區職工賃金平均表



右叙事の序を以て職工賃金を左に表示せし

宮崎	國兼	九山	成田	東出	岡田	大久保	笠川	九善	霞罐	高木	大和	九善	横山	大精	羽子
崎味	兼味	山味	田清	出清	田清	久保清	川醬	善燒	罐詰	木精	和精	善精	山精	精米	精米
造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造
場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場
旭	旭	資	若	鶴	大	龜	東	谷	眞	全	東	鶴	東	辨	船
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
三	森	安	成	茅	忠	中	今	小	小	巴	鳴	佐	大	高	全
ツ	田	井	田	原	谷	村	井	山	森	印	村	野	西	橋	全
星	清	味	味	醬	醬	醬	醬	清	清	酒	酒	酒	酒	油	油
味	酒	噲	噲	油	油	油	油	酒	酒	酒	酒	酒	酒	味	味
噲	噲	噲	噲	噲	噲	噲	噲	噲	噲	噲	噲	噲	噲	噲	噲
造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造	造
所	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場	場
小	若	鶴	東	西	大	鶴	榮	大	東	東	高	辨	豐	臺	高
舟	松	岡	川	川	岡	岡	岡	雲	川	川	砂	天	川	場	場
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町

百

職業	一月		二月		三月		四月		五月		六月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
車製造	467	800	467	800	500	500	500	500	500	500	500	500
鍛冶	383	383	383	383	400	400	400	400	400	400	400	400
綿打	433	433	433	433	400	400	400	400	400	400	400	400
活版	833	833	833	833	800	800	800	800	800	800	800	800
船大工	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400
桶職	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800
杜油職	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
醬油職	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
漁夫	317	317	317	317	317	317	317	317	317	317	317	317
瓦葺職	321	321	321	321	321	321	321	321	321	321	321	321
機械工	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366	366
網女	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
下日雇人	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500	1500

◎公共的設備の概況

一水道 當地素と水利の便乏しく日常の飲料に不足を感せしのみならず大火災屢起り市街爲めに往々灰燼に歸したりしを以て水道布設の議久しく區民の問題に上りたりしが明治二十年時の北海道長官岩村通俊氏は土木技師外人パーマー氏に囑して之か調査を爲さしめ區の公借金と道廳の補給金を以て之れか經費に宛て赤川上水を引用して區内に水道布設の計畫を立て區の稟請を俟て之を許可せり依て明治二十一年六月工を起し翌年二月に至り竣工せり其後市街の膨脹に

伴なひ其供給不足を告ぐるや全二十六年十二月區の有志は水道増設の議を唱へ當初の計畫人口六萬(一人一日平均水量十六瓦)の給水量を人口十五萬に對する給水量に増加し二十七年九月増設工事に着手し二十九年竣工せり  
 今其前後に於ける工費を調査するに創設工費二十四萬一千六百四十八圓増設工費二十壹萬六千九百八拾壹圓合計四拾五萬八千六百二拾九圓にして導水管の延長内經十五吋二里十四町全十二吋半二十五町十四間全十二吋二十五間に内經十二吋下二里十町十五間を増し配水管の延長九里二十九町二十五間に二里十三町三十八間を増加せり今最近の調査に依れば防火栓數公三七七 私四三三箇共用栓數公二八 私一〇九一六、五〇〇瓦を算するに至れり  
 一電話 當區に於ける電話は明治三十三年六月の開始に係り年々加入者が増加し區内最重要の通信機關と爲れり最近の調査に依れば電柱數は九百一本、架空の裸線路長九里十八町五間全線條延長二百四十八里十六町四十四間架空ケーブル線長五町七間三尺全線條延長一里三十五町十四間三尺に達せり電話取扱所は區内二、區外二自動電話一あり尙三十八年未現在數は通常電話器七百六十六箇卓上電話器十五箇増設電鈴四十一箇にして未設尙三百四十四箇あり今最近五年間の通信對照表を左に示さん



年次	普通電話		自働電話		電話取扱所		通話數計	
	區内	區外	區内	區外	區内	區外	區内	區外
三十八年	三三三	---	---	---	---	---	三六八五、五二〇	五三三八
三十七年	三三三	---	---	---	---	---	三六六三、六八六	三八六〇
三十六年	三三三	---	---	---	---	---	三六〇三、九二七	四二四五
三十五年	??	---	---	---	---	---	??	??
三十四年	??	---	---	---	---	---	??	??

一學校、廳立學校現在數は四ヶ所にして左の如し

校種	所在地	創立年月	教員		學級	生徒數 (卅九年四月末現在)
			正	准		
中學校	開發	二十八年三月	二	二	一	三九八
商業學校	元治	十三年九月	一	一	一	三九八
商船學校	治	十六年	三	一	一	二〇四
高等女學校	元	三十八年四月	一〇	三	四	一八三

公立小學校は高等小學六、尋常小學八にして校舍十、私立小學校は高等小學二尋常小學は九あり此外私立學校にして高等女學校程度のもの三、小學校程度のもの二、私塾的のもの五及私立裁縫女學校八訓盲會と稱するもの一あり右の内小學校令に依る公立學校の教員及生徒數は左表の如し (卅九年三月末現在)

區別	在籍生徒數		正教員		准教員		代用教員		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
公立	四、五九八	三、〇七四	八	一〇	三	二	一	三	九八
私立	五、四一三	四、二二〇	二	三	四	一〇	五	六	二〇
計	九、六一一	七、二九四	一〇	一三	七	一二	六	九	一二八

而して就學兒童の割合は百人中男九十八人八分七厘、女九十八人八分ありとす  
 一、公園、當區青柳町にあり明治十一年時の函館縣令時任爲基氏の建設せる所に於て其位置市街の一隅の在るを以て稍偏僻の感あきにあふむと雖も背面に臥牛山を負ひ前方津輕海峽を隔て、遙に陸奥の山峰を展望し右方は谷地頭の低地を扣へて松杉鬱鬱たる青巒に對す左方は鱗次櫛比の市街を直下に俯瞰し又遠く駒ヶ岳の冲天に聳ゆるを望見し得べく七飯の丘陵起伏せる五陵廓の古戰場及湯の川の清遊地等歴々双眸に映し來る園内の地積約一萬五千坪假山を築き若卉を植へ風致頗る清雅たり殊に陽春には翠松青杉の間千株萬朶の梅櫻一時に妍を競ひ遊園者の目を喜はしむ園内一基の噴水あり二十二年水道布設の際横濱イリス商會の寄附せる所あり又水産陳列場あり水産品及漁具を列ねて衆庶の展覽に供す  
 一、病院、區立病院は天神町にあり三十六年の夏火災に罹り其舊趾を留むるのみなりしか區の豪商渡邊孝平氏私財を投し舊地積に建築せるを條件として區に寄附せんことを申出て三十六年の始め區の承認を得今年五月工を起し三十八年

十月竣工せり其敷地三千六百六拾余坪建坪千四百三十余坪とし之を十棟に分ち事務室及診察室は二階建にして階下は之を書記局、藥局、製練室、内科診察室、外科診察室、全手術室、眼科診察室、婦人科産科診察室、全手術室、此等の各待合室、電氣治療室、X光線室、寫真現象室に分ち階上には會議室、院長室、部長室、醫局、看護婦教室等あり、病室は平家建にして各等級に應し三棟に區分し一等室は十四室、二等室は十二室、三等室は八室にして尙別室四あり一等各室には別に附添看護婦室を附し又各等室に看護婦宿直室を供ふ収容し得へき患者は一等十四人二等二十四人三等六十四人を定員とす

其他の各棟には各種試験及分折所、死体解剖室、暗所、消毒所、洗濯場、裁縫室、看護寄宿所等あり又構内に發電機を設置し暖室割烹等凡て蒸氣を用ふ其設備の完全なること東北地方恐くは比類あしと云ふも決して誇張の言にあらず其他日本郵船會社か東濱町棧橋側に設けたる船客待合所、北海道鐵道會社か函館驛側に設けたる乗客待合所は其規模大あらずと雖も能く旅客の便利を充たし又公園内に開設したる函館ホテルは以て外人の寄泊に應するを得へし是等ば營利事業と云ふよりも寧ろ公共的設備と稱するを得へきを以て爰に列舉せり  
以上本港情勢の一斑を概説し得たりと信するも尙參考に供するに足るへき諸統計表を左に列記して以て補足とす

◎參考諸統計表

函館區營業食庫表

倉庫	棟瓦	坪造	棟石	坪造	棟土	坪造	棟木	坪造	棟台	坪計
西出倉庫	二	一六六							二	一六六
函館倉庫	八	九〇三							八	九〇三
聖藤野倉庫	二	四二二							二	四二二
函館汽船株式會社倉庫	二	二〇八							二	二〇八
式會社倉庫	九	一三〇九							九	一三〇九
羽渡邊倉庫	九	九三三							九	九三三
安田倉庫	三	二四〇							三	二四〇
山縣倉庫	三	二七五							三	二七五
龍紋倉庫	一	一四七〇							一	一四七〇
柳田倉庫	三	一六八							三	一六八
石垣倉庫	一	一八九							一	一八九
巴共榮倉庫	二	四二二							二	四二二
金葛西倉庫	一	六二							一	六二
品田倉庫	一	七七七二							一	七七七二
合計	四四	九五							四四	九五

函館區解船及荷車表

種目	員數	種目	員數
百石以上ノ解船	一九〇隻	荷積小中車	一九九五輛

解	船	三〇〇	荷積牛馬車一頭立	百八
積	大車	二七〇	全二頭立	六二七
荷				三

函館區銀行及諸會社表

名	稱	營業種別	店別	位	地
株式會社百十三銀行		銀行	本店	末	町
株式會社函館貯蓄銀行		全	支店	全	町
株式會社日本銀行北海道支店		全	支店	全	町
株式會社第三銀行支店		全	支店	全	町
株式會社二十銀行支店		全	支店	全	町
株式會社北海道拓殖銀行支店		全	支店	全	町
株式會社北海道蓄貯銀行支店		全	支店	全	町
函館船渠株式會社		船渠	全	東	町
函館馬車鐵道株式會社		陸運	全	東	町
函館汽船株式會社		運送	全	東	町
北海道機械網株式會社		漁網製造販賣業	全	全	町
函館魚商株式會社		漁業	全	全	町
函館運送株式會社		運送業	全	東	町

株式會社物產商會	物產商	全	支店	全	東	町
日本漁撈株式會社	遠洋漁業	全	支店	全	東	町
北海道道株式會社函館出張所	陸運	全	支店	全	東	町
內國運株式會社函館支店	全	支店	全	東	町	
日本郵船株式會社函館支店	運送業	全	支店	全	東	町
北海道炭鐵道株式會社函館賣炭所	石炭販賣	全	支店	全	東	町
札幌ビール株式會社函館賣炭所	麥酒販賣	全	支店	全	東	町
北海道セメント株式會社函館出張所	セメント、石灰、煉瓦、販賣	全	支店	全	東	町
津輕物產株式會社函館支店	農產販賣、海運、漁業	全	支店	全	東	町
北海產業合資會社	運送業	全	支店	全	東	町
函館汽船合資會社	農送業	全	支店	全	東	町
函館農產合資會社	製紙業	全	支店	全	東	町
函館製紙合資會社	物品販賣、海陸軍用達	全	支店	全	東	町
健全合資會社	精米	全	支店	全	東	町
巴合資會社函館精米所	船具	全	支店	全	東	町
合資船具會社	米穀	全	支店	全	東	町
函館米商合資會社	兩便	全	支店	全	東	町
函館兩便吸合資會社	汽船切符販賣	全	支店	全	東	町
函館汽船切符販賣合名會社	銃砲火藥販賣	全	支店	全	東	町
富澤合名會社		全	支店	全	東	町



東京火災保險株式會社函館代理店	大阪火災保險株式會社函館代理店	日本酒造火災保險株式會社函館代理店	日本火災保險株式會社函館代理店	內外火災保險株式會社函館出張所	日宗火災保險株式會社函館出張所	仁壽生命保險株式會社函館代理店	紐育生命保險株式會社函館代理店	日本教育生命保險株式會社函館代理店	北海生命保險株式會社函館代理店	大同生命保險株式會社函館代理店	眞宗信徒生命保險株式會社函館代理店	六條生命保險株式會社函館代理店	佛教生命保險株式會社函館代理店	徵兵生命保險株式會社函館代理店	共濟生命保險株式會社函館代理店	明治生命保險株式會社函館代理店	有隣生命保險株式會社函館代理店	愛國生命保險株式會社函館代理店	內國生命保險株式會社函館代理店	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	
全	全	全	代	全	出	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
上	上	上	店	上	所	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	
仲	公	末	東	全	末	富	鍛	大	西	東	地	元	末	曙	相	全	末	大	末	
濱	廣	濱	濱	廣	網	治	川	濱	藏	廣	生	廣	廣							
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町



三井物產合名會社函館出張所	小杉合名會社函館支店	山坂合名會社函館支店	三忠合名會社函館支店	今井合名會社函館支店	安田商事合名會社函館支店	煉石製造合名會社	松陸殖產合名會社	函館薪材合名會社	巴座合名會社	吉田回漕合名會社	大沼凍水合名會社
礦業	漁業	海陸物產商	雜貨商	吳服商	倉庫業	煉石製造業	農材販賣業	薪材販賣業	貸席業	運送業	凍水業
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
會	會	會	會	會	會	會	會	會	會	會	會
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町

各保險會社表

明治火災保險株式會社函館代理店	全	上	全	上	末	廣	町
日本旅店火災保險株式會社函館代理店	全	上	全	上	全	川	町
財產火災保險株式會社函館代理店	全	上	全	上	西	濱	町
日本海上運送火災保險株式會社函館代理店	全	上	全	上	仲	濱	町
帝國海上運送火災保險株式會社函館代理店	全	上	全	上	東	濱	町
東京海上保險株式會社函館代理店	全	上	全	上	全	濱	町

函館區海上保險表 (三十八年分)

保險種類	件數	契約金額	保入額	三十八年中遭難件數	全上拂渡金額
貨物保險	三九、六八二	九、九三〇、二八〇、四〇〇	一、〇九三、三三〇、六〇〇	一七三	五五、九三六、七〇〇
船舶保險	三六	五〇七、〇〇〇、〇〇〇	三九、七七六、二二〇	四	一四、六一六、九二〇
戰時保險	一八四	二七、一八八、〇〇〇	二、二五七、三六〇	一	一
合計	三九、八八八	一〇、七〇四、六六八、四〇〇	一、五一三、五八〇、五六〇	一七七	七〇、五五五、五九〇
三十七年合計	四一、七七七	一〇、九三五、一七二、〇〇〇	一、六二〇、六九八、五〇〇	二三五	八二、六九一、七八〇
三十六年合計	四八、一〇二	一〇、七三三、五五九、〇〇〇	一、五四六、九〇一、九〇〇	二一六	七九、五八二、一九〇
三十五年合計	三六、四二八	一〇、四九〇、〇〇〇	一、五〇一、八九七、一〇〇	一五七	一〇〇、九三三、五三〇
三十四年合計	三四、九一〇	一〇、三六三、六八二、一〇〇	一、〇〇六、七三三、二〇〇	七八	四五、一二七、九一〇

函館區火災保險表

保險種類	件數	契約金額	保入額	三十八年中火災件數	全上拂渡金額
不動產	二、七九二	二、二六二、五一四、〇〇〇	六三、五七六、一一〇	四一	一三〇、五六七、四〇〇
動產	八八五	一、一四二、四七八、〇〇〇	八、七九〇、四六〇	一	二、五〇〇、〇〇〇
合計	三、六七七	三、四〇四、九九二、〇〇〇	七二、三六六、五七〇	四二	一五五、五六七、四〇〇
三十七年合計	二、九九六	二、六八四、四六七、〇〇〇	七三、二九五、一一〇	四四	一三、五八二、六八〇
三十六年合計	四、一一五	三、一三三、五〇四、〇〇〇	九〇、八二〇、二七〇	七〇	二二、六四八、〇〇〇
三十五年合計	三、一九四	二、五三四、九四四、〇〇〇	七〇、三三〇、九三〇	四一	一三、一〇五、〇〇〇
三十四年合計	三、二五二	二、一五四、八七四、〇〇〇	六八、六〇七、三六九	五三	一八、一一一、八三〇

函館區生命保險表

保險種類	被保險人員	契約金額	保入額	三十八年中死亡人員	全上拂渡金額
終身保險	三、一五五	八六〇、九三〇、〇〇〇	三、一七四、二七五	六三	二、一八〇、〇〇〇
養老保險	一、九五二	五五七、八〇〇、〇〇〇	二六、一八五、七三九	三〇	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
有限終身保險	八三九	三九五、三〇〇、〇〇〇	一五、八二四、〇八四	一〇	一六〇、〇〇〇、〇〇〇
有限養老保險	二〇一	七二七、〇〇〇、〇〇〇	四三、七三二、二二六	五	一六〇、〇〇〇、〇〇〇
利益配當付終身保險	一八	一八〇、〇〇〇、〇〇〇	四五、五二七、五〇〇	一	一六〇、〇〇〇、〇〇〇
全有期保險	六	四〇〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇、一六〇、〇〇〇	一	一五〇、〇〇〇、〇〇〇
全養老保險	二九	一七、五〇〇、〇〇〇	二、三八七、八八〇	三	一五〇、〇〇〇、〇〇〇
累加終身保險	二	六二〇、〇〇〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇、〇〇〇	一	一五〇、〇〇〇、〇〇〇



函館 水産組	函館 醬油製造組	函館 食鹽問屋組	函館 雜穀商組	函館 吳服太物商組	函館 疊職組	函館 古物商組	函館 煙草元賣捌組	函館 質屋組	函館 下宿屋組	函館 冲商業組	函館 鐵物商組	函館 大鋸職組	函館 染物營業組	函館 藥業組	函館 雇入口入業組	函館 活版業組	函館 公周旋業組	無限責任函館購買販賣組	函館 湯屋業組	
高砂	東川	仲濱	西川	西川	辨天	西川	辨天	惠比須	會所	會所	辨天	寶天	末廣	大藏	豐川	蓬萊	止治	止治	止治	
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
函館 酒造組	函館 魚商組	函館 漁網商組	函館 柔魚釣組	函館 足袋商組	函館 鐵細工業組	函館 板鐵工業組	函館 木工事請負業組	函館 製氷組	函館 旅人宿組	函館 左官職組	函館 靴商組	函館 鑄掛職組	函館 運送解業組	函館 煉瓦職組	函館 陶器商組	函館 乘用艇業組	函館 蹄鐵工業組	函館 時計商業組	函館 鍛冶業組	函館 鍛冶業組
止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
豐川	末廣	東川	全川	末廣	真砂	大川	東川	輪止	豐川	真砂	豐川	西川	末廣	高砂	仲濱	船場	仲濱	西濱	西濱	西濱
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町



函館區商工組合表

名	稱	位	置	名	稱	位	置
函館 刻昆布同業組	函館 肥料雜穀問屋組	函館 太嶋漁業組	函館 繩繩商組	函館 米穀委託商組	函館 倉庫業組	函館 直輸入取引商同盟組	函館 船物產商組
東川	大川	辨天	輪	西濱	西濱	仲濱	船場
町	町	町	番	町	町	町	町
九〇,九八六,九二六	一六,二六九,〇一六	一〇,二八一,九七六	一一,九八〇,一九六	一〇,二八一,九七六	一〇,二八一,九七六	一〇,二八一,九七六	一〇,二八一,九七六
一〇,三三三,四七一	二九,七九〇,五〇〇	二七,四八二,一一〇	三一,九七三,五五三	九〇,九八六,九二六	一六,二六九,〇一六	一〇,二八一,九七六	一〇,二八一,九七六
二六,九〇〇	二〇,一〇〇	一三,九〇〇	五,〇〇〇	九八六,六三〇	一八,〇〇〇	二二,八一三	二五,五二〇
一,九九九,九五〇	一,六〇〇	一,六〇〇	五,二〇〇	九八六,一八〇	六,二二四	一,九四七,二〇〇	一,九四七,二〇〇
六,四四九	三	八	六	九八六,一八〇	六,二二四	一,九四七,二〇〇	一,九四七,二〇〇
三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計
七,五四五	一〇,一一一	八,五〇七	一〇,七六八	九〇,九八六,九二六	一六,二六九,〇一六	一〇,二八一,九七六	一〇,二八一,九七六
二六,九〇〇	二〇,一〇〇	一三,九〇〇	五,〇〇〇	九八六,六三〇	一八,〇〇〇	二二,八一三	二五,五二〇
一,九九九,九五〇	一,六〇〇	一,六〇〇	五,二〇〇	九八六,一八〇	六,二二四	一,九四七,二〇〇	一,九四七,二〇〇
六,四四九	三	八	六	九八六,一八〇	六,二二四	一,九四七,二〇〇	一,九四七,二〇〇
三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計	三十七年合計
七,五四五	一〇,一一一	八,五〇七	一〇,七六八	九〇,九八六,九二六	一六,二六九,〇一六	一〇,二八一,九七六	一〇,二八一,九七六
二六,九〇〇	二〇,一〇〇	一三,九〇〇	五,〇〇〇	九八六,六三〇	一八,〇〇〇	二二,八一三	二五,五二〇
一,九九九,九五〇	一,六〇〇	一,六〇〇	五,二〇〇	九八六,一八〇	六,二二四	一,九四七,二〇〇	一,九四七,二〇〇
六,四四九	三	八	六	九八六,一八〇	六,二二四	一,九四七,二〇〇	一,九四七,二〇〇

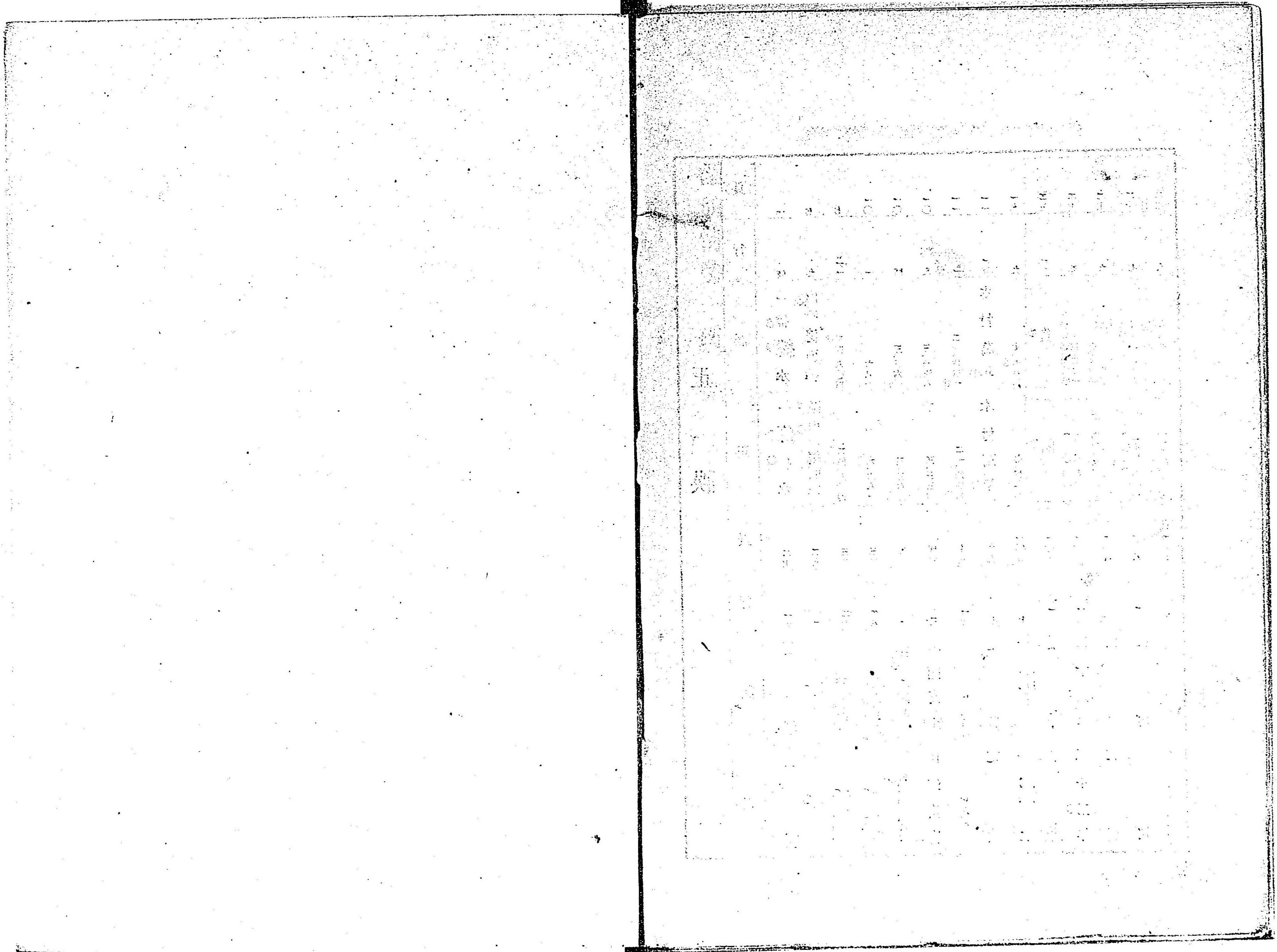
函館情勢一斑完

函館海陸產仲立業組合	函館海運同盟會	函館菓子商組合	近郡聯合牛馬賣買營業組合	函館荷車製造組合	函館砂糖商組合
船場町	船場町	東川町	東川町	東川町	仲濱町
函館麵類組合	函館小問物商組合	和洋酒問屋組合	函館味噌製造組合	郵船會社荷解組合	函館麵類組合
船場町	船場町	東川町	東川町	東川町	船場町

百十六

正誤

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
一	四	一帯の緯水	區内の緯水	二七	一六	麥類	麥粉
七	九	内の總面積	區内の總面積	二九	二	貫類	函
七	一一	三、三六一	二、四八〇	三二	二七	三〇、三〇〇	三〇、三〇〇
〇	一	六八一	九、六八一	三三	二八	二〇、三三三	一〇〇、三〇〇
〇	一	三、三六一	三、三六一	四一	一	四〇、一〇四、八六〇	四〇、一〇四、八六〇
〇	四	三、三六一	三、三六一	四六	三	函館支店	函館支店
〇	八	三、三六一	三、三六一	七七	一七	電機	電機
一	一一	二、四四一	二、四四一	九九	七	電機	電機
一	一五	七、七八三	七、七八三	一〇五	七	電機	電機
九	一五	貫	函	一〇五	二	隅	隅
二五	五	二、四四一	二、四四一	一〇五	二	隅	隅
二七	五	二、四四一	二、四四一	一〇五	二	隅	隅
二七	六	二、四四一	二、四四一	一〇六	三	隅	隅
二七	七	二、四四一	二、四四一	一〇八	一六	會社	會社
二七	八	二、四四一	二、四四一	一一三	九	會社	會社



日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十																													
甲子	乙丑	丙寅	丁卯	戊辰	己巳	庚午	辛未	壬申	癸酉	甲戌	乙亥	丙子	丁丑	戊寅	己卯	庚辰	辛巳	壬午	癸未	甲申	乙酉	丙戌	丁亥	戊子	己丑	庚寅	辛卯	壬辰	癸巳	甲午	乙未	丙申	丁酉	戊戌	己亥	庚子	辛丑	壬寅	癸卯	甲辰	乙巳	丙午	丁未	戊申	己酉	庚戌	辛亥	壬子	癸丑	甲寅	乙卯	丙辰	丁巳	戊午	己未	庚申	辛酉	壬戌	癸亥

五  
期



97
380

